技術基準適合認定品

普通紙パーソナルファクシミリ

NEC

スピークス

SPX-S210K

（エス ピー エックス エス ケー）

取扱説明書

ワンタッチダイヤル ➡ p26

ナンバー・ディスプレイ ➡ p55

キャッチホン／モデムダイヤルイン ➡ p62

注意

- 製品をご使用の前に必ず本書をお読みください。
- 本書はいつでも活用できるように大切に保管ください。

準備
電話
ファクス／コピー
ハンドスキャナ
留守電
便利に使う
ナンバー・ディスプレイ
キャッチホン／モデムダイヤルイン
こんなときは

はじめに

このたびは、コードレス留守番電話付きファクシミリ「スピークス　SPX-S210K」を、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
なお、本書では子機を増設した場合を含めて説明しています。

この取扱説明書で使われているマーク

……… 気を付けていただきたいことが書かれています。
この注意を守らないと、操作がうまくできなかったり、思うように進まないことがあります。
注意は必ず守ってご使用ください。

…… 便利で役立つ情報が書かれています。

……… 親機の受話器を取る操作を表しています。

…… 充電器から子機を取る操作を表しています。

……… 親機の受話器を戻す操作を表しています。

…… 充電器に子機を戻す操作を表しています。

操作手順中にある 消去 などのボタンの絵は、そのボタンを押す操作を表しています。

文章中にある［＜］［＞］は、親機または子機の［電話帳］ボタンの左右を押す操作を表しています。

文章中にある［▲］［▼］は、親機または子機の［電話帳］ボタンの上下を押す操作を表しています。

ご注意

- 本機の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外的要因によって、受信文書や本機に登録した情報の全部、または一部が消失したり、通信や録音の機会を逸したために生じた損害につきましては、当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を改造しないでください。改造・回路変更などを行った場合、当社は一切責任を負いません。
- 本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご使用にあたってのお願い

本機のご使用にあたって、NTT東日本またはNTT西日本のレンタル電話機が不要となる場合は、NTT東日本またはNTT西日本へご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は不要となります。詳しくは、局番無しの116番（無料）へお問い合わせください。

安全に正しくご使用いただくために－必ずお読みください－

● 本機を安全に正しくお使いいただくための表示について
本書では本機を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を表示や図記号で示しています。表示や図記号の意味は次のとおりです。

⚠ **危険**：	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡するまたは重傷を負う危険が、差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ **警告**：	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡するまたは重傷を負う可能性が、想定される内容を示しています。
⚠ **注意**：	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

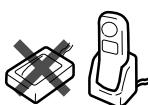
△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 危険

禁止

子機の充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となることがあります。

禁止

電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。

禁止

専用の電池パックを使用してください。
また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。

禁止

電池パックを水や火の中に投入したり、加熱しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。

禁止

電池パックに直接はんだ付けしないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。

禁止

電池パックのコネクタの赤（プラス）・黒（マイナス）を針金などの金属類で接触しない（ショートさせない）でください。火災・感電の原因となります。

分解禁止

電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因となることがあります。

禁止

電池パックのビニールカバー（チューブ）は、はがさないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。

⚠ 危険

万一、電池パックが液漏れして、液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。また、漏れた液が皮膚や衣服に付いたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になります。

電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り外し、使用を中止してください。

⚠ 警告

電源プラグをコンセントから抜け

次のようなときは、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
・煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態があるとき
・本機を落としたり、破損したとき
・内部に水などが入ったとき

電源プラグをコンセントから抜け

本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

分解禁止

本機を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電および故障の原因となることがあります。
修理は販売店にご相談ください。

⚠警告

本機の上やそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。アース線を取り付けられるところは次の部分です。
・電源コンセントのアース端子
・銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
・接地工事（第D種）が行われている接地端子
次のようなところには絶対にアース線を取り付けないでください。
・ガス管・電話専用アース線・避雷針・水道管や蛇口

AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災や故障の原因となることがあります。

電源プラグおよび充電器のプラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると、火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、束ねるなどの行為や、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

本機は国内電源仕様になっていますので、海外ではご使用になれません。

電源プラグおよび充電器のプラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグをコンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で本機を操作しないでください。感電の原因となることがあります。

本機は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器または医療用電子機器の近くに設置、および近くで使用しないでください。
電子機器が誤動作したりするなどの原因となることがあります。

⚠警告

コードレスシステムは、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域には、持ち込まないでください。電子機器や医療用機器に影響を与え、事故の原因となります。

子機は、総務省の技術基準に適合したものです。内部を改造したり、外部にアンテナを取り付けて電波を強くするなどは、感電や故障の原因となるだけでなく、法律で禁じられています。

充電器の内部には、高電圧がかかっているので、分解しないでください。感電の原因となることがあります。修理は、販売店にご相談ください。

子機をねじったり、重いものをのせたり、（ポケットに入れたままイスなどに）強く押しつけたりして、圧迫しないでください。子機が破損し、火災、けが、やけどの原因となることがあります。

⚠注意

雷が鳴り出したら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷により、感電の原因となります。

電源コードを発熱器具に近づけないでください。電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止

直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器具のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、電話回線接続コードなど外部の接続線を外したことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

インクフィルム交換などで操作パネルを開けるときは接触禁止、高温注意マークのラベルが貼ってある部分には、触らないように注意してください。

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

ハンドスキャナを落としたり、固いものにぶつけたりしないでください。ガラスが破損してけがをしたり、故障の原因となります。

モニタスピーカに耳を近づけないでください。大音量により耳を痛める場合があります。

本機のアンテナを誤って目にささないように注意してください。

⚠注意

インクフィルム交換および記録紙セットなどで開閉部を開けたり閉めたりするときは、指はさみ、指のけがにご注意ください。

漆、カーペット等、高温で変色する可能性のある材質の上には置かないでください。変色の原因となることがあります。

本機の底面部は温度が上昇しますので、カーペットやソファーなどの上に置かないでください。焦げたり、火災の原因となることがあります。

本機底面にはゴム製の滑り止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

子機は、ほこりの多い場所や振動の激しい場所に置かないでください。

充電器の充電部分に金属製のピンや指輪などを置かないでください。発熱し、やけどの原因となることがあります。

本機を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

通信やコピー等の動作中に電源プラグを抜いたり、本機の操作パネルを開けたりしないでください。故障の原因となります。

ファクスを受信すると自動的に記録紙を排出します。装置の上に物を置いたり、布をかけたりしないでください。紙がつまって、故障の原因となります。

青焼紙等と重ねて保管しないでください。記録紙が変色します。

記録品質への悪影響および故障の原因となることがありますので、当社指定の記録紙のご使用をおすすめします。

インクフィルムは、子供の手の届かないところに保管してください。

インクフィルムは開封した状態で放置しないでください。

ゴキブリなどが入ると、故障の原因となることがあります。

通話中に自動車やオートバイが近くを通ったときや、電気製品や蛍光灯のスイッチを「入」「切」にしたときなど、雑音が入ることがあります。

テレビ、スピーカボックスの近く、こたつの上など、磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。本機が正常に動作しないことがあります。

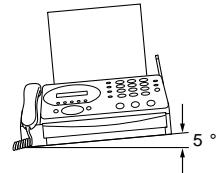
冷えきった部屋をストーブなどで急激に暖めたときなどは本機の内部に水滴が付着し、部分的に写らないコピーが発生する原因となります。

極端に暑い場所（35°C以上）や寒い場所（5°C以下）では使用しないでください。誤動作・故障の原因となります。

⚠注意

以下のようなところには置かないでください。
- クーラ、暖房器具、換気口などから風が直接あたる場所
- ほこりや振動が多い場所
- 換気の悪い場所
- 揮発性可燃物やカーテンに近い場所

本機の設置場所等によっては、近くに置いたラジオへの雑音やテレビ画面のチラツキやゆがみなどが発生する場合があります。
このような現象が本機の影響によると思われましたら、本機の電源プラグをいったん抜いてください。電源プラグを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。
- 本機をテレビ等から遠ざける
- 本機またはテレビ等の向きを変える

本機は簡易生活防水が施されていません。以下のような使用はしないでください。
- 浴室で使用したり、水の中につけたりしないでください。
- 水滴が付いた場合は、なるべく早く乾いた布などで拭き取ってください。
- 受話口や送話口の穴などに水滴が付いたときは、水滴を取り除いてからお使いください。
- 子機に水滴が付いたまま、充電器に戻さないでください。

本機は右図の傾き以上に傾けないようにしてください。正常に動作しないことがあります。

ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

ハンドスキャナや受話器を無理に引っ張らないでください。親機の落下により、けがや事故の原因となります。

目 次

便利に使う

ナンバー・ディスプレイ

キャッチホン／モデムダイヤルイン

こんなときは

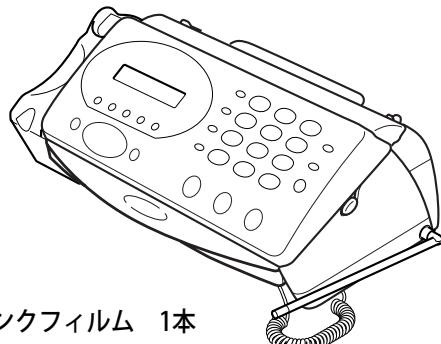
お使いになる前に

ここでは、本機の各部の名称や組み立てかたなどを説明しています。

はじめにご確認ください

付属品はすべてそろっていますか？

❑ 欄にチェック“ ✓ ”し、確認してください。付属品に足りないものがあったり、取扱説明書に落丁があった場合には、スピークス インフォメーションセンターにご連絡ください。➡ p80

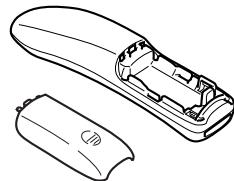
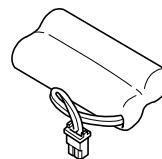
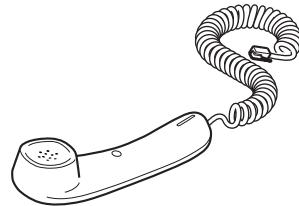
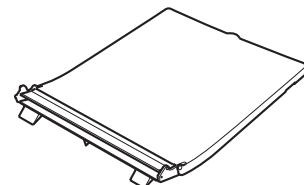
❑ 親機（本機）1台

テスト用インクフィルム　1本

あらかじめ本機にセットしてあります。
このインクフィルムは、工場出荷時に正しくプリントできることを確認したものです。別売のインクフィルムよりもプリントできる枚数が少なくなりますので、別売のインクフィルムをお買い求めください。➡ p68

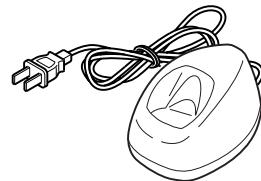
- インクフィルムを交換するときは
  インクフィルムを交換するときは、指定（型名：SP-FA430）のインクフィルムをお使いください。当社製以外のインクフィルムは使用できません。また、当社製のものであっても、型名：SIF-A4040、SIF-A4030Tのインクフィルムは使用できません。

❑ 受話器　1個

❑ 記録紙カセット　1個

❑ 子機　1台（電池カバー付）

❑ 電池パック　1個（子機用）

❑ 子機充電器　1台

❑ 電話回線接続コード　1本

❑ 取扱説明書　1冊（本書）
❑ かんたん取り付けガイド　1部

❑ 消耗品 注文のご案内
補聴器対応用受話器 注文のご案内
1部（表裏）

❑ 保証書　1枚
保証書は大切に保管してください。保証期間やご購入店名などの記載事項をご確認ください。

※ 記録紙は添付されておりません。別途ご用意ください。

各部の名称

本機を組み立てたあとの各部の名称です。

親機の前面

記録紙カバー

記録紙排出口

原稿セットガイド
原稿の幅に合わせます。

アンテナ

ディスプレイ

ホコリよけカバー
原稿をセットするときに開けます。

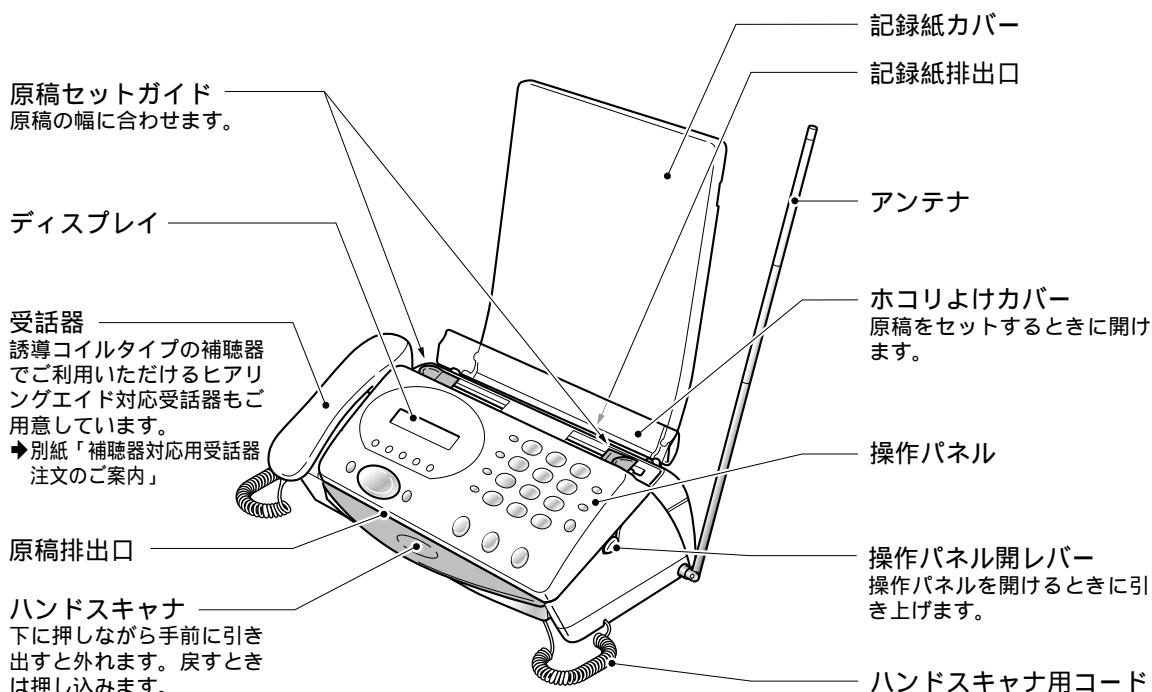
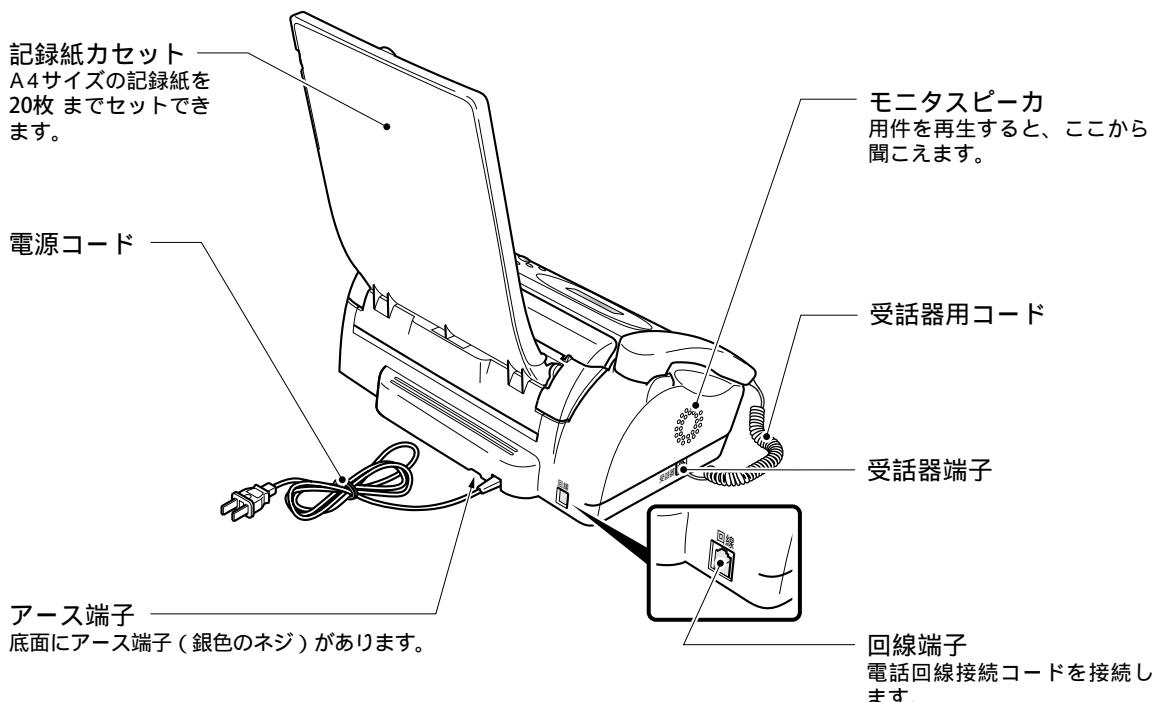
受話器
誘導コイルタイプの補聴器でご利用いただけるヒアリングエイド対応受話器もご用意しています。
➔別紙「補聴器対応用受話器注文のご案内」

操作パネル

原稿排出口

操作パネル開レバー
操作パネルを開けるときに引き上げます。

ハンドスキャナ
下に押しながら手前に引き出すと外れます。戻すときは押し込みます。

ハンドスキャナ用コード

親機の背面

※ 本機のプラスチックの一部に、光の具合によってキズに見える部分があります。これはプラスチック製作過程で生じるものですが、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

親機のボタンの名称と使いかた（操作パネル）

各種ボタンの使いかたを簡単に説明しています。

子機のボタンの名称と使いかた

<前面>

受話口

ディスプレイ表示について ➡p12

送話口

(1ア) (2カABC) ・・・ (0ワ記号) (#) … ダイヤルボタン
ダイヤルするときや、文字入力などに使います。

(＊トーン) … ダイヤル回線を使用している方が、トーン（プッシュ）信号を送りたいときに使います。

(キャッチ) … キャッチホンを受けるときに使います。
簡易子機間通話の送受話の切り替えに使います（子機が２台以上ある場合のみ）。

(内線) … 内線通話のときに使います。

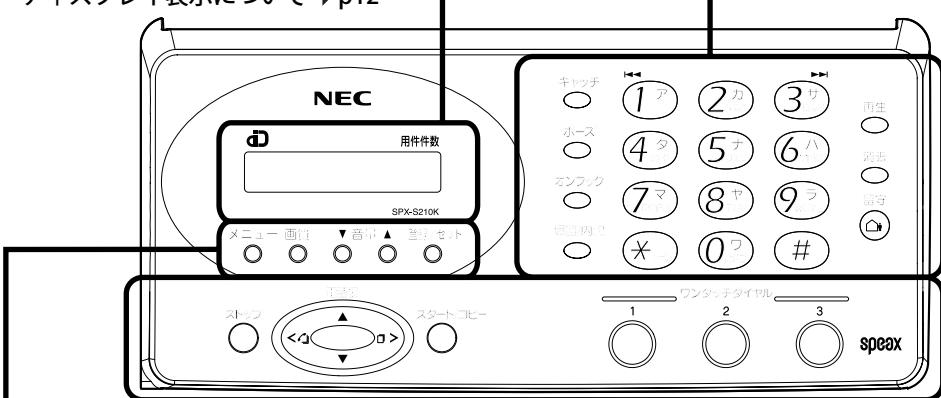
(保留消去) … 電話番号や文字の入力を間違えたときに使います。
電話を保留するときに使います。

(メニュー) … 各種設定や登録のときに使います。

(ワンタッチ) … よく電話をかける相手を登録して､ワンタッチで電話をかけるときに使います。

(▲▼) … 電話帳に登録されている相手先を選ぶときなどに使います。

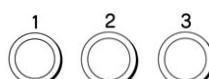
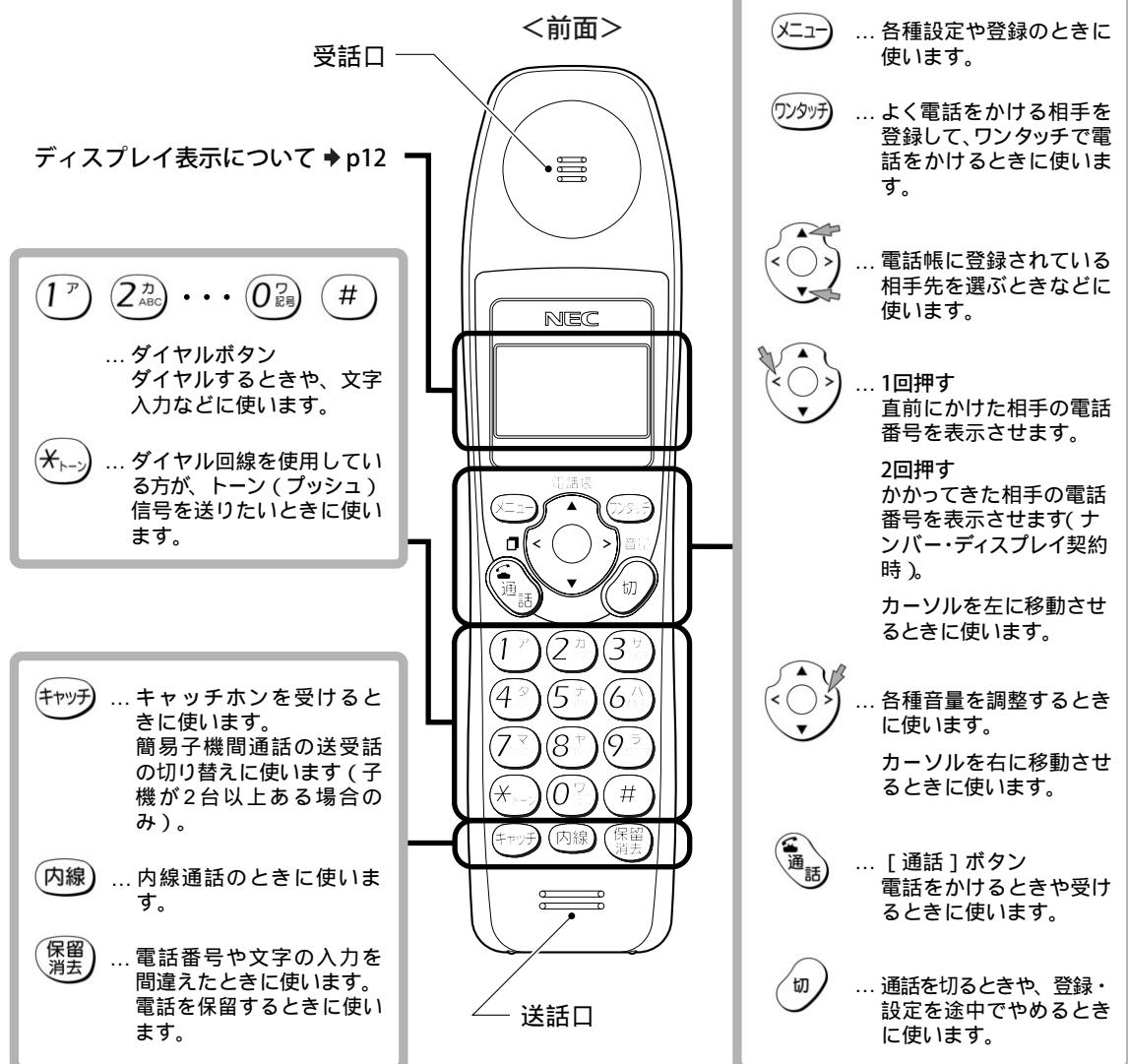
(<) … **1回押す**
直前にかけた相手の電話番号を表示させます。

2回押す
かかってきた相手の電話番号を表示させます（ナンバー・ディスプレイ契約時）。

カーソルを左に移動させるときに使います。

(>) … 各種音量を調整するときに使います。

カーソルを右に移動させるときに使います。

(通話) … ［通話］ボタン
電話をかけるときや受けるときに使います。

(切) … 通話を切るときや、登録・設定を途中でやめるときに使います。

待機中の状態について

子機を充電器から取り上げたあと、以下の操作をして［通話］ボタンが消灯している状態を「待機中」といいます。

<クイック通話ONのとき>

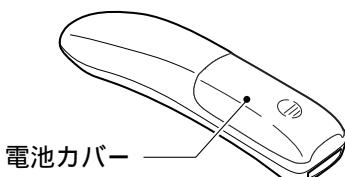
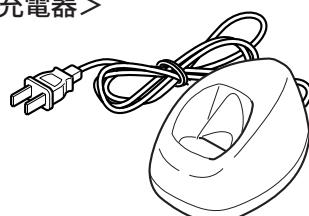
➡ ［通話］ボタンが点灯していることを確認 ➡ (切) を押す ➡ ［通話］ボタンが消灯することを確認

<クイック通話OFFのとき>

➡ ［通話］ボタンが消灯していることを確認

クイック通話とは ➡p2 1

子機の背面と子機充電器

<背面>

<子機充電器>

ディスプレイ表示について

本文中にあるディスプレイ画面は、操作上必要と思われるものだけを表記しています。
各操作間の画面については省略されていますので、ご了承ください。

・バックライトは、設定・登録中や、通話、ファクス通信、プリントなどの動作中に点灯し、動作終了後、約3秒で消灯します。

通話時間表示について

電話中は、ディスプレイに通話時間が表示されます。表示される通話時間はあくまでも目安としてご利用ください。

親機 ﾂｳﾜｼﾞｶﾝ 0′05″ … ダイヤル後、約10秒経つと表示され、相手が出ると再度0秒から表示し直されます。

子機 0′05 ……… ［通話］ボタンを押すと通話時間表示が始まり、相手が出てからも続けて表示されます。また相手が出なくても表示されます。

・受話器や子機を戻したあとも約5秒間、通話時間が表示されます。
・通話時間が59分59秒を超えたときは、0分00秒から表示し直されます。

記録紙について

安定した品質・性能でお使いいただくために、記録紙はA4サイズ、紙厚0.08mm～0.1mm（500枚包みの場合、厚さ40mm～50mm）のもので、表面にオーバーコートなどの処理をしていない普通紙（コピー用紙）をお使いください。
記録紙の種類によって、文字のかすれなど印字品質が異なります。より鮮明な画質をお求めの場合には、下記の記録紙もお使いいただけます。

・普通紙
　型名　　　　：FUJIFILM　熱転写用紙
　　　　　　　　ファクス用普通紙
　　　　　　　　FAX　A4×100
　サイズ・数量：A4・100枚

・記録紙の種類によっては、記録紙給紙不良や記録紙づまりの原因となります。
次のような記録紙は使用しないでください。
－ オーバーコートされた普通紙
－ 一度プリントした紙の裏面
－ 湿っている紙
－ 一度複数枚送りした紙
－ OHPフィルム
－ 薄い紙（紙厚0.08mmより薄い紙）
－ 厚い紙（紙厚0.1mmを超える紙）
－ しわ・折れのある紙
－ 表面に光沢のある紙
・記録紙の品質はメーカーにより異なり、プリントした印字品質や記録紙給紙性能が異なる場合があります。記録紙を大量に購入されるときは、一度テストプリントすることをおすすめします。
・記録紙を補充するときは、残っている記録紙をすべて取り出し、追加する記録紙と合わせてよくさばいたあと、先端をそろえてセットしてください。
・感熱紙は使用できません。

“キロクシガ　ツマリマシタ”と表示された ➡p66

記録紙の保管について

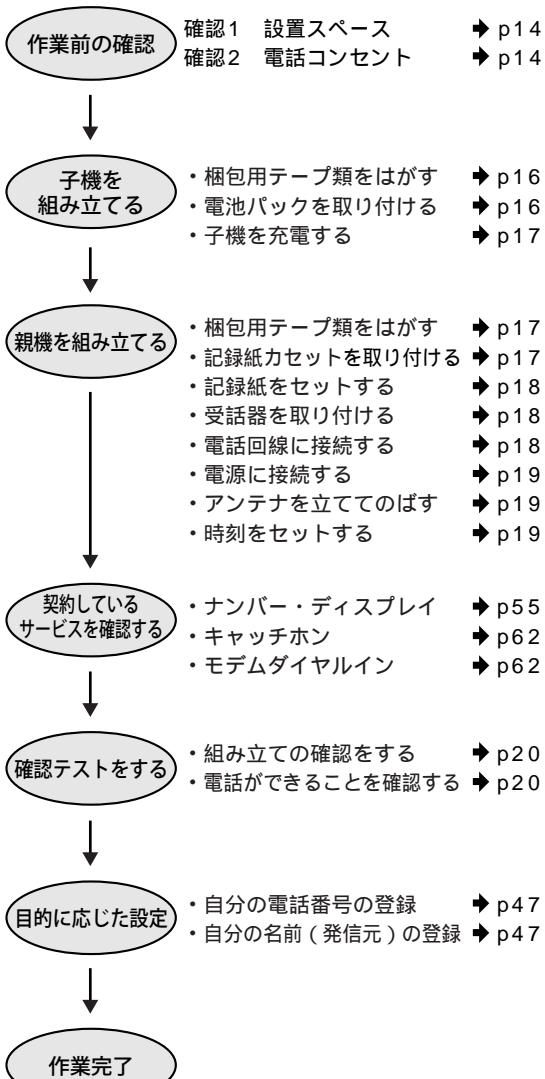
日光の当たる場所、湿気の多い場所、高温になる場所を避け、乾燥した冷暗所に保管してください。また記録紙カセットに長期間セットしたままにしたり湿気を含むと、品質が劣化して先端が波打った状態になります。

・品質が劣化した記録紙は使用しないでください。記録紙給紙不良の原因となります。

インクフィルムの保管について

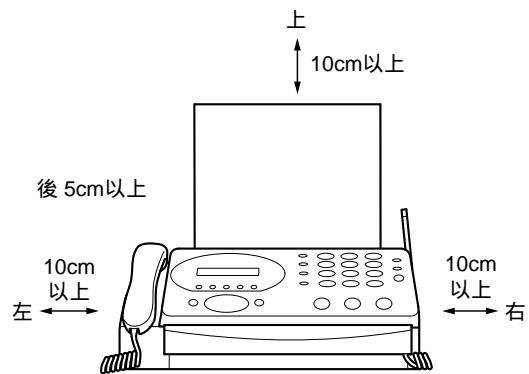
本機にセットする前のインクフィルムは、袋に入れ、以下のことに注意して保管してください。
・直射日光が当たらない場所に保管する
・0℃～35℃で保管する
・結露した場合は、乾燥後に使用する

作業の流れ

本機を組み立て、使えるようになるまでの全体の流れは、次のようになります。

本機を自由にご活用ください。

確認1　設置スペース

親機を置く場所には充分なスペースがありますか?
操作や消耗品類の交換、日常点検などを行うため、必要なスペースを確保してください。

- 親機は壁に掛けての使用はできません。
- 水平な場所に設置しないと、正常に使えないことがあります。
- 次のような機器の近くに親機を設置したり、近くで子機を使用したりしないでください。雑音や誤動作の原因となることがあります。
  - ビジネスホン、モデム、パソコン、ターミナルアダプタ、ルータ、ワープロ、無線機、コピー機、他のコードレス電話機など
  - 携帯電話、PHS、ポケットベル、充電器、ACアダプタなど
  - テレビ、ラジオ、蛍光灯、CDプレーヤー、ヘアドライヤー、電子レンジ、ステレオ、電気こたつなど
  - 自動車、オートバイ、ネオンサインなど
- 直射日光の当たる場所には置かないでください。送信/コピー画質が薄くなったり、本機の故障や誤動作の原因となります。
  ※ p3〜p5の「警告」「注意」の記載もご覧ください。

確認2　電話コンセント

電話コンセントは、どのタイプですか?
コンセントのタイプによって、そのまま接続できないことがあります。コンセントの形を確認してください。

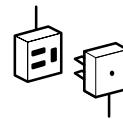
モジュラ式

そのまま接続できます。
カチッと鳴るまで差し込んでください。

直接配線（ネジ止め式）

このままでは親機を接続できません。
NTT東日本またはNTT西日本の窓口などにご相談ください。

- 接続工事には、工事担任者の資格が必要です。

3ピンプラグ式

このままでは親機を接続できません。
市販のモジュラ付電話キャップをお買い求めください。

INSネット64を利用している ➡ p65

パソコンやモデムと接続したい ➡ p65

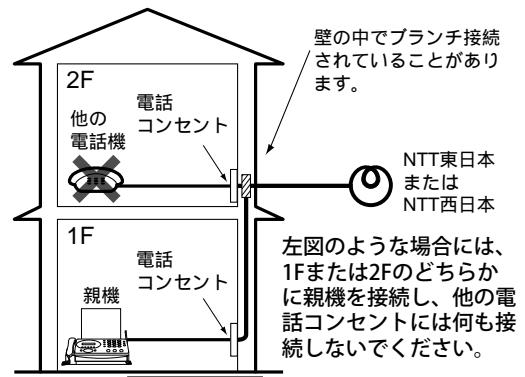
ADSL回線を利用している ➡ p65

- 他の電話機と親機をブランチ接続（並列接続）にしないでください。
- 家の中に2つ以上電話コンセントがある場合、壁の中で配線がブランチ接続になっていることがあります（右図）。NTT東日本またはNTT西日本に確認してください。

ブランチ接続をすると、こんなことが起こります。

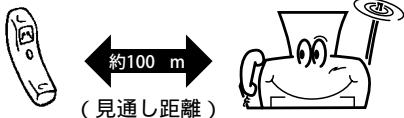
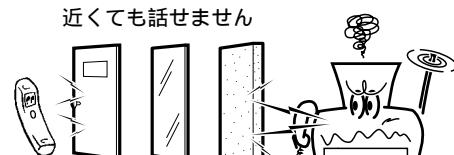
- 電話がかかってきたとき、呼出ベルが途中で鳴り止むことがあります。
- ファクスを送受信しているとき、ブランチ接続されている電話機の受話器を上げると、ファクスの画像に異常が起きます。
- 相手がファクスを送信したとき、ファクスが受信できないことがあります。
- ダイヤルインサービスやナンバー・ディスプレイサービスが利用できません。

ブランチ接続（並列接続）

左図のような場合には、1Fまたは2Fのどちらかに親機を接続し、他の電話コンセントには何も接続しないでください。

子機を組み立てる

ここでは、子機の通話範囲や、使用するときのご注意、組み立てかたなどを説明しています。

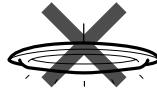
通話範囲について

- 使用できる範囲は親機と子機の間に障害物がない状態で、約100mです。子機と親機が離れすぎると、通話できなくなったり、呼出ベルが鳴らなくなったりします。

- 子機と子機で通話（簡易子機間通話：子機増設時のみ）するときも、お互い親機と通話できる範囲でご使用ください（上記）。子機同士が近くても、どちらかが親機と通話できる範囲から外れると、子機同士の通話はできなくなります。
- 建物内の異なる階層（上下）や屋外を経由すると、通話できないことがあります。
- 親機のアンテナは、まっすぐ立ててお使いください。アンテナを倒した状態では、子機で通話できる範囲が狭くなったり、通話に雑音が入ることがあります。
- 親機と子機の間に、アルミサッシ、金属、鉄筋コンクリートなどの障害物がある場合は、電波が届きません。

アルミサッシ　金属　鉄筋コンクリート

- 親機と子機の間に何も障害物がなくても、次のような場合は、電波の届く範囲が狭くなったり、通話に雑音が入ることがあります。

・金属製家具の近くなど

・蛍光灯などの電気製品の近くなど

・マンションなど鉄筋コンクリートの壁や金属製のドアなどが使用された建物の場合

子機使用上のご注意

- 子機は電波を使っているため、通話中に雑音が入ることがありますが、故障ではありません。
- 子機は電波を使っているため、特殊な装置により盗聴される恐れがあります。大切なお話は親機をご使用ください。
- 通話中に「ピーッ、ピーッ…」という音がしたときは、通話圏外まで離れています。親機に近づいてください。通話圏外のままでいると、約15秒後に親機側で保留になります。さらに1分経過すると電話が切れます。
- 通話中に「ピッ、ピッ、ピッ、…」という音がしたときは、電池の充電残量が少なくなっています。このまま通話を続けると、約1分後に子機通話が切れ、親機側で保留になります。さらに1分経過すると電話が切れます。電池の充電残量が少なくなる（電池電圧が約2.3V以下になる）と子機は使用できなくなります。
- 近隣で他のコードレス電話機を使っていると、まれに誤動作する場合があります。子機で電話がつながらない、通話の途中で切れたなどの場合は、いったん切ってもう一度かけ直してください。
- 車のダッシュボードなど、直射日光の当たるところに放置しないでください。
- 次のような機器の近くに親機を設置したり、近くで子機を使用したりしないでください。雑音や誤動作の原因となることがあります。
  - ・ビジネスホン、モデム、パソコン、ターミナルアダプタ、ルータ、ワープロ、無線機、コピー機、他のコードレス電話機など
  - ・携帯電話、PHS、ポケットベル、充電器、ACアダプタなど
  - ・テレビ、ラジオ、蛍光灯、CDプレーヤー、ヘアドライヤー、電子レンジ、ステレオ、電気こたつなど
  - ・自動車、オートバイ、ネオンサインなど
- ふろ場やシャワールームなど、湿度の高いところで使用しないでください。
- 自動車やオートバイが近くを通ったときや、電気製品や蛍光灯のスイッチを「入」「切」したときなど、雑音が入ることがあります。
- ぬれた手で子機を操作したり、子機に水をかけたりしないでください。本製品の子機には防水機能がありませんので故障の原因となります。

梱包用テープ類をはがす

子機と付属品をビニール袋から取り出し、貼り付けてあるテープ類をはがします。

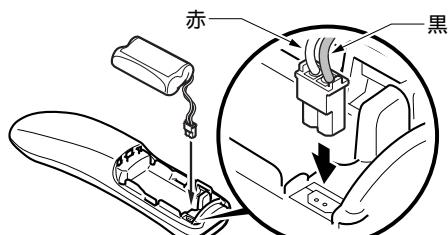
電池パックを取り付ける

⚠危険

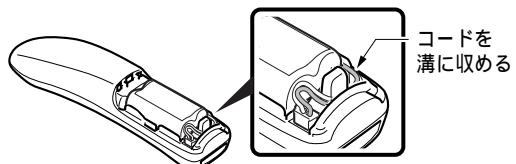
- 子機の充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの液漏れによる周囲の汚染や発熱による火災、破裂によるけがの原因となることがあります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを液漏れ､発熱､破裂させる原因となります。
- 専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを水や火の中に投入したり、加熱しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックに直接はんだ付けしないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックのコネクタの赤（プラス）･黒（マイナス）を針金などの金属類で接触しない（ショートさせない）でください。火災・感電の原因となります。
- 電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因となることがあります。
- 電池パックのビニールカバー（チューブ）は、はがさないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 万一、電池パックが液漏れして、液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。また、漏れた液が皮膚や衣服に付いたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になります。
- 電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り外し、使用を中止してください。

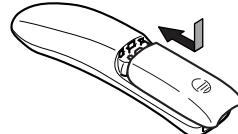
⚠注意

- 電池パックの取り付けは充電器に置いたままで行わないでください。故障の原因となります。

1 電池パックのコネクタを差し込む

⚠注意

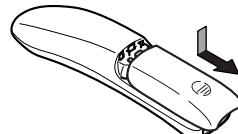
- コネクタの向きが合わない状態で、無理に差し込まないでください。発煙、故障の原因になります。

2 電池パックを取り付ける

3 電池カバーを取り付ける

子機の溝に合わせて、奥に押し込みます。

⚠注意

- 電池パックのコードを子機と電池カバーの間にはさまないようにしてください。断線・故障の原因となります。

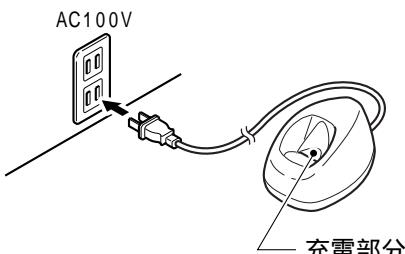
電池カバーを外したい

電池カバーを下に押しながら、手前に引くと外れます。

充電器を電源に接続する

・テレビやステレオなどと同じコンセントに充電器のプラグをつなぐと、雑音の原因となることがあります。できるだけ、別のコンセントにつないでください。近くにコンセントがない場合は、テレビやステレオなどから充電器を離してください。

⚠警告

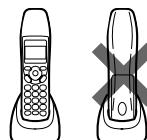
- ぬれた手で充電器のプラグを抜き差ししないでください。漏電して、感電の原因となります。
- 充電器および子機をぬらしたり、水につけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。

充電器のプラグを電源コンセントに差し込む

子機を充電する

お買い上げのとき：**充電されていません**

子機を使わないときは、できるだけ充電器に戻しておいてください。

1 ボタン面が前になるように置く

裏返しに置くと、正しく充電されません。

2 ［切］ボタンが赤く点灯し、充電が始まる

充電時間について

- 初めてご使用のときは、10時間以上充電してください。十分に充電されていないと、使用時に「ピーッ、ピピッ」という音がして子機が使えません。このときは、しばらくの間充電すると使えるようになります。
- 子機のディスプレイに が表示されているときは、電池残量が足りないため、お使いになれません。

子機の使用可能時間（フル充電時）

・連続通話時：約6時間　・連続待受時：約200時間

［切］ボタンがずっと赤く点灯している

充電器に置いている間は赤く点灯しています。過充電になることはありません。

> ⚠注意
>
> ● 充電器の充電部分に、金属物をのせないでください。発熱・やけどの原因となります。

子機を長時間使わないときは

旅行や引越しなどで、子機を長時間使わない、または充電できないときは、子機の電池パックのコネクタを抜いて保管してください。充電器のプラグをコンセントから抜いておいたり、子機を充電器から外して充電しないまま放置すると、電池パックが劣化して使えなくなることがあります。

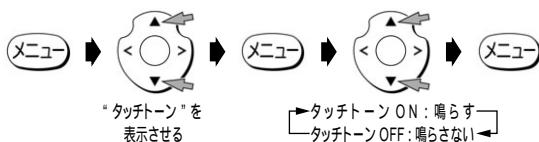
充電しても、すぐ電池がなくなって使えなくなる

電池パックの寿命かもしれません。交換してください。
電池パックの寿命は、使用の有無にかかわらず約2年です。
電池パックを交換する➡ p71

子機を増設したい ➡ p71

子機のキータッチトーンを設定する

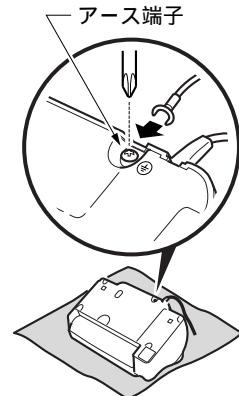
お買い上げのとき：**鳴る**

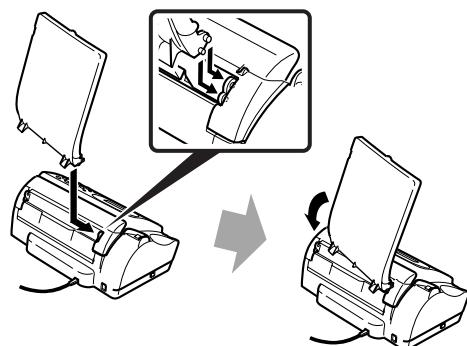
ボタンを押したときに「ピッ」と鳴る音を、キータッチトーンといいます。ボタン操作が確実に行えていることが、この音で確認できます。このキータッチトーンを鳴らさないよう、子機ごとに設定できます。

- キータッチトーンを「OFF」に設定すると、エラーを知らせる音や、設定終了を知らせる音が鳴らなくなります。ただし、キータッチトーンのON／OFFを設定したときの音は鳴ります。
- 親機のキータッチトーンを鳴らさない設定にすることはできません。

親機を組み立てる

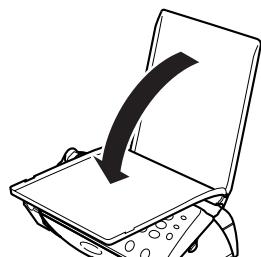
梱包用テープ類をはがす

本機と付属品をビニール袋から取り出し、貼り付けてあるテープ類をはがします。

> ⚠注意
>
> ● 特に湿気の多い場所で親機を使用する場合は、必ずアース接続をしてください。アース線は別売品となります。
>
> アース接続は、親機を裏返して行います。その際、記録紙カセットを取り外し、親機およびディスプレイに無理な力がかからないように、座布団などを敷いてください。
> プラスドライバとアース線を準備してください。
>
>
>
>
> 安全に正しくご使用いただくために➡ p3

記録紙カセットを取り付ける

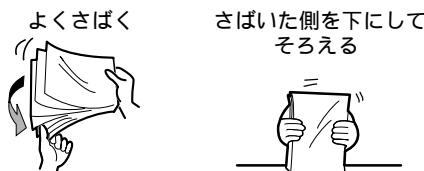
記録紙カセットの片側を先に親機の穴に差し込み、そのあと逆側を差し込みます。取り付けたあと、記録紙カセットを前後に動かして、外れないことを確認してください。

記録紙をセットする

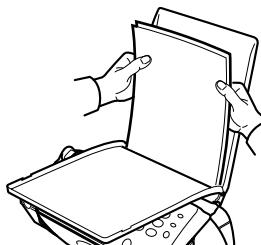
・必ず普通紙をセットしてください。感熱紙をセットすると故障の原因になることがあります。

1 記録紙カバーを前に倒す

2 記録紙をさばく

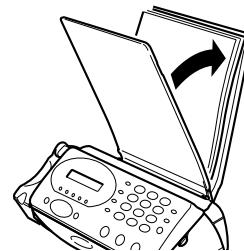
・記録紙をさばかずにセットすると、1度に複数枚の記録紙が送られることがあります。

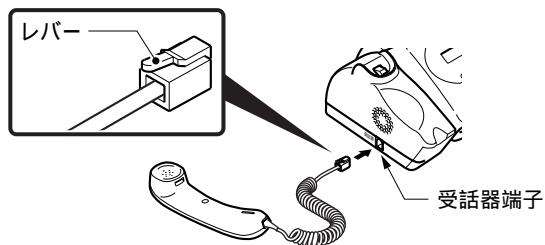
よくさばく

さばいた側を下にしてそろえる

3 記録紙を入れる

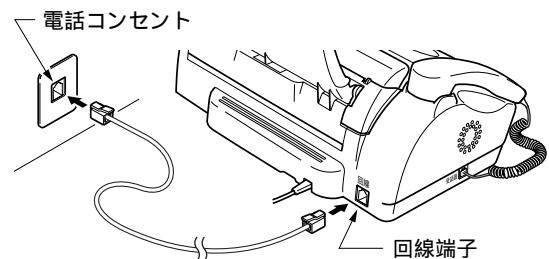
記録紙の先端をそろえて、そっと置いてください（奥まで差し込まないでください）。記録紙の上端が記録紙カセット上側の「記録紙セットの目安範囲」にあることを確認してください。

・セットできる枚数は、20枚までです。
・ファクスを受信するとき、送られてきた原稿が1枚でも、原稿の長さによっては、2枚以上の記録紙に分割してプリントされることがあります。このとき、記録紙が1枚しかセットされていない場合、プリントを終了することができず、さらに記録紙を1枚だけ補充しても、また1枚目からプリントされてしまいます。ファクス受信した文書をプリントする場合は、常に多めに記録紙をセットしておいてください。
・記録紙を補充するときは、記録紙カセットに残っている記録紙をすべて取り出し、追加する記録紙と合わせてよくさばいてから、先端をそろえてセットしてください。
・プリント中は記録紙を追加しないでください。
・記録紙を長期間記録紙カセットにセットしたままにしないでください。記録紙が湿気などを含み、劣化する原因となります。劣化した記録紙をそのままお使いになると、記録紙づまりの原因となります。

4 記録紙カバーをおこす

・記録紙カバーは必ず取り付けて、おこした状態で使用してください。

受話器を取り付ける

受話器端子に受話器用コードを「カチッ」と音がするまで差し込みます。

受話器用コードを抜きたい レバーを押さえながら引き抜いてください。

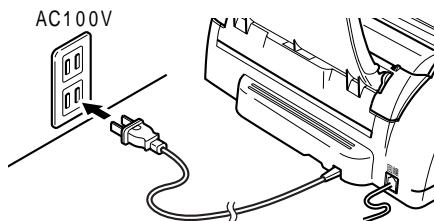
電話回線に接続する

付属の電話回線接続コードの片方を親機背面の回線端子に差し込み、もう片方を電話コンセントに差し込みます。

INSネット64を利用するには ➡ p65

パソコンやモデムにつなぐには ➡ p65

ADSL回線を利用するには ➡ p65

電源に接続する

電源プラグを電源コンセントに差し込む

・電源を先に接続してから回線接続をせずに10分以上経過すると、デモモード（宣伝用自動表示）が始まります。その場合、電話回線に接続するとデモモードは終了します。

電話回線に接続する ➔ p18

回線種別の設定

電源プラグをコンセントに差し込むと、ディスプレイに“シバラク　オマチクダサイ”と表示された後、“デンワカイセン　カクニンチュウ”と表示され、本機が自動的に回線種別（プッシュ回線／ダイヤル回線）を選びます。終了すると時刻設定画面を表示します。

“カイセンセッテイ　シテクダサイ”と表示された

手動で回線種別の設定を行ってください。ISDNターミナルアダプタに本機を接続している場合など、回線によって自動設定できないことがあります。

回線種別の自動／手動設定 ➔ p46

“ハンドスキャナ　サイセット”と表示された

ハンドスキャナを取り外し、もう一度セットしてください。　ハンドスキャナの取り外し／取り付け ➔ p37

アンテナを立ててのばす

親機のアンテナをまっすぐ立て、のばしてください。アンテナを倒したままでは、子機の通話範囲が狭くなったり、通話中に雑音が入ることがあります。

時刻をセットする

回線種別の自動設定が終わると、ディスプレイに“ジコクセッテイ　シテクダサイ”と表示されます。
続いて、現在の時刻をセットしてください。

1 登録／セット ○ を押す

`’04　1/ 1　0:00`

この下線（カーソル）位置の文字を修正できます。

2 年月日・時刻を入力する

- 年　：西暦の下2桁
- 月日：1～9は01～09と入力
- 時刻：24時間制 0～9は00～09と入力

`’04 09/20 13:30`

この例では「0409201330」と入力します。

入力を間違えた　[<]または[>]を押し、間違えた文字の下にカーソルを移動させて、入力し直してください。

3 登録／セット ○ を押す

`カンリョウ`

時刻を設定し直すときは　時計を合わせる ➔ p46

契約しているサービスを確認する

NTTサービスなどを契約している方は、設定が必要な場合があります。□にチェック“✓”し、設定が必要なときは該当ページを見て設定してください。

NTTサービスの契約をしていますか？

・ナンバー・ディスプレイ ………………… □

設定が必要です。 ナンバー・ディスプレイの設定 ➔ p56
※ ネーム・ディスプレイには対応していません。

・キャッチホン・ディスプレイ ………… □

設定が必要です。
キャッチホン・ディスプレイを設定する ➔ p61

・キャッチホン ……………………………… □

設定の必要はありません。
キャッチホンを利用する ➔ p62

・モデムダイヤルイン ……………………… □

設定が必要です。　ダイヤルインの登録 ➔ p64
※ PB信号方式のダイヤルインには対応していません。

確認テストをする

組み立て、接続が正しくできたか、確認のための動作テストを行います。

組み立ての確認をする

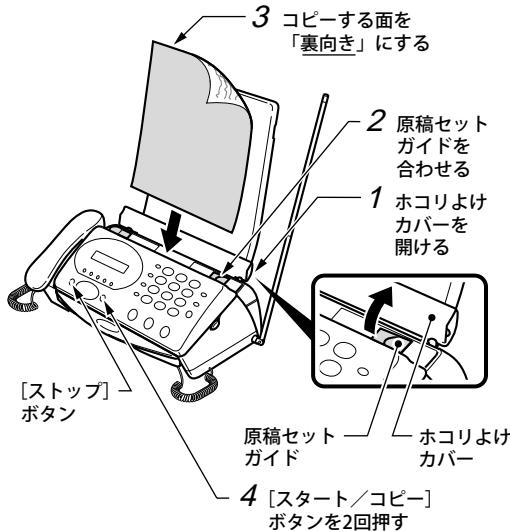
コピーを取って、テストをしましょう。

1 ホコリよけカバーを開ける

2 原稿セットガイドを原稿の幅に合わせる

3 コピーする面を「裏向き」にして、原稿を軽く差し込む

原稿が数cm引き込まれます。

4 スタート/コピー を2回押す

コピーが終わると **原稿、記録紙が排出された後、「ピー」という音がして、コピーが終了します。**

途中でコピーをやめたい

［ストップ］ボタンを押してください。

白紙が出てきたとき

原稿の裏・表を、逆にセットしたことが考えられます。コピーする面を必ず「裏向き」にセットし、もう一度コピーしてみてください。

紙がつまったとき

“ゲンコウガ　ツマリマシタ”と表示されたとき ➜ p67
“キロクシガ　ツマリマシタ”と表示されたとき ➜ p66

B4の原稿をコピーすると ➜ p36

電話ができることを確認する

電話をかけたり、受けたりできることを確認してください。

電話をかけられない 困ったときは ➜ p73

電話をかけられるが、受けられない

ナンバー・ディスプレイの契約と設定が一致しているかどうかを確認してください。

- 契約している場合……「利用する」（お買い上げのときのまま）
- 契約していない場合……「利用しない」に変更が必要

ナンバー・ディスプレイの設定 ➜ p5 6

ダイヤルインを契約している場合は、ナンバー・ディスプレイの契約にかかわらず、ナンバー・ディスプレイの設定を「利用する」にしてください。

お買い上げ時の状態について

お買い上げ時の本機は、ファクスを自動で受けられるように設定されています。

自動で受ける ➜ p3 4

お買い上げ時の本機の設定状態については

機能設定／登録早見表 ➜ p8 6

操作を間違えたときは

- **親機の場合**

ストップ ［ストップ］ボタンを押すと、操作／設定がキャンセルされ、待機状態に戻ります。

- **子機の場合**

切 充電器に戻すか［切］ボタンを押してください。

電話として使うには

ここでは、電話のいろいろな使いかたを説明しています。

電話をかける

親機で

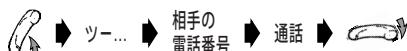
・子機を使用中には、“ナイセン2　シヨウチュウ”などが表示されます。親機で電話はできません。
・ファクス受信中やコピー中は電話をかけられません。
・コピーやファクスを送受信したあと、受話器が温かくなることがあります。

受話器を取ってかける

➡ ツー… ➡ 相手の電話番号 ➡ 通話 ➡

受話器を置いたままかける

〈オンフックダイヤル〉

➡ ツー… ➡ 相手の電話番号 ➡ ➡ 通話 ➡

番号を間違えたら ［オンフック］ボタンを押し、最初からやり直してください。

番号を確認してからかける

受話器を置いたまま ➡ 相手の電話番号 ➡ ディスプレイで確認 ➡ ➡ 通話 ➡

番号を間違えたら ［消去］ボタンまたは［ストップ］ボタンを押し、最初から入力し直してください。

［オンフック］ボタンの使いかた

・［オンフック］ボタンを押すと、受話器を持たずに電話がかけられます（オンフックダイヤル）。
・親機で通話中に［オンフック］ボタンを押してから受話器を戻すと、通話が切れずにスピーカから相手の声が聞こえます。
・オンフック中は、こちらの声は相手に聞こえません。

子機で

・親機を使用中には、「ピーピーピー」と音が鳴り、電話できません。
・通話中に親機の［スタート／コピー］ボタンが押されると、通話が切れて、ファクス受信状態になります。

充電器から取ってかける

➡
➡ ツー… ➡ 相手の電話番号 ➡ 通話 ➡
または
番号を間違えたら ［切］ボタンを押してから［通話］ボタンを押し、「ツー…」という音が聞こえたら、相手の電話番号をダイヤルしてください。

「ツー…」と聞こえないとき もう一度［切］ボタンを押してから［通話］ボタンを押してください。

充電器に置いていないとき ［通話］ボタンを押し、「ツー…」という音が聞こえたら、相手の電話番号をダイヤルしてください。

番号を確認してからかける

➡ 相手の電話番号 ➡ 表示を確認 ➡
➡ 通話 ➡
番号を間違えたら ［保留／消去］ボタンを押すごとに、1文字ずつ取り消すことができます。間違えた番号まで戻って入力し直してください。

充電器に置いていないとき そのまま相手の電話番号をダイヤルし、確認してから［通話］ボタンを押します。

相手の声を大きくしたい 受話音量 ➡p31、p50

クイック通話とは

お買い上げのとき：OFF

クイック通話は子機の機能です。充電器に置いてある子機を取るだけで、ダイヤルができる状態になります。電話がかかってきたときも、充電器から子機を取るだけで電話に出られるようになります。

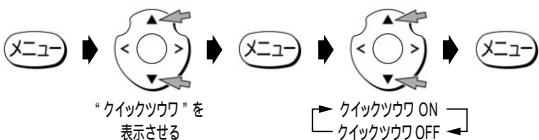
・ONのとき
充電器に置いてある子機を取ると［通話］ボタンを押さずにダイヤルできる状態になります。または、かかってきた電話に出られます。
・OFFのとき
［通話］ボタンを押して、相手の電話番号をダイヤルします。または、かかってきた電話に出られます。

クイック通話のON／OFFの切り替えかた

“クイックツウワ”を表示させたあと、“クイックツウワ　ON／OFF”を選びます。
ON／OFFの設定は、子機ごとに行えます。

➡
➡
➡
➡ メニュー

“クイックツウワ”を表示させる

クイックツウワ ON
クイックツウワ OFF

同じ相手にもう一度かける

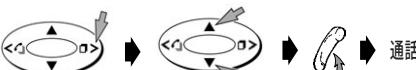
リダイヤル

親機で

以前かけた相手や、ファクスを送った相手、話中で通話できなかった相手などを、最大10件まで記憶できます。

・子機で電話をかけた相手に、親機でかけ直すことはできません。
・リダイヤルできる桁数は40桁までです。

かけかた

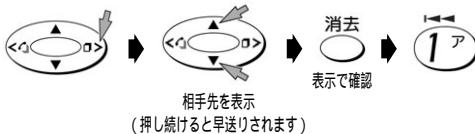
➡
➡
➡ 通話

相手先を表示
（押し続けると早送りされます）

受話器を取ったあと、または［オンフック］ボタンを押してから（リダイヤル）ボタンを押したときは、最後に電話をかけた相手に自動的にリダイヤルします。

ファクスを送信したい

原稿をセットしてから、送信したい相手を表示させ、［スタート／コピー］ボタンを押してください。

以前にかけた電話番号を消したい

消去したい相手を表示させてから［消去］ボタンを押し、表示の内容を確認して消去してください。

途中で操作をやめたいとき［ストップ］ボタンを押してください。

子機で

最大10件まで記憶できます。

・親機を使ってかけた相手やファクスを送った相手には、子機でかけ直すことはできません。
・リダイヤルできる桁数は20桁までです。

かけかた

以前にかけた電話番号を消したい

消去したい相手を表示させてから［保留／消去］ボタンを押し、表示の内容を確認して消去してください。

途中で操作をやめたいとき 確認のメッセージを表示中に［▲］または［▼］を押し、“チュウシ　シマスカ？”が表示されたら［メニュー］ボタンを押してください。

電話を受ける

ベルが鳴る ➡ ➡ 通話 ➡

子機で

・子機のベルは、親機より少し遅れて鳴り、このとき［通話］ボタンが点滅します。
・通話中に親機の［スタート／コピー］ボタンを押されると、通話は切れます。

充電器から取って受ける

充電器に置いていないとき ベルが鳴っているときに［通話］ボタンを押すと、電話に出られます。

相手の声を大きくしたい

受話音量 ➡p31、p50

ベルの音量を変えたい

ベル音量 ➡p31

ベルの音を変えたい

ベルの音色／メロディを変える ➡p48

ポーポーという音が聞こえたら

・「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください」というメッセージが流れたら、受話器を戻してください。
子機の場合は［切］ボタンを押す、または充電器に戻してください。
・ファクスかんたん受信を「しない」に設定したときは、メッセージが流れません。このときは、下記の「無音だったら」と同じ操作をしてください。

無音だったら

・ファクスかもしれません。親機の［スタート／コピー］ボタンを押してください。子機の場合は［内線］ボタンを押してから［6］を押してください。

保留する

通話の途中で相手を待たせるときに、メロディ音を流すことができます。メロディ音が流れている間は、こちらの声は相手に聞こえません。

・10分以上保留にしたままでいると電話は切れます。
・内線通話の保留はできません。

親機で

保留中に受話器を戻すと 電話は切れません。受話器を取ると保留が解除され、話ができます。

保留のあと子機で話をするとき

親機で保留したあと、受話器を戻して子機を取り［通話］ボタンを押すと、子機で話ができます。

子機で

保留中に充電器に戻すと 電話は切れません。クイック通話がONのときは、充電器から取ると保留が解除され、クイック通話がOFFのときは、充電器から取り［通話］ボタンを押すと保留が解除され、話ができます。

保留のあと親機で話をするとき

子機で保留したあと、充電器に戻して親機の受話器を取ると、親機で話ができます。

保留中のメロディを変えたい

保留中のメロディは「聖者の行進」または「茶色の小瓶」のうち、いずれかを選べます。

保留メロディを変える ➡p49

転送する

かかってきた電話を親機から子機に、または子機から親機に転送できます。

内線番号について

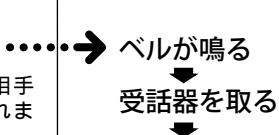
親機や子機には、内線番号が割り当てられています。
・内線1：親機
・内線2：付属子機
・内線3：増設子機1台目
・内線4：増設子機2台目
子機を2台以上お使いの場合、内線番号の代わりに［＊］を押すと、すべての内線を呼び出すことができます。

親機から子機に転送する

親機		子機
1 外線と通話中		
2 ［保留/内線］を押す 外線が保留され、相手にメロディ音が流れます。		
3 ［2カ ABC］を押す 子機が2台以上ある場合は、該当する内線番号を押します。 内線番号について ➡上記	••••➡	ベルが鳴る ⬇ ［通話］
4 子機と通話 用件を伝えます。	⬅•••➡	親機と通話
5 受話器を戻す	••••➡	外線と通話

子機が出ない
［保留／内線］ボタンを押すと、外線との通話に戻れます。

子機に切り替えたい（1人で転送したい）
外線と通話中に［保留／内線］ボタンを押し、受話器を戻してから子機を取り［通話］ボタンを押すと、子機で外線と通話ができます。

子機から親機に転送する

子機		親機
1 外線と通話中		
2 ［内線］を押す		
3 ［1ア］を押す 外線が保留され、相手にメロディ音が流れます。	••••➡	ベルが鳴る ⬇ 受話器を取る ⬇
4 親機と通話 用件を伝えます。	⬅•••➡	子機と通話
5 ［通話］または［切］	••••➡	外線と通話

親機が出ない
［内線］ボタンを押すと、外線との通話に戻れます。

親機に切り替える（1人で転送したい）
外線と通話中に［保留／消去］ボタンを押し、子機を充電器に戻すか、［切］ボタンを押したあと、親機の受話器を取ると、親機で外線と通話ができます。

子機から子機に転送する

子機を2台以上お使いの場合、子機と子機でトランシーバー方式の会話ができます。

・相手と同時に話すことはできません。送話側が話したあと［キャッチ］ボタンを押すと、送話と受話が切り替わります。
・送受話の切り替えおよび転送は、送話側の子機のみ行えます。
・送話側が話せる時間は、最大50秒間です。50秒を過ぎると、自動的に外線が受話側に転送されます。

子機		子機
1 外線と通話中		
2 ［内線］を押す		
3 該当する子機の内線番号を押す 外線が保留され、相手にメロディ音が流れます。 内線番号について ➡ 本ページ左側 送話側：ﾅｲｾﾝ ｿｳｼﾝ	••••➡	ベルが鳴る ⬇ ［通話］ 受話側：ﾅｲｾﾝ ｼﾞｭｼﾝ
4 「ピポ」と鳴ったら用件を伝える	••••➡	用件を聞く
5 ［通話］または［切］	••••➡	外線と通話

※ 以後、送受話を切り替えるときは、送話側が［キャッチ］ボタンを押します。

子機が出ない
［内線］ボタンを押すと、外線との通話に戻れます。

親機と子機で通話する

内線通話

親機と子機で通話をすることができます。

・内線通話は保留できません。
・どちらかが外線で通話中のときは、内線通話はできません。
・内線の呼び出しや、内線通話中に外線がかかってくると、内線の呼び出しや内線通話が中断し、外線のベルが鳴ります。外線に出るときは、親機はいったん受話器を戻し再度取ってください。子機は［通話］ボタンを押すと外線に出ることができます。

内線呼出音の鳴りかた

ピピッピピッ（1秒）　（無音）（1秒）　ピピッピピッ（1秒）　（無音）（1秒）　ピピッピピッ（1秒）

親機から子機にかける

親機　／　子機

1 保留/内線 を押す

2 2カABC を押す ‥‥→ ベルが鳴る → 通話

子機が2台以上ある場合は、該当する内線番号を押します。
内線番号について
➡ p23

3 受話器を取って子機と通話 ←‥‥→ 親機と通話

4 受話器を戻す　／　（子機）または 切

子機から親機にかける

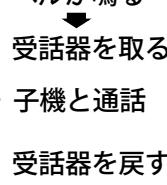
子機　／　親機

1 待機中
➡ p11

2 内線 を押す

3 1ア を押す ‥‥→ ベルが鳴る → 受話器を取る

4 親機と通話 ←‥‥→ 子機と通話

5 または 切　／　受話器を戻す

子機と子機で通話する

簡易子機間通話：トランシーバー方式

子機を2台以上お使いの場合、子機と子機でトランシーバー方式の会話をすることができます。

・簡易子機間通話は保留できません。
・親機または子機で外線通話中のときは、簡易子機間通話はできません。
・内線の呼び出しや、内線通話中に外線がかかってくると、内線の呼び出しや内線通話が中断し、外線のベルが鳴ります。
・三者通話はできません。
・相手と同時に話すことはできません。送話側が話したあと［キャッチ］ボタンを押すと、送話と受話が切り替わります。
・送受話の切り替えおよび終話は、送話側の子機のみ行えます。
・送話側が話せる時間は、最大50秒間です。50秒を過ぎると、簡易子機間通話が自動で終了します。

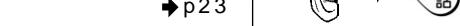
子機　／　子機

1 待機中
➡ p11

2 内線 を押す

3 該当する子機の内線番号を押す ‥‥→ ベルが鳴る → 通話

内線番号について
➡ p23

送話側：ﾅｲｾﾝ ｿｳｼﾝ　／　受話側：ﾅｲｾﾝ ｼﾞｭｼﾝ

4 「ピポ」と鳴ったら用件を伝える ‥‥→ 用件を聞く

5 キャッチ を押す

送受話を切り替えます。

受話側：ﾅｲｾﾝ ｼﾞｭｼﾝ　／　送話側：ﾅｲｾﾝ ｿｳｼﾝ

6 用件を聞く ←‥‥ 「ピポ」と鳴ったら用件を伝える

※ 以後、送受話を切り替えるときは、送話側が［キャッチ］ボタンを押します。

7 充電器に戻す　／　または 切

ワンタッチダイヤルに登録する

よく電話やファクスを送る相手先の名前や電話番号をワンタッチダイヤルに登録しておくと、簡単に電話やファクス（親機のみ）ができます。親機に登録したワンタッチダイヤルは、らくらく電話帳に登録されます。

ナンバー・ディスプレイを利用している方は

必ず市外局番から登録してください。また［＊］［#］［−］（ポーズ）は入力しないでください。

親機のワンタッチダイヤルに登録する

登録できる相手先は3件です。相手先名は12文字、電話番号は32桁まで登録できます。

1 1 … 3 を押す（どれか1つ）

トウロクサレテイマセン
⋮
1：トウロク　2：トリケシ

2 1ア を押す

トウロク：ナマエ?

電話番号だけ入力したい 手順4に進んでください。

3 相手の名前を入力する

ナマエ：オトウサン

文字入力一覧表 ➡ p91

文字入力を間違えた ［<］または［>］で間違えた文字にカーソルを合わせ［消去］ボタンを押してください。

4 登録／セット を押す

TEL：?

5 相手の電話番号を市外局番から入力する

TEL：0612345678_

途中で登録をやめたい ［ストップ］ボタンを押してください。

6 登録／セット を押す

トウロク　シマシタ

親機のワンタッチダイヤルの登録内容を変更する

1 変更したいワンタッチダイヤルボタンを押す

アイテ：オトウサン

2 登録／セット を押す

1：ショウキョ　2：ヘンコウ

3 2カABC を押す

ナマエ：オトウサン

名前を変更しないとき 手順6に進んでください。

4 ＜　＞を押し、変更したい文字にカーソルを合わせる

5 名前を入力し直す

［消去］ボタンを押すと、カーソルの文字が1文字消えます。

6 登録／セット を押す

TEL：0612345678

電話番号を変更しないとき 手順9に進んでください。

7 ＜　＞を押し、変更したい数字にカーソルを合わせる

8 番号を入力し直す

［消去］ボタンを押すと、表示されているすべての数字が消えます。

9 登録／セット を押す

ヘンコウ　シマシタ

登録内容を消去したい

手順3で［1］（ショウキョ）を押すと“1：ジッコウ　2：トリケシ”と表示されるので［1］を押してください。

子機のワンタッチダイヤルに登録する

登録できる相手先は1件です。相手先名は12文字まで、電話番号は16桁まで登録できます。

・ワンタッチダイヤルが登録されていないときに［ワンタッチ］ボタンを押すと、手順3の表示になり、登録することができます。

1 メニュー を押す

2 ▲▼を押し、“ワンタッチダイヤル”を表示させる

ワンタッチダイヤル

3 メニュー を押す

_ナマエ?

電話番号だけ入力したい 手順5に進んでください。

4 相手の名前を入力する

ヒロシクン

文字入力一覧表 ➡ p91

文字入力を間違えた ［保留／消去］ボタンを押し、入力し直してください。［保留／消去］ボタンを2秒以上押し続けると、表示されているすべての文字が消えます。

5 メニュー を押す

_デンワバンゴウ?

6 相手の電話番号を市外局番から入力する

・12桁を超えて入力したときはスクロール表示されます。
・ポーズを入れるときは［キャッチ］ボタンを押してください。

7 メニュー を押す

電話

登録内容を変更・削除したい

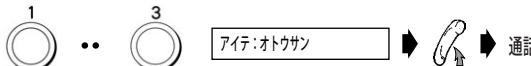
登録と同じ手順で行います。手順3と手順5で、すでに登録されている相手の名前と電話番号が表示されるので、［保留／消去］ボタンを押し、それぞれ入力し直して手順を進めてください。
それぞれを空白にすれば、削除したことになります。

ワンタッチダイヤルで電話をかける

あらかじめワンタッチダイヤルに登録しておくと、ボタンを押すだけで電話をかけたりファクス（親機のみ）を送ることができます。

ワンタッチダイヤルに登録する ➜ p25

親機で

かけたい相手が登録されているワンタッチダイヤルボタンを押して、受話器を上げてください。

子機で

待機中 ➜p11 ➜ ワンタッチ ヒロシクン ➜ 通話

らくらく電話帳に登録する

よく電話やファクスを送る相手先を登録できます。

・ナンバー・ディスプレイを利用している方は、必ず市外局番から登録してください。また［＊］［＃］［－］（ポーズ）は入力しないでください。

親機に登録する

登録できる件数は197件までです。相手先名は12文字まで、電話番号は32桁まで登録できます。

1 登録／セット を押す　トウロク:ナマエ?

電話番号だけ入力したい 手順3に進んでください。

2 相手の名前を入力する　ナマエ:ニッポ゜ンデ゛ンキ

文字入力一覧表 ➜ p91

文字入力を間違えた ［<］または［>］で間違えた文字にカーソルを合わせ［消去］ボタンを押してください。

3 登録／セット を押す　TEL:?

4 相手の電話番号を市外局番から入力する　TEL:0312345678

途中で登録をやめたい ［ストップ］ボタンを押してください。

5 登録／セット を押す　トウロク シマシタ

続けて登録したい 手順2からくり返してください。

6 登録を終了するときは ストップ を押す

"デンワチョウ　フル"と表示された

相手先が197件登録されています。不要な相手先を消去してから、新しい相手先を登録してください。

親機の電話帳の登録内容を消去する ➜p27

登録した内容を確認したい

親機の電話帳の登録内容をプリントする ➜p52

親機の電話帳を子機で使いたい

親機の電話帳を子機に転送する ➜p28

親機の電話帳の登録内容を変更する

1 ▲▼ を押し、変更したい相手を表示させる

2 登録／セット を押す　1:ショウキョ 2:ヘンコウ

3 2 を押す　ナマエ:ニッポ゜ンデ゛ンキ

名前を変更しないとき 手順6に進んでください。

4 ◁▷ を押し、変更したい文字にカーソルを合わせる

5 名前を入力し直す

［消去］ボタンを押すと、カーソルの文字が1文字消えます。

6 登録／セット を押す　TEL:0312345678

電話番号を変更しないとき 手順9に進んでください。

7 ◁▷ を押し、変更したい数字にカーソルを合わせる

8 番号を入力し直す

［消去］ボタンを押すと、表示されているすべての数字が消えます。

9 登録／セット を押す　ヘンコウ シマシタ

・手順1の操作では、ワンタッチダイヤルで登録した相手も表示されます。その際、登録内容を変更／消去した場合、ワンタッチダイヤルの登録内容も同時に変更されます。

親機の電話帳の登録内容を消去する

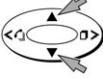
1 を押し、変更したい相手を表示させる

2 登録／セット を押す

1:ショウキョ 2:ヘンコウ

3 1ア を押す

1:ジッコウ 2:トリケシ

4 1ア を押す

ショウキョ シマシタ

途中で消去をやめたい

手順4で［2］（トリケシ）を押し、［ストップ］ボタンを押してください。

子機に登録する

登録できる件数は80件までです。相手先名は12文字まで、電話番号は16桁まで登録できます。

・各ボタンは60秒以内に操作してください。60秒経過すると「ピーピーピー」という音がして登録が中断されます。中断されたときは、手順1からやり直してください。

1 メニュー を押す

デンワチョウ トウロク

2 メニュー を押す

_ナマエ?

3 相手の名前を入力する

ニッポンデンキ

文字入力一覧表 ➡ p91

文字入力を間違えた ［保留／消去］ボタンを押し、入力し直してください。［保留／消去］ボタンを2秒以上押し続けると表示されているすべての文字が消えます。

4 メニュー を押す

_デンワバンゴウ?

5 相手の電話番号を市外局番から入力する

・12桁を超えて入力したときはスクロール表示されます。
・ポーズを入れるときは［キャッチ］ボタンを押してください。

6 メニュー を押す

“デンワチョウ　フル”と表示された

相手先が80件登録されています。不要な相手先を消去してから、新しい相手先を登録してください。

子機の電話帳の登録内容を消去する ➡ 本ページ右側

途中で登録をやめたい

［切］ボタンを押してください。

リダイヤルに記録されている電話番号を登録したい

待機中に［<］を押し、［▲］または［▼］を押して登録したいリダイヤルデータを表示させたあと、上記の手順2に進みます。
リダイヤルデータの登録は、子機でのみ行うことができます。

子機の電話帳の登録内容を変更する

1 を押し、変更したい相手を表示させる

ニッポンデンキ

2 メニュー を押す

ニッポンデンキ

名前を変更しないとき 手順5に進んでください。

3 または を押し、変更したい文字を点滅させる

4 名前を入力し直す

［保留／消去］ボタンを押すと、点滅している文字が1文字消えます。［保留／消去］ボタンを2秒以上押し続けると、表示されているすべての文字が消えます。

5 メニュー を押す

0312345678

電話番号を変更しないとき 手順8に進んでください。

6 または を押し、変更したい数字を点滅させる

7 番号を入力し直す

［保留／消去］ボタンを押すと、点滅している数字が1文字消えます。［保留／消去］ボタンを2秒以上押し続けると、表示されているすべての数字が消えます。

8 メニュー を押す

途中で変更をやめたい

［切］ボタンを押してください。

子機の電話帳の登録内容を消去する

1 を押し、消去したい相手を表示させる

ニッポンデンキ

2 保留消去 を押す

ショウキョ シマスカ?

3 保留消去 または メニュー を押す

ショウキョ シマシタ

途中で消去をやめたい

手順2で［▲］または［▼］を押し“チュウシ　シマスカ？”を表示させたあと、［メニュー］ボタンを押してください。

・複数の子機をご利用の場合は、子機ごとに消去の操作を行ってください。すべての子機の登録内容を、一括して消去することはできません。

親機の電話帳を子機に転送する

電話帳転送

電話帳の転送のしかたには、次の2つがあります。
・電話帳の内容を一度に全部転送する〈一斉転送〉
・1件ずつ転送する〈個別転送〉
転送した内容は、子機の電話帳に追加されます。

・子機に同じ相手先名と電話番号が登録されているときは転送されません。
・子機の電話帳がすでに80件登録されていると、転送できません。また登録数が80件になった時点で転送は終了します。
・17桁以上の電話番号は、転送できません。
・転送中に着信があったり、エラーが発生したときは、その時点で転送を終了します。
・転送中、相手の子機は使用できません。ディスプレイに“テンソウチュウ”と表示されます。

一度に転送する

〈一斉転送〉

1 メニュー を押す　｜キノウセンタク シテクダサイ｜
2 2(カ ABC) を押す　｜デンワ キノウ｜
3 登録／セット を押す
4 メニュー を7回押す　｜デンワチョウ テンソウ｜
5 登録／セット を押す　｜イッセイ テンソウ｜
6 登録／セット を押す　｜テンソウサキ ナイセン2｜
7 登録／セット を押す　｜スタート ヲ オシテクダサイ｜
8 スタート/コピー を押す　｜テンソウ チュウ 1/ 45｜ ⋮ ｜セイジョウ シュウリョウ｜
「転送件数／登録件数」が数字で表示されます。
9 子機の電話帳の内容を見て、正しく転送されたことを確認する
待機中に［▲］または［▼］を押すと、登録してある電話帳が表示されます。

“○○ケン　テンソウデキマセン”と表示されたとき

転送しようとした相手先電話番号の中に17桁以上の番号が混ざっていると、その番号は転送されません。転送されなかった件数を表示します。手順9のあと、転送されなかった番号を修正して、1件ずつ転送（個別転送）するか、一度に転送（一斉転送）し直してください。
個別転送 ➔本ページ右側

“テンソウ　デキマセン”と表示されたとき

転送しようとした相手先電話番号がすべて17桁以上の場合に表示され、番号はすべて転送されません。電話帳の内容を修正して、転送し直してください。

“デンワチョウ　フル”と表示されたとき

すでに子機の電話帳に80件登録されています。子機の電話帳から不要な相手先を消去してから転送し直してください。 子機の電話帳の登録内容を消去する ➔p27

子機が2台以上あるとき

手順6のあと［<］または［>］を押し、転送したい子機の内線番号を表示させてください。
内線番号について ➔p23

1件ずつ転送する

〈個別転送〉

1 メニュー を押す　｜キノウセンタク シテクダサイ｜
2 2(カ ABC) を押す　｜デンワ キノウ｜
3 登録／セット を押す
4 メニュー を7回押す　｜デンワチョウ テンソウ｜
5 登録／セット を押す　｜イッセイ テンソウ｜
6 ◀▶ を押し、“コベツ　テンソウ”を表示させる　｜コベツ テンソウ｜
7 登録／セット を押す　｜テンソウサキ ナイセン2｜
8 登録／セット を押す　｜アイテ:ニッポンデンキ｜
9 ▲▼ を押し、転送したい登録内容を表示させる
10 登録／セット を押す　｜スタート ヲ オシテクダサイ｜
11 スタート/コピー を押す　｜テンソウ チュウ｜ ⋮ ｜セイジョウ シュウリョウ｜ ⋮ ｜アイテ:ニッポンデンキ｜

続けて転送したい　手順9からくり返してください。

12 終了するときは ストップ を押す
13 子機の電話帳の内容を見て、正しく転送されたことを確認する

“テンソウ　デキマセン”と表示されたとき

電話番号が17桁以上の相手先を転送しようとすると、手順10で［登録／セット］ボタンを押したあと“テンソウ　デキマセン”と表示されます。

“デンワチョウ　フル”と表示されたとき

すでに子機の電話帳に80件登録されています。子機の電話帳から不要な相手先を消去してから転送し直してください。 子機の電話帳の登録内容を消去する➡p27

子機が2台以上あるとき

手順7のあと［<］または［>］を押し、転送したい子機の内線番号を表示させてください。

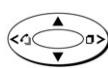
内線番号について➡p23

らくらく電話帳で電話をかける

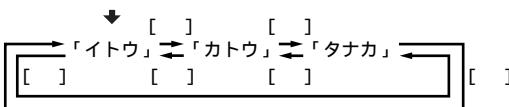
あらかじめ電話帳に登録しておくと、簡単に電話やファクス（親機のみ）ができます。

らくらく電話帳に登録する➡p26

［電話帳］ボタンの使いかた

親機

子機

［▲］［▼］…登録されている先頭の相手先が表示され、押すごとに相手先が切り替わります。押し続けると、早送りされます。

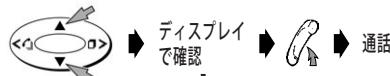
例：「イトウ」「カトウ」「タナカ」が登録されているとき

電話帳の相手先名は50音順に表示されます

登録するとき相手先名の前に空白を入れたり、アルファベットや数字などを入力すると次の順で表示されます。

空白＋文字 → 数字 → カナ（50音順）→ アルファベット → 記号 → 相手先名のない電話番号

親機で

・子機に登録してある電話帳は使用できません。

相手先を確認してからかける

［電話帳］ボタンを押す前に受話器を取った

相手先を表示させたあと［スタート／コピー］ボタンを押すとかけられます。ただし［スタート／コピー］ボタンを押すまでに時間がかかると、電話をかけられない場合があります。受話器を置いたまま、先に相手先を表示させてからかけることをおすすめします。

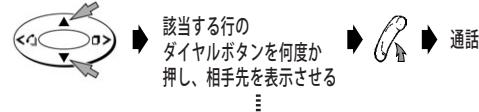
相手先を素早く探してかける

・ディスプレイに相手先が表示されているときにダイヤルボタンを押すと、ボタンに割り当てられているカナの行の名前が表示されます。
（例：［3（サ）］を押すと“サトウ”）
また、ダイヤルボタンを押すたびに、その行の相手先が順番に表示されます。
（例：［3（サ）］を押すたびに“サトウ”“スズキ”…）

・相手先名が記号で始まる場合は［0］を押すと、“－”や“（”、“＊”などで始まる相手先名が表示されます。

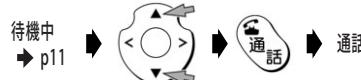
・該当する行に一人も登録されていないときは、ダイヤルボタンを押しても表示は変わりません。

➡ 該当する行のダイヤルボタンを何度か押し、相手先を表示させる ➡ ➡ 通話

ｱｲﾃ:ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ

子機で

・親機に登録してある電話帳は子機の電話帳に転送しなければ、子機では使用できません。

電話帳転送➡p28

50音順で探してかける

待機中 ➡p11

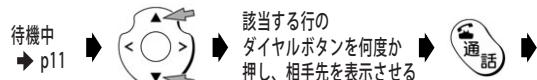
相手先を素早く探してかける

・ディスプレイに相手先が表示されているときにダイヤルボタンを押すと、ボタンに割り当てられているカナの行の名前が表示されます。
（例：［3（サ）］を押すと“サトウ”）
また、ダイヤルボタンを押すたびに、その行の相手先が順番に表示されます。
（例：［3（サ）］を押すたびに“サトウ”“スズキ”…）

・相手先名が記号で始まる場合は［0］を押すと、“－”や“（”、“＊”などで始まる相手先名が表示されます。

・該当する行に一人も登録されていないときは、ダイヤルボタンを押しても表示は変わりません。

待機中 ➡p11 ➡

➡ 該当する行のダイヤルボタンを何度か押し、相手先を表示させる ➡

➡ 通話

通話中の会話を録音する

通話録音

親機で通話中の会話を録音することができます。注文受付やインタビューなど、メモの代わりにご利用ください。また、録音した用件を相手に聞かせることもできます。

- 子機で通話中の会話は、録音できません。
- 録音できる時間は最大約15分です。ただし、自分で録音した応答メッセージや留守電の用件、受信したファクスの内容が残っていると、録音できる時間が少なくなります。
- 通話録音の1件は留守電の用件1件分としてカウントされます。留守電の用件と合わせた合計が、約15分または最大30件まで録音できます。
- 留守電の用件が30件録音されているときや、残りの録音時間が約20秒以内のときは、通話録音できません。
- 内線通話は、通話録音できません。

親機で

- 録音開始時の「ピー」という音は、相手側にも聞こえます。これは、無断で通話を録音すると、プライバシーの侵害となることがあるためです。

通話を保留したい

通話録音中は保留できません。通話録音を中止してから保留してください。

メモリがいっぱいになった

「メモリがいっぱいです」というメッセージが流れます（メッセージは相手側にも聞こえます）。このとき、親機のディスプレイに“メモリガ　イッパイデス”と表示され、録音が中断されます。

録音した内容を聞きたい

通話録音した内容は、留守電の用件を聞くときと同じ操作で、再生や消去ができます。

録音された用件を聞く ➜ p41
不要な用件を消す ➜ p42

通話中の相手に録音内容を聞かせる

通話録音した内容を再生し、相手に聞かせることができます。このとき、留守電に録音されている用件があると、その内容も再生されます。

- 子機で通話中のときは、再生できません。

親機で

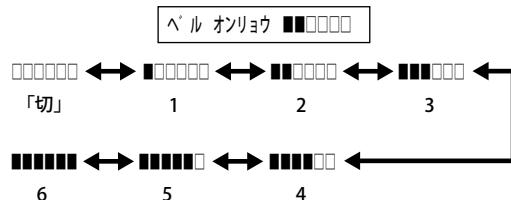
親機で再生中のボタン操作 ➜p42

音量を調整する

操作後、目的の音量が鳴った時点で設定されます。
外線と内線に共通の設定です。

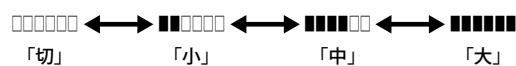
親機で

ベル音量

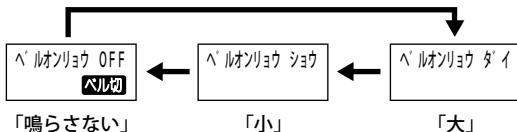
待機中に操作します。
［音量▲］または［音量▼］ボタンを1回押すと、現在のベル音量が鳴り（「切」に設定してあるときは鳴りません）、もう一度［音量▲］または［音量▼］ボタンを押すと切り替わります。

受話音量

通話中に操作します。

モニタスピーカと留守電の再生音量

［オンフック］ボタンを押し「ツー」という音が聞こえている状態、または用件再生中などに操作します。
［音量］ボタンを押すと、次の順番で音量が変わります。

子機で

ベル音量

待機中に操作します。
［＞］ボタンを２秒以上押すたびに「ピッ」または「ピー」（OFFのとき）と音がして、次の順番で音量が変わります。

受話音量

［通話］ボタンを押し「ツー」という音が聞こえている状態で操作します。
［>］ボタンを押すたびに、次の順番で音量が変わります。

通話中に受話音量を調整したい

通話状態のまま［>］ボタンを押してください。押すたびに音量が変わります。

音量を「特大」にしても音が小さい

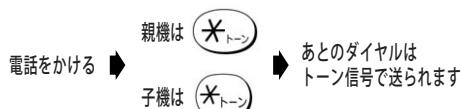
受話音量を全体的に大きくすることができます。

子機の受話音量を全体的に大きくする➜p50

トーン信号に切り替える

ダイヤル回線をご利用の方だけお読みください。
テレホンサービスやファクス情報サービスなどを利用するときに操作してください。

・この操作は、一時的にトーン（プッシュ）信号を送出するための操作です。電話を切ると元に戻ります。

電話

ファクスやコピーとして使うには

ここでは、ファクスやコピーの使いかたなどを説明しています。

ファクス／コピーの前に

読み取れる原稿のサイズと厚さ

1枚だけセットする場合と2枚以上セットする場合で、読み取れる原稿の長さと厚さが異なります。

	1枚だけセットする場合（幅×長さ）	2枚以上セットする場合（幅×長さ）
最大*	257 × 1000 mm	257 × 364 mm（B4サイズ）
最小	128 × 128 mm	128 × 128 mm
厚さ	0.05 ～ 0.15 mm	0.065 ～ 0.10 mm

＊ファクス送信時のサイズです。
コピーの場合は、A4記録紙に入りきらない部分は、プリントされません。

コピーを取る ➔ p36

この取扱説明書本文の紙の厚さは、約0.08mmです。

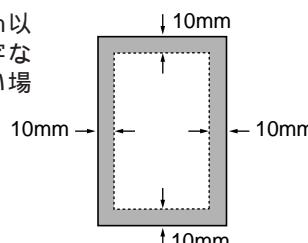
そのままでは読み取れない原稿

次のような原稿は、あらかじめ普通紙に複写機でコピーしておくか、またはハンドスキャナを使ってください。　ハンドスキャナを使うには➔p37

読み取れない原稿	複写機でコピーした原稿	ハンドスキャナ
フィルムやトレーシングペーパーのような透明なもの	○	○＊
破れたり、しわが入ったり、丸まった紙	○	○
感熱紙、感圧紙、裏カーボン紙などの化学処理した紙	○	○
ノリやテープで貼り合わせた紙	○	×
小さすぎる紙（128×128mm未満）	○	○＊
薄すぎる紙（0.05mm未満）	○	○＊
厚すぎる紙（0.15mmを超える）	○	○

＊白い紙などの上に原稿を置いて読み取ってください。

読み取れる範囲

原稿の縁から10mm以内の範囲にある文字などは、読み取れない場合があります。

原稿セットのしかた

- 記録した文書が記録紙排出口に残っている場合は、取り除いてから原稿をセットしてください。
- クリップやホチキスの針は必ず取り除いてください。故障の原因となります。
- インクや修正液、ノリなどが付いた原稿は、完全に乾かしてからセットしてください。
- 幅や厚さが異なる原稿を一緒にセットしないでください。原稿がつまったり、送信もれが出たりする原因となります。

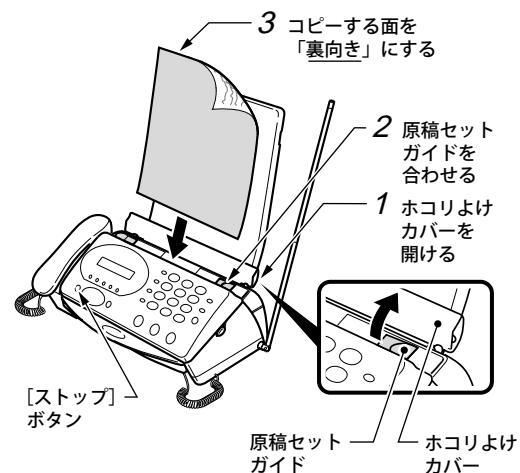
1 ホコリよけカバーを開ける

2 原稿の幅に原稿セットガイドを合わせる

原稿セットガイドは、原稿の幅にきちんと合わせてください。原稿が斜めに入ったり、つまったりする原因になります。

3 読み取る面を「裏向き」にして、原稿を軽く差し込む

一度にセットできる原稿枚数は、**5枚** までです。ただし、原稿のサイズや紙質により、5枚以下となる場合があります。
1番下の原稿が自動的に数cm引き込まれます。これで原稿がセットできました。

ファクスを送る ➔ p33
コピーを取る ➔ p36

セットした原稿を取り除きたい

［ストップ］ボタンを押すと、原稿が排出されます。無理に原稿を引き抜かないでください。原稿読み取り面に傷がつく場合があります。

6枚以上の原稿を送りたい

何回かに分けて送ってください。コピーやファクス送信中に原稿を追加すると、原稿がつまったり送信もれが出たりする原因となります。

コピーしてはいけないもの

個人で使用する目的でも、法律でコピーが禁止されているものがあります。➔ p36

写真や小さい文字の原稿のとき

画質モード

文字の小さい原稿や、写真のように濃淡のある原稿を鮮明にファクスしたりコピーをとったりすることができます。送信やコピーの前に、画質モードを設定してください。

画質モードの決めかた

下の表を参考に、画質モードを決めてください。

お買い上げのとき：フツウ

画質モード	原稿の状態
フツウ（普通）	**文字がこのくらいの大きさ**
チイサイ（小さい）	**文字がこのくらいの大きさのとき**
コマカイ（細かい）	文字がこのくらいの大きさのときに
シャシン（写真） 64階調ハーフトーン	写真のとき

- 「コマカイ」「シャシン」に設定すると「フツウ」や「チイサイ」に比べ送信に時間がかかります。また、黒い部分が多い原稿や色地の原稿、縦の罫線のある原稿は送信に時間がかかります。
- 色地の原稿を送るときは「フツウ」または「チイサイ」に設定してください。「コマカイ」「シャシン」で送ると送信時間が極端に長くなることがあります。
- 「コマカイ」に設定した場合、相手機種によっては「チイサイ」で送信することがあります。
- 「シャシン」に設定したとき、白い部分にゴマ模様の記録が出たら、読み取り濃度を薄くしてみてください。

ファクスやコピーの読み取り濃度を変える ➧p50

画質モードを選ぶ

- コピーのときは「フツウ」に設定しても「チイサイ」でコピーされます。

1 原稿をセットする

現在の画質モードが表示されています。　［フツウ］

原稿セットのしかた 前ページを参照してください。

2 画質 ○ を押すごとにモードが切り替わる

フツウ → チイサイ → コマカイ → シャシン →（フツウへ戻る）

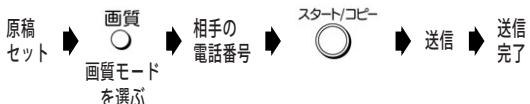
ファクスを送る

いろいろなファクスの送りかたがあります。

- 原稿は自動的に排出されます。一時的に止まることがありますが、無理に引き抜かないでください。
- 相手がA4サイズの記録紙を使用している場合、B4サイズの原稿を送信すると、A4サイズに縮小して送信されます。
- 相手の機種によっては送信時間が長くかかることがあります。

ファクスを自動で送る

自動送信

原稿セット ➧ 画質 ○（画質モードを選ぶ） ➧ 相手の電話番号 ➧ スタート/コピー ○ ➧ 送信 ➧ 送信完了

番号を間違えたら **［消去］ボタンを押し、相手の電話番号を入力し直してください。**

ワンタッチダイヤルを使って送信したい

相手の電話番号を入力する代わりに、ワンタッチダイヤルボタンを押してください。ワンタッチダイヤルボタンを使った場合は、［スタート／コピー］ボタンを押さなくても送信が始まります。

ワンタッチダイヤルで電話をかける ➧p26

電話帳またはリダイヤルを使って相手先を選びたい

相手の電話番号を入力する代わりに［電話帳］ボタンの［▼］［▲］または ❐（リダイヤル）ボタンを押して相手先を選びます。

同じ相手にもう一度かける ➧p21
らくらく電話帳で電話をかける ➧p29

途中で送信をやめたい

［ストップ］ボタンを押してください。もう一度押すと、原稿が排出されます。排出されないときは、もう一度押してください。

“サイハッコ　マチ　1カイメ”と表示された

オートリダイヤルが働き、1分間隔で5回まで自動的にかけ直します。それでも送信できないときは不達レポートがプリントされます。

送信できなかった ➧p34

自分の名前や電話番号などを相手の記録紙にプリントする

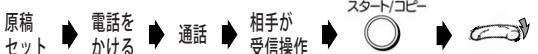
発信元記録 ➧p47

海外にファクスを送りたい

海外にファクスを送るとき ➧p51

相手と話してから送る

手動送信

原稿セット ➡ 電話をかける ➡ 通話 ➡ 相手が受信操作 ➡ スタート/コピー ➡

送信したあと、続けて話をしたい 受話器を戻さないでください（相手も）。

相手が受信操作するより先に［スタート／コピー］ボタンを押した

相手が受信操作をすれば送信できます。

相手が電話に出ず、受話器から「ピーヒョロヒョロ」という音がした

相手のファクスが自動受信になっています。
そのまま［スタート／コピー］ボタンを押せば送信できます。

送信できなかった（不達レポート）

自動で不達レポートがプリントされます。不達レポートを出力「する」「しない」を設定できます。➡ p51

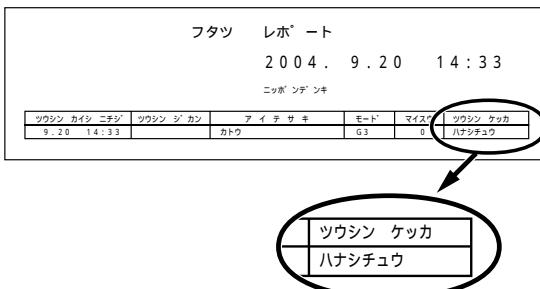
プリント例

フタツ　レポート

2004. 9.20 14:33

ニッポンデンキ

ツウシン カイシ ニチジ	ツウシン ジカン	アイテサキ	モード	マイスウ	ツウシン ケッカ
9.20 14:33		カトウ	G3	0	ハナシチュウ

ツウシン　ケッカ
ハナシチュウ

不達レポートの通信結果の意味

ハナシチュウ

- 相手先が通話中である

ヨビダシ

- 相手先から通話予約などで呼び出しを受けた

ムオウトウ

- 相手先が受信できない状態になっている
- 相手先が電話に出ない
- 電話回線が正しく接続されていないか、電話回線接続コードが断線している恐れがある

××（2桁の英数字）

エラーコードが表示されたとき ➡ p72

- 中断操作をした場合、不達レポートは出力されません。

ファクスを受ける

ファクスは、設定によって自動で受けたり、通話のあとに手動で受けたりすることができます。

- 記録した文書は、記録紙排出口に10枚以上ためないでください。また、記録紙カバーに、シールなどを貼り付けないでください。記録紙づまりの原因になります。

自動で受ける

お買い上げのとき：**電話／ファクス切替する**

本機が自動で電話をつなぎ、相手が電話かファクスかを判断します。ファクスのときは自動的に受信します。電話のときは呼出ベルが鳴ります。

電話／ファクス自動切替のしくみ

この間に受話器を取ったら……

- **電話のとき…**
  そのまま話ができます。
- **ファクスのとき…**
  「ポー・ポー…」のあとメッセージが流れます。受話器を置くとファクスを受信します（ファクスかんたん受信を「する」に設定しているとき）。
- **無音のとき…**
  ファクスかもしれません。
  手動受信を行ってください。
  ➡ p35

自動応答

着信ベルが6回鳴ったら……

自動的に回線を接続し、相手が電話かファクスか判断します。この時点から相手に通話料金がかかります。

呼出ベルが鳴ります。

- **電話のとき…**
  この間に受話器を取れば、話ができます。
- **手動ファクスのとき…**
  相手が送信操作をすれば、受信します。

ファクス

電話または手動ファクス

呼出ベルが10回鳴ったら……

「ファクシミリの方はそのまま送信してください。電話の方は恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください」という固定メッセージのあと、信号音が30〜40秒流れます。

- **電話のとき…**
  回線が切れます。
- **手動ファクスのとき…**
  相手が送信操作をすれば、受信します。

※上記固定メッセージは変更・消去できません。

手動ファクス

・着信ベルの回数は、ベルの音色を“ベル（ヒョウジュン）”に設定しているときでの回数です。
ベルの音色／メロディを変える➡p48
・「留守」に設定したときは、電話のつながりかたやベルの鳴りかたが異なります。
「留守」を設定すると➡p40
・電話がつながると、相手の受話器から聞こえる呼出音が少し変わり、ここから相手に通話料金がかかります。

ベルの回数を変えたい

着信ベル回数を変える➡p49
呼出ベル回数を変える➡p49

ベルを鳴らさないで受信したい

着信ベルの回数を、0回にしてください。
着信ベル回数を変える➡p49

自動切替をやめたい

着信モードを切り替えてください。 着信モード➡p48

メモリオーバーによる通信異常が多発するとき

本機は、ファクス受信中にインクフィルムや記録紙がなくなってもメモリ代行受信が働くように、いったんメモリに蓄積しながらプリントしています。ただし、受信できるメモリ容量を超えるデータ量の原稿が送られてくると、メモリオーバーとなり受信できません。このようなことがひんぱんに起こるときは、以下の操作を行ってください。
・不要な用件を消す➡p42
・メモリ受信を「しない」に設定する➡p52

手動で受ける

手動受信

ファクスかんたん受信を「しない」に設定したときは、手動で受信してください。

ファクスかんたん受信とは…

電話に出たとき､相手がファクスだった場合には「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください」というメッセージが流れます。メッセージに従い受話器を置くと､自動的にファクスを受信できる機能です。メッセージが流れる前に受話器を置くと､回線が切れて受信できません。メッセージが流れてから受話器を置いてください。
ただし､以下の場合には､ファクスかんたん受信できません。手動で受信してください。
・相手が無音のとき
・こちらから電話をかけたとき
ファクスかんたん受信➡p51

親機で

ファクスがかかってきたとき

話をしてから受信するとき

通話 ➡ 相手が送信操作 ➡
受信したあと、続けて話をしたい 受話器を戻さないでください（相手も）。

子機で

・受信したあと、続けて話をすることはできません。

ファクスがかかってきたとき

➡ 切 または 親機で受信します。

話をしてから受信するとき

通話 ➡ 相手が送信操作 ➡
➡ 切 または 親機で受信します。

「ポー・ポー…」という音が聞こえない

相手の機種によっては聞こえないことがあります。上記の「ファクスがかかってきたとき」の操作をしてみてください。

「ポー・ポー…」のあとメッセージが流れる

「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください」というメッセージが流れるときは、ファクスかんたん受信が働いています。自動でファクスを受信しますので、受話器または子機を戻してください。お買い上げ時はファクスかんたん受信を「する」に設定されています。 ファクスかんたん受信➡p51

相手が送信する前に受信操作をした

相手が送信操作をすれば、受信できます。

送られてきた文書をメモリが記憶する

メモリ代行受信

こんなときにメモリが代わって受信します。
・記録紙がセットされていない
・インクフィルムがない
・サーマルヘッドが過熱した
・記録紙がつまっている
・操作パネルが開いている

・メモリの残りが少ないと、文書を記憶できないことがあります。
・メモリがいっぱいのときは着信ベルが鳴り続け、メモリ代行受信できません。不要な用件などを消してください。 不要な用件を消す➡p42
・メモリ受信中にメモリがいっぱいになってしまった場合、通信異常となります。ただし、メモリに記憶することができたページまでは、プリントすることができます。

メモリ代行受信されると、ディスプレイには下記のように表示されます。

表示例

交互に表示

ﾌﾂｳｼｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ	←→	ﾒﾓﾘｼﾞｭｼﾝﾌﾞﾝｼｮ ｱﾘ

記憶された文書は、新しい記録紙をセットしたり、紙づまりを直すと、自動的にプリントされます。

記憶できる文書量

相手が画質モードを「普通」で送信したとき、A4（700文字程度）の原稿を約25枚（最大10文書）記憶できます。ただし、原稿の内容によっては少なくなることがあります。

ファクス／コピー

ファクス情報サービスを利用する

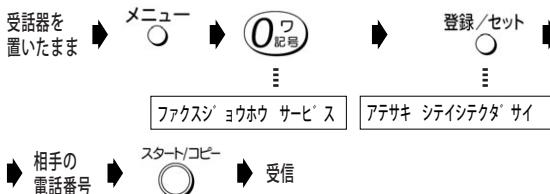
色々な情報をファクスで取り寄せることができます。

・ファクス情報の内容や情報の提供方式については、各サービスの提供元にお問い合わせください。

ポーリング方式のとき

受話器を置いたまま ➡ メニュー ➡ 0ワ記号 ➡ 登録／セット ➡

ファクスジョウホウ サービス　　アテサキ シテイシテクダサイ

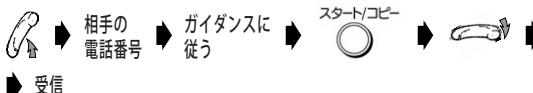
➡ 相手の電話番号 ➡ スタート/コピー ➡ 受信

ポーリング方式とは…

相手先にあらかじめ用意されている原稿を、受信側から操作して受信する機能です。

ガイダンス方式のとき

ガイダンス方式には、次の2つの利用方法があります。
・ガイダンスが流れている間に情報番号などを入力できる方法
・ガイダンスのあと「ピッ」という音が聞こえてから情報番号などを入力する方法
利用するファクス情報サービスの利用方法に合わせて入力してください。

➡ 相手の電話番号 ➡ ガイダンスに従う ➡ スタート/コピー ➡ ➡

➡ 受信

ダイヤル回線を使っている

情報番号などをトーン（プッシュ）信号で入力する必要があるときは、トーン信号に切り替えてください。

トーン信号に切り替える➡p31

コピーを取る

・プリント中に記録紙カバーや記録紙カセットを取り外さないでください。記録紙づまりの原因となります。
・原稿は自動的に排出されますので、無理に引き抜かないでください。

シングルモードコピー

1 原稿をセットする

2 画質 ○ を押し、画質モードを選ぶ

3 スタート/コピー ◯ を押す　　コピーブスウ　= --

この状態で約5秒間何もしないと、自動的にコピーを開始します。

4 もう一度 スタート/コピー ◯ を押す　　コピーチュウ　P01

B4→A4に縮小したい

マルチモードコピーまたはハンドスキャナを使ってコピーしてください。

➡本ページ右側

マルチモードコピー

1 原稿をセットする

2 画質 ○ を押し、画質モードを選ぶ

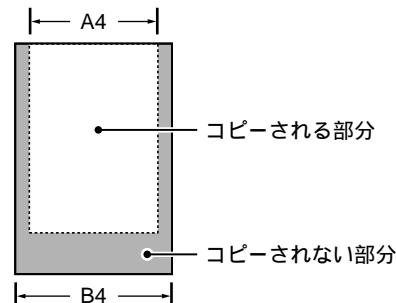
3 スタート/コピー ◯ を押す　　コピーブスウ　= --

4 ダイヤルボタンを押し、コピー部数を入力する　　コピーブスウ　= 03（コピー部数）

1～20部まで入力できます。
入力後、約5秒間何もしないと、自動的にコピーを開始します。

5 スタート/コピー ◯ を押す

B4の原稿をコピーすると

<シングルモードコピーのとき>
下図の部分がコピーされます（B4→A4の縮小は行われません）。

<マルチモードコピーのとき>
B4→A4に縮小してコピーされます。

A4／B4の定型を超える長さの原稿の場合

定型を超えた部分はプリントされません。原稿が縦方向に長い場合は、ハンドスキャナを使ってコピーしてください。

ハンドスキャナでコピーする➡p 38

途中でコピーをやめたい

［ストップ］ボタンを押してください。

コピーしてはいけないもの

個人で使用する目的でも、法律でコピーが禁止されているものがあります。

・貨幣、紙幣、公債証書、政府発行の有価証券、郵便切手、印紙などは、外国で発行されたものも含め、法律でコピーが禁止されています。絶対にコピーしないでください。
・書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、写真の著作物は、個人的にまたは家庭内などの限られた範囲内で使用するなど、著作権法で認められている場合を除き、基本的にコピーが禁止されています。
・パスポートや免許証、民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券、通行券、身分証明書、食券などのコピーも政府の指導により注意が呼びかけられています。

ハンドスキャナを使うには

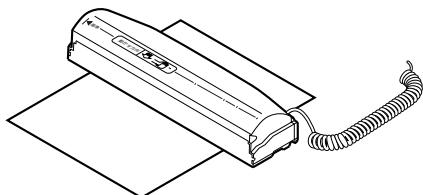
ここでは、ハンドスキャナを使ったコピーやファクスのしかたを説明しています。

ハンドスキャナの取り外し／取り付け

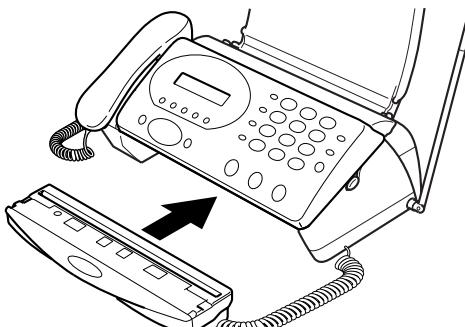
・使用したあとは、必ず親機に戻してください。ハンドスキャナは、親機の原稿読み取り用として使います。
・ハンドスキャナを落としたり、固いものにぶつけたりしないでください。
・原稿読み取り面は汚さないでください。汚れたら清掃してください。ハンドスキャナの清掃 ➜ p69

取り外しかた

1 ハンドスキャナを下に押しながら手前に引き抜く

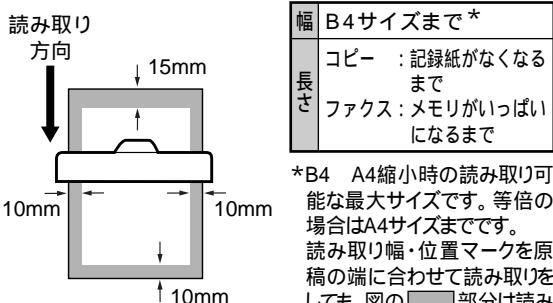
2 ハンドスキャナを裏返し、原稿読み取り面を下に向けて原稿にのせる

取り付けかた

・ハンドスキャナのコードをはさまないようにしてください。断線の原因となります。

原稿読み取り面を上に向けて、親機に押し込む

ハンドスキャナの使いかた

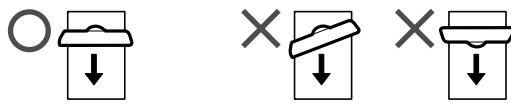
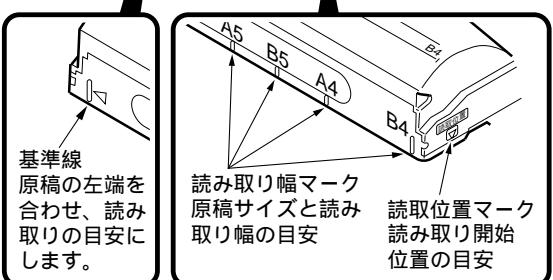
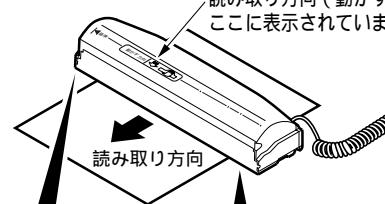
本や、親機にセットして読み取れない原稿（➜ p32）などをコピーしたり送信したりできます。

読み取れる原稿サイズ

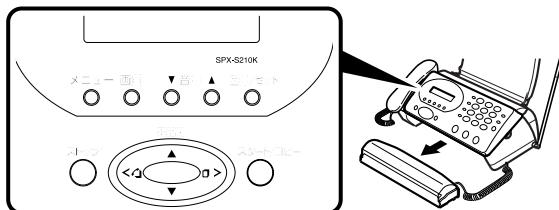
幅	B4サイズまで＊
長さ	コピー　：記録紙がなくなるまで ファクス：メモリがいっぱいになるまで

＊B4→A4縮小時の読み取り可能な最大サイズです。等倍の場合はA4サイズまでです。読み取り幅・位置マークを原稿の端に合わせて読み取りをしても、図の　　部分は読み取れないことがあります。

・次のような原稿には使わないでください。きれいに読み取れなかったり、本機が故障する原因となります。
　ー 表面に凹凸のある原稿
　ー コーティングなどで表面が滑りやすい原稿
　ー 表面が汚れている原稿
　ー インクや修正液、ノリなどが乾いていない原稿
・コピーしてはいけないものがあります。➜ p36
・読み取り濃度を設定するときは、ハンドスキャナを取り外す前に設定してください。
ファクスやコピーの読み取り濃度を変える ➜ p50

ハンドスキャナの置きかた／動かしかた

・ハンドスキャナを読み取り方向と逆に動かした場合、反転して印刷されますが、故障ではありません。
・ハンドスキャナは、斜めや逆に動かすとうまく読み取れません。読み取り方向に、まっすぐ動かしてください。

下が透けて見える原稿を読み取りたい

フィルムやトレーシングペーパーなどは、白い紙の上に置いてから読み取ってください。

ハンドスキャナでコピーする

1 ハンドスキャナを取り外す

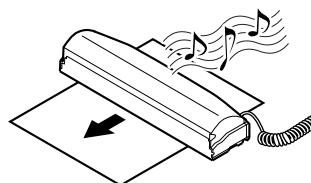
原稿を拡大／縮小することもできます。➔ p39

2 ハンドスキャナを裏返し、原稿読み取り面を下に向けて原稿にのせる

3 原稿に合わせて画質を選ぶ

画質 ◯ を押すごとに切り替わります。

チイサイ ←→ シャシン

4 スタート/コピー ◯ を押す　　コピーチュウ　A4　チイサイ

5 ハンドスキャナを動かす

動かすと、スピードを表すメロディが流れます。
メロディを止めたい ➔ p39

30秒以上動かさないと **読み取りを終了します。**

メロディが流れているときは **メロディの速さに関係なく正常に読み取れます。**

「ピッピッ…」と音がする **ハンドスキャナを動かす速度が速すぎて正常に読み取れていません。**

6 読み取りが終わったら ストップ ◯ を押す

[ストップ] ボタンを押さないままハンドスキャナを取り付けると
ハンドスキャナのローラが回り、記録紙の後端に原稿とは違うものをプリントする場合があります。必ず [ストップ] ボタンを押してください。

7 プリントが終わるまで待つ

ハンドスキャナの原稿読み取り面のランプが消灯したあと、プリントが終わります。

8 ハンドスキャナを元通りに取り付ける

ブザーが鳴り“メモリ　フル”と表示された

しばらくするとコピーが可能になります。

A4／B4の定型を超える長さの原稿の場合

プリントが記録紙1ページに収まらない場合、次のページにプリントされます。
ハンドスキャナでファクスを送る（➔本ページ右側）ときも同様です。

ハンドスキャナでファクスを送る

- 電話で話したあとに、続けてハンドスキャナで読んだ原稿を送ることはできません。
- 送信が終わると、メモリの内容は消去されます。
- 送信中に通信異常が起きた場合、メモリの内容は消去されます。このときは最初からやり直してください。

1 ハンドスキャナを取り外す

原稿を拡大／縮小することもできます。➔ p39

2 ハンドスキャナを裏返し、原稿読み取り面を下に向けて原稿にのせる

3 原稿に合わせて画質を選ぶ

画質 ◯ を押すごとに切り替わります。

チイサイ ←→ シャシン

4 相手先の番号をダイヤルする

- 受話器を置いたままダイヤルします。
- ワンタッチダイヤル、電話帳を使って相手先を指定することもできます。

ワンタッチダイヤルで電話をかける➔p26
らくらく電話帳で電話をかける➔p29

5 スタート/コピー ◯ を押す　　コピーチュウ　A4　チイサイ

6 ハンドスキャナを動かす

動かすと、スピードを表すメロディが流れます。

30秒以上動かさないと **読み取りを終了します。**

ブザーが鳴り“メモリ　フル”と表示された
読み取りを終了します。

「ピッピッ…」と音がする **ハンドスキャナを動かす速度が速すぎて正常に読み取れていません。**

7 読み取りが終わったら ストップ ◯ を押す

8 プリントが終わるまで待つ

9 プリント内容を確認する　　1:ソウシン　2:トリケシ

10 送信してよければ 1ア を押す

読み取り直したい **[2]（トリケシ）を押し“ショウキョ　シマシタ”→“ヨミトリマチ　A4　チイサイ”と表示されたら、手順5からやり直してください。**

送信をやめたい **[ストップ] ボタンを押してください。**

11 ハンドスキャナを元通りに取り付ける

送信中に取り付けても中断はされません。

B4サイズの原稿を送りたい

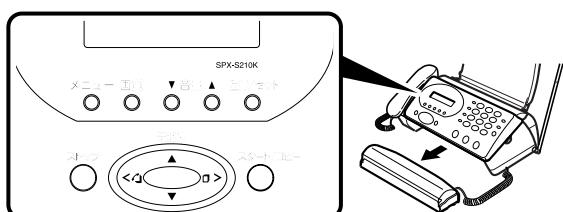
相手がB4の用紙を使っていても、A4サイズに縮小して送られます。B4サイズのままで送りたいときは、あらかじめ複写機でコピーしておき、親機にセットして送信してください。

“サイハッコ　マチ　1カイメ”と表示された

オートリダイヤルが働き、1分間隔で5回まで自動的にかけ直します。それでも送信できないときは不達レポートがプリントされます。　送信できなかった➔p34

原稿を拡大／縮小する

お買い上げのとき：A4→A4

ハンドスキャナで送信やコピーをするときは、原稿を拡大または縮小することができます。

1 ハンドスキャナを取り外す

2 メニュー を押す

ﾖﾐﾄﾘｷﾛｸﾊﾊﾞ A4→A4

3 ◀▶ を押し、倍率を選ぶ

A4 → A4　：等倍100 %
B5 → A4　：拡大115 %
A5 → A4　：拡大141 %
B4 → A4　：縮小 82 %

4 登録／セット を押す

5 ファクス、またはコピーする

ハンドスキャナでファクスを送る ➔p38
ハンドスキャナでコピーする ➔p38

読み取り時のメロディを流す／止める

お買い上げのとき：流す

原稿を読み取るときにメロディを流したり、止めたりすることができます。

1 ハンドスキャナを取り外す

2 メニュー を2回押す

ﾒﾛﾃﾞｨﾊﾝﾄﾞｽｷｬﾅ ○×

3 ◀▶ を押し、カーソルを合わせる

○×：メロディを流す
○×：メロディを流さない

4 登録／セット を押す

5 ハンドスキャナを元通りに取り付ける

メロディの音量を調整したい

メロディが流れているときに［音量］ボタンを押します。

ﾓﾆﾀ ｵﾝﾘｮｳ ■■■■□□

□□□□□□ ◀▶ ■■□□□□ ◀▶ ■■■■□□ ◀▶ ■■■■■■
「切」 「小」 「中」 「大」

メロディを「流す」にしたのに鳴らない

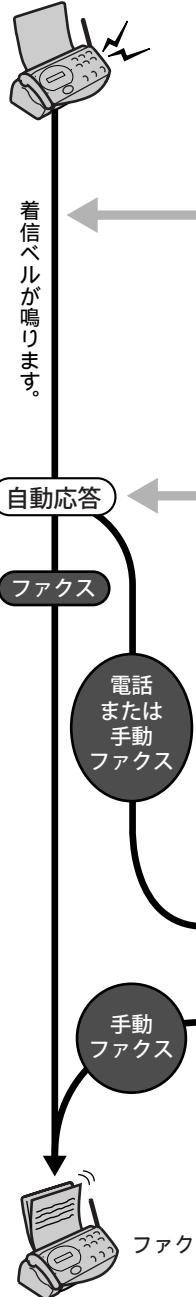
モニタスピーカ音量を「切」にすると、メロディ音も鳴りません（上図を参照）。

ハンドスキャナ

留守電を使うには

ここでは、留守電のいろいろな使いかたについて説明しています。

「留守」を設定すると

外出していて電話に出られないときなどに、相手の用件を録音することができます。
相手がファクスのときは自動で受信できます。

着信ベルが鳴ります。

この間に受話器を取ったら……
- **電話のとき…**
  そのまま話ができます。
- **ファクスのとき…**
  「ポー・ポー…」のあとメッセージが流れます。受話器を置くとファクスを受信します（ファクスかんたん受信を「する」に設定しているとき）。
- **無音のとき…**
  ファクスかもしれません。
  手動受信を行ってください。
  ➧p35

自動応答

着信ベルが設定回数*鳴ったら……
相手に留守番電話の応答メッセージが流れます。

*留守設定時の着信ベルが鳴る回数は、トールセイバの設定により変わります。
- **トールセイバ「しない」…**
  お買い上げのときの状態です。
  いつも着信ベル回数で設定した回数だけ鳴ります。
- **トールセイバ「する」…**
  用件が録音されていると2回、用件がないと5回鳴ります。

ファクス

電話または手動ファクス

- **電話のとき…**
  相手の用件が録音されます。この間に受話器を取れば話ができます。録音が終わると［留守］ボタンが点滅します。
- **手動ファクスのとき…**
  相手が送信操作をすれば受信します。

手動ファクス

ファクスを受信します。

着信ベルの鳴る回数は

- **トールセイバを「する」のとき**
  用件が録音されていると、2回鳴って留守電機能が働きます。用件が録音されていないと、5回鳴って留守電機能が働きます。
- **トールセイバを「しない」のとき**
  録音されている用件の有無にかかわらず、設定されている回数だけ鳴ります。
  着信ベル回数を0回に設定していると、着信ベルは鳴りません。また着信モードを「デンワセンヨウ」でお使いのときは、5回鳴って留守電機能が働きます。

トールセイバ ➧p45
着信モード ➧p48
着信ベル回数を変える ➧p49

外出先から操作したい

外出先から「留守」を設定する ➧p43
外出先から用件を聞く ➧p44

用件が録音されたら、すぐ知りたい

用件が録音されたら外出先に転送する ➧p44

録音できる時間

1件につき最大3分、合計で約15分まで録音できます（通話録音を含め合計15分を超えない限り最大30件）。
この時間には、自分で録音した応答メッセージの時間も含まれます。

留守を設定すると

トールセイバを「する」に設定しているときや、着信モードを「ファクスセンヨウ」に設定しているときは、本ページ左側の動作になります。

本機の固定応答メッセージの種類

応答メッセージは、電話がかかってきたときの本機の状態によって異なります。
- **通常**
  「ただいま留守にしております。電話の方は、ピーという音のあとに、お名前とご用件をお話しください。ファクシミリの方は、そのまま送信してください」

通常の応答メッセージだけは、自作応答メッセージに変えることができます。

応答メッセージを録音／消去する ➧p42

以下の応答メッセージは固定応答メッセージのため、変更・消去できません。

- **用件は録音できないが、ファクスは受信できるとき（用件がいっぱいのとき）**
  「ただいま留守にしております。ファクシミリの方は、そのまま送信してください。電話の方は、恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください」
- **用件は録音できるが、ファクスは受信できないとき**
  「ただいま留守にしております。電話の方は、ピーという音のあとに、お名前とご用件をお話しください。ファクシミリの方は、恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください」
- **用件の録音も、ファクスの受信もできないとき（メモリがいっぱいのとき）**
  「ただいま留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください」

「留守」の設定／解除

「留守」を設定しようとしたらメッセージが流れる

「用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください」と流れたときは「留守」を設定することができません。
「メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください」と流れたときはすぐに用件がいっぱいになります。不要な用件を消去してください。

不要な用件を消す ➜p42

親機で

「留守」を設定する

留守

➜ [留守]ボタンが点灯し、応答メッセージが聞こえる
用件が残っていると点滅します。

オウトウメッセージ　コテイ …… ルスセッテイ　0

[留守]ボタンを押してもメッセージが聞こえない

- 用件再生時の音量が「切」になっていませんか？
  モニタスピーカと留守電の再生音量 ➜p30
- 自作応答メッセージが正しく録音されていないことが考えられます。もう一度録音し直してください。
  応答メッセージを録音／消去する ➜p42
- 着信中に[留守]ボタンを押した場合は、留守設定されますが、スピーカからはメッセージが聞こえません。

応答メッセージを選びたい

本機の固定応答メッセージ、自分で録音した2種類の応答メッセージのいずれかを選びたいときは、応答メッセージが流れている間に[<]または[>]を押し、応答メッセージを選びます。

ナンバー・ディスプレイを利用している方は

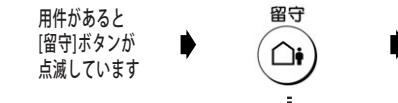
電話帳に登録している相手にだけ自作メッセージで応答する ➜p56

「留守」を解除する

- 録音された用件が自動で再生されます。
- 用件が1件再生されるごとに、録音された月日と時間が音声で流れます（タイムスタンプ）。
- 用件が全部再生されると、自動的に止まります。途中で止めたいときは[ストップ]ボタンを押してください。

用件があると[留守]ボタンが点滅しています ➜ 留守

➜

ルスセッテイ　2 （用件の件数）　ヨウケン　サイセイ （[留守]ボタンが消灯します。）

➜ 「用件は○件です」用件が再生される ➜ 「用件は以上です」

サイセイチュウ　1/ 2　　サイセイシュウリョウ＊＊＊・・・
1秒ごとに“＊”が表示されます。

用件がないときは 「用件はありません」というメッセージが流れます。

再生中の画面が違う ナンバー・ディスプレイをご利用の場合、表示画面が異なります。➜p60

子機で

- 子機で「留守」設定するときは、自作応答メッセージを変更することはできません。

「留守」を設定する

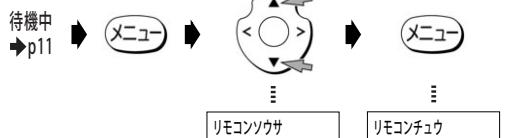
待機中 ➜p11 ➜

➜

リモコンソウサ ➜

リモコンチュウ ➜

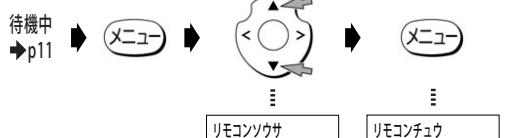
20秒以内に押す

➜

➜ 「留守設定をしました」 ➜

[7]を押す前に「ピーピーピー」と音がして待機中に戻った

親機が使用中です。しばらくしたら最初から操作し直してください。また[メニュー]ボタンを押してから20秒以内に[7]を押してください。

「留守」を解除する

リモコンソウサ　リモコンチュウ

20秒以内に押す

➜ 9 ➜ 「留守設定を解除しました」 ➜

[9]を押す前に「ピーピーピー」と音がして待機中に戻った

親機が使用中です。しばらくしたら最初から操作し直してください。また[メニュー]ボタンを押してから20秒以内に[9]を押してください。

録音された用件を聞く

録音された用件は、消去するまで何回でも聞くことができます。
通話録音した内容も、同時に再生されます。また、留守設定中でも用件を聞くことができます。

親機で

- モニタスピーカ音量が「切」になっていると聞こえません。
  モニタスピーカと留守電の再生音量 ➜p30

再生 ➜ 用件が再生される

サイセイチュウ　2/ 3

サイセイシュウリョウ＊＊＊・・・

再生中の画面が違う ナンバー・ディスプレイをご利用の場合、表示画面が異なります。➜p60

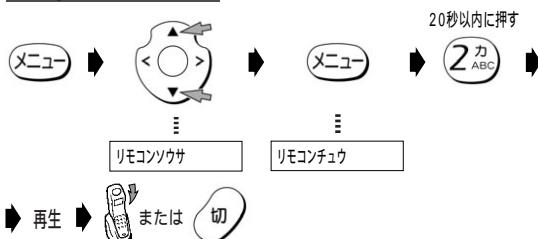
通話中の相手に用件を聞かせたい

通話中の相手に録音内容を聞かせる ➜p30

親機で再生中のボタン操作

ボタン	本機の動き
再生	再生速度を切り替えます。（通常→高速→低速）
1 ア	1回押すと、再生中の用件を初めから再生します。続けて2回押すと、ひとつ前の用件を再生します。
3 サ DEF	1回押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
ストップ	再生を止めます（そのあとに［再生］ボタンを押すと、1件目から再生します）。
消去	再生中の用件を消去します。その用件を再生終了後「消去しました」というメッセージが流れます。

子機で

➡ 再生 ➡ または 切

子機で再生中のボタン操作

ボタン	本機の動き
1 ア	1回押すと、再生中の用件を初めから再生します。続けて2回押すと、ひとつ前の用件を再生します。
2 カ ABC	再生速度を切り替えます。（通常→高速→低速）
3 サ DEF	1回押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
8 ヤ TUV	再生中の用件を消去します。その用件を再生終了後、「消去しました」というメッセージが流れます。
#	再生を止めます（そのあとに［2］を押すと、1件目から再生します）。

不要な用件を消す

用件は、消去するまで何回でも聞くことができます。ただし、用件を残したままにしておくと、録音できる時間が短くなります。不要な用件は消去してください。

親機で

特定の用件だけを消す

再生中の画面が違う ナンバー・ディスプレイをご利用の場合、表示画面が異なります。➡p60

聞き終わった用件を一度に消す

一度も再生しなかった用件は消去されません。少しでも再生した用件は消去されます。

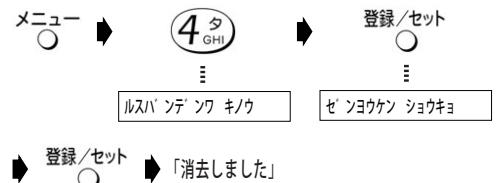
再生終了後"＊"が表示（6秒間）中に ➡ 消去 ➡ 「再生済みの用件を消去しました」

サイセイシュウリョウ＊＊＊・・・

すべての用件を一度に消す

〈全用件消去〉

・一度も再生していない用件もすべて消去されます。

➡ 登録／セット ➡ 「消去しました」

子機で

特定の用件だけを消す

聞き終わった用件を一度に消す

再生終了後、「ピッピッピッ…」（6秒間）と聞こえている間に 8 ヤ TUV ➡ 「再生済みの用件を消去しました」 ➡

応答メッセージを録音／消去する

「留守」を設定したとき、相手に流す応答メッセージを自分で録音したり、消去したりできます。

- ２種類の応答メッセージを録音できます。録音時間は、それぞれ最大２０秒までです。
- 留守設定中でも応答メッセージを録音できます。
- 録音していないときは、本機の固定応答メッセージが流れます。➡p40

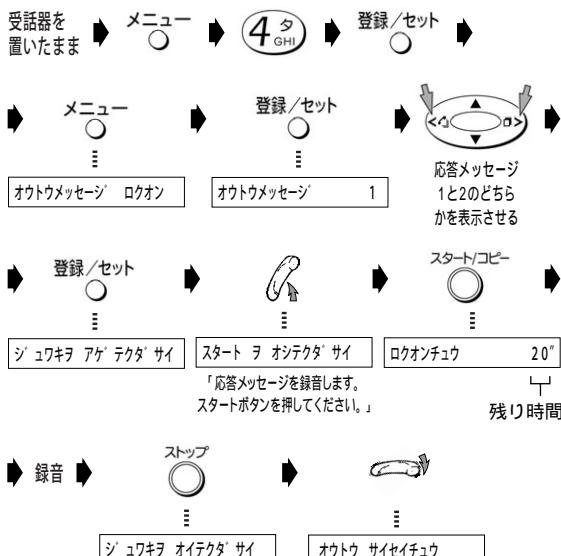
・本機の録音方式は、人間の声の音域に合わせた設定になっています。いっしょに音楽を録音することはおすすめできません。
・本機の固定応答メッセージは消去できません。

ナンバー・ディスプレイを利用している方は

相手に応じて応答メッセージを変えることができます。
電話帳に登録している相手にだけ自作メッセージで応答する➡p56

録音する

親機で録音します。子機では録音できません。

「応答メッセージを録音します。スタートボタンを押してください。」

残り時間

- 応答メッセージ録音を終わるとき［ストップ］ボタンを押さずに受話器を置くと「ガチャン」という音が録音されてしまいます。先に［ストップ］ボタンを押してから受話器を置いてください。
- 録音残り時間が“０”になったときは、自動的に録音が止まりますので［ストップ］ボタンを押す必要はありません。そのまま受話器を置いてください。

録音中に電話がかかってきた

録音が中断されます。最初からやり直してください。

録音の途中で止まった

録音残り時間が“0”になると、自動で録音が止まります。20秒以内で終わるように応答メッセージを変え、録音し直してください。

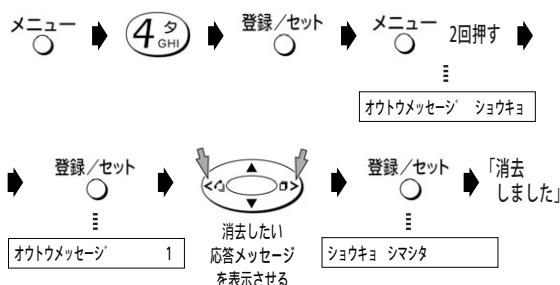
録音し直したい

最初からやり直してください。録音し直すと、前に録音していた応答メッセージは消去されます。

メモリがいっぱいで録音できない

不要な用件を消す➔p42

消去する

自分で録音した応答メッセージだけ消去できます。
本機の固定応答メッセージは消去できません。

外出先から留守番電話を操作する

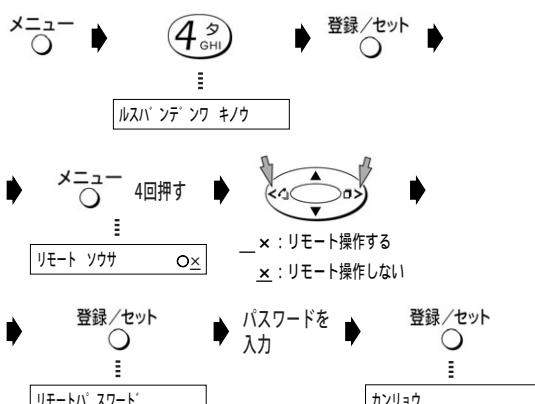
外線リモート

リモート操作の設定とリモートパスワードの登録をしておくと、留守設定中に録音された用件を、外出先から聞くことができます。

- パスワードは大切な番号です。他人に知られないようにしてください。

リモート操作の設定とパスワードの登録

お買い上げのとき：リモート操作しない

リモートパスワードは4桁の数字を登録します。

パスワードを間違えた ［消去］ボタンを押し、入力し直してください。

すでにパスワードが登録されている

新しいパスワードを入力すると、前のパスワードは消去されます。

外出先から「留守」を設定する

- プッシュ信号が出せる電話機で操作してください。
- 着信モードが「電話専用」に設定されているときは、外出先から「留守」を設定することはできません。
- ダイヤルインをご利用の場合は、親機用の番号に電話をかけて下記の操作をしてください。

本機に電話をかける ➔ 呼出音が変わる（回線が接続されます。） ➔ ［#］ ➔ ［パスワード］ ➔ ［#］ ➔ 「パスワードが一致しました」 ➔ 「留守設定をしました」

「パスワードを入れ直してください」とメッセージが流れる

［#］［パスワード］［#］と入れ直してください。3回間違えると電話が切れます。もう一度、電話をかけ直してください。

留守電

外出先から用件を聞く

・プッシュ信号が出せる電話機で操作してください。
・用件再生終了後、何もしないで20秒経つと、電話が自動的に切れます。
・外出前に「留守」を設定しておいてください。
・携帯電話やPHSから用件を聞くときは、雑音が入らないように送話口を手でおおって操作してください。
・リモート操作で用件を聞いても、留守番電話の用件は消去されません。

本機に電話をかける ➡ 応答メッセージ ➡ [#] ➡ 応答メッセージが止まる ➡

➡ パスワードを入力 ➡ [#] ➡ 「パスワードが一致しました。用件は○件です」 ➡ 用件再生 ➡ 電話を切る

応答メッセージが止まらない パスワードを入力する前に、もう一度［#］を押してください。

外出先から用件の有無をかんたんに知りたい
トールセイバを「する」に設定してください。➡ p45

ナンバー・ディスプレイを利用している方は
用件が再生されたあと、相手の番号が音声で聞こえます。

再生中に早送りや巻戻しをしたい
［リモート操作コード］（下表）を押してください。

再生以外の操作をしたい
上記の操作の「パスワードを入力」→［#］入力後、［リモート操作コード］（下表）を押してください。

操　作	リモート操作コード	本機の動き
巻き戻し	＃1＃	再生中に押すと、ひとつ前の用件を再生します。先頭の用件を再生中は、再生中の用件を再生します。
用件再生	＃2＃	用件を先頭から再生します。再生中に押すと、再生速度を切り替えます。 →通常→高速→低速→
早送り	＃3＃	再生中に押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
用件転送設定	＃61＃	用件転送を設定します。 ➡ 本ページ右側
用件転送解除	＃62＃	用件転送を解除します。 ➡ 本ページ右側
「留守」設定	＃7＃	「留守」を設定します。
用件消去	＃8＃	再生中に押すと、再生中の用件が消去されます。用件をすべて聞いたあと「ピッピッピッ…」と音がしている間（約6秒間）に押すと、再生済みの用件がすべて消去されます。
「留守」解除	＃9＃	「留守」を解除します。

外線リモートコード表を持ち歩きたい
p85の「外線リモート」の表をハンドスキャナでコピーし、ご活用ください。
ハンドスキャナでコピーする ➡ p38

用件が録音されたら外出先に転送する

用件転送

留守設定中に用件が録音されたとき、あらかじめ登録した携帯電話や外出先の電話機に転送することができます。

転送先を登録する

お買い上げのとき：**しない**

・転送先は1ヶ所だけ登録できます。
・転送先につながらなかったときのために、用件転送を行う回数を指定できます（最大10回まで）。

・用件転送するときは、リモート操作の設定とパスワードの登録を必ず行ってください。➡ p43
・プッシュ信号が出せる電話機を転送先に指定してください。
・転送先がPHSの場合には、電波の届く範囲が狭いため、転送されないことがあります。
・録音された用件が6秒未満のときは転送されません。

➡ 登録／セット ➡ 転送回数（01～10まで入力できます。）➡ 登録／セット

テンソウ カイスウ　10カイ　　カンリョウ

転送先の電話番号を間違えた ［<］または［>］でカーソル移動するか［消去］ボタンを押し、入力し直してください。

登録した電話番号や転送回数を変えたい
最初から登録し直すと、新しい登録内容に上書きされます。

用件転送を設定／解除する

「用件転送先の登録」をすると「留守」の設定／解除と同時に、用件転送が設定／解除されます。

用件が転送されない
次のようなことが考えられます。
・録音した用件が6秒未満だった
・用件が録音されてから用件転送するまでの間に、停電などで親機の電源が切れた

用件転送をやめたい
用件転送「しない」を設定してください。
転送先を登録する ➡ 上記

外出先から用件転送だけを解除したい
リモート操作コード［＃62＃］を押してください。
外出先から用件を聞く ➡ 本ページ左側

用件転送先での受けかた

・あらかじめリモート操作の設定と、リモートパスワードの登録が必要です。
リモート操作の設定とパスワードの登録 ➡ p43
・プッシュ信号が出せる電話機で操作してください。

1 ベルが鳴ったら電話に出る

2 「用件転送をします。パスワードを入れてください」というメッセージが聞こえる

パスワードを入力しないと メッセージが5回流れてもパスワードを入力しないと、自動的に電話が切れます。

3 メッセージが聞こえている間か、またはメッセージのあと3秒以内に [#]を押す

4 メッセージが止まる

メッセージが止まらない もう一度［#］を押してください。

5 リモートパスワード（4桁の数字）を入力し、最後に [#]を押す

6 「パスワードが一致しました。用件は○件です」というメッセージが聞こえる

「パスワードを入れ直してください」とメッセージが流れる
［#］［パスワード］［#］と入れ直してください。3回間違えると電話が切れます。

7 用件が再生される

8 用件が終わったら電話を切る

再生中に早送りや巻き戻しをしたい
［リモート操作コード］を押してください。➡ p44

再生以外の操作をしたい
手順5で［パスワード］［#］入力後［リモート操作コード］を押してください。➡ p44

くり返し用件転送される
パスワードを入れる前に電話を切ると、回線によってはこのようなことが起こります。このときは上記の手順を最後まで行ってください。

転送先が話中のときやだれも電話に出ないとき
5回までは1分間隔、以降は30分間隔で、設定した回数まで自動的にかけ直します。それでもつながらないときは、用件転送が止まります。
また、自動的にかけ直そうとしている間の待機中に別の用件が録音されたときは、最初に録音された用件に対する用件転送の回数分だけかけ直します。

用件の有無を外出先から簡単に確かめる

トールセイバ

お買い上げのとき：**しない**

トールセイバとは、留守番電話が応答するまでのベルの回数が、用件が録音されているときは2回、録音されていないときは5回になる機能です。トールセイバを利用すると、留守設定時に外出先から用件の有無を簡単に確かめることができます。用件が録音されていないときは、呼出音を3回聞き終ってから電話を切ると、通話料金がかかりません。

メニュー ➡ 4 タ GHI ➡ 登録／セット ➡ メニュー 3回押す ➡

➡ 登録／セット

どちらかを押すと切り替わる
トールセイバ ○×：する
トールセイバ ○×：しない

・一度聞いた用件でも、残っていると（消去しない限り）トールセイバが働きます。
・子機は親機より遅れてベルが鳴り始めます。そのため留守番電話の用件が録音されているときに着信した場合、トールセイバを「する」に設定していると、子機が鳴らずに留守応答になることがあります。

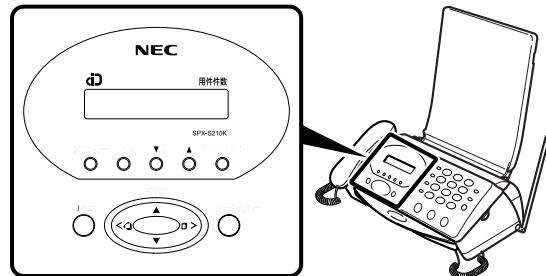
もっと便利に使うには

ここでは、もっと便利に使うためのいろいろな機能の登録や設定について説明しています。

操作について

本機の設定や登録は、ディスプレイの表示を見ながら行います。
まず［メニュー］ボタンを押し、次に設定項目の番号を入力して各設定を行います。詳しい手順は各設定ごとの説明をお読みください。
受話器を置いたままで操作してください。

・設定や登録を行う途中で、約90秒以上何も操作しなかったときは、待機中に戻ります。

設定を途中でやめたい［ストップ］ボタンを押してください。

初期設定

時計を合わせる<時刻セット>

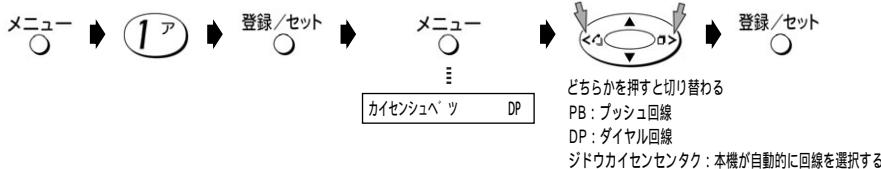
・時刻がずれてきたときや、時刻をセットしなかったときに行ってください。（時計の精度は平均月差±60秒以内。周囲の温度により、月差の度合いは変わります。）
・時刻は24時間制で、年は西暦の下2桁を入力してください。月日や時刻が1桁のときは頭に0をつけてください。（例：2004年9月20日6時5分→0409200605と入力）

修正したいとき［<］または［>］を押して修正したい箇所にカーソルを合わせ、入力し直してください。

回線種別の自動／手動設定（お買い上げのとき：ダイヤル回線（DP））

・使用している電話回線種別（プッシュ回線、ダイヤル回線）を自動または手動で設定します。
・INSネット64を利用していて、ターミナルアダプタに本機を接続する場合は、プッシュ回線（PB）に設定してください。
・ADSL回線を利用している場合も、回線種別を設定してください。

・お買い上げ後、はじめて回線を接続したとき、本機は「自動回線選択」を行います。
・回線種別を手動で設定すると、次回の電源ON時には「自動回線選択」を行いません。

どちらかを押すと切り替わる
PB：プッシュ回線
DP：ダイヤル回線
ジドウカイセンセンタク：本機が自動的に回線を選択する

“デンワカイセン　カクニン”と表示された 電話回線の接続を確認してください。

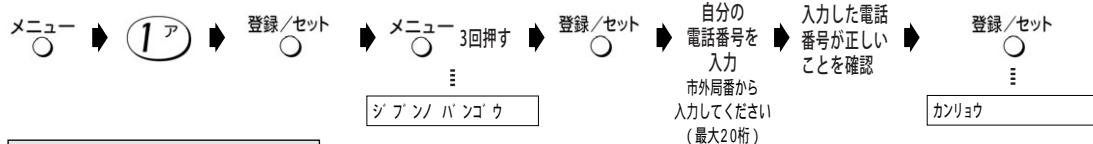
“カイセンセッテイ　シテクダサイ”と表示された 自動回線選択できませんでした。上記手順で、PBかDPを手動で設定してください。

ディスプレイの表示濃度を変える（お買い上げのとき：■■■□□）

ディスプレイに表示される文字の濃度を、5段階で変えることができます。

どちらかを押すと切り替わる
■□□□□：よりうすく表示
■■□□□：うすく表示
■■■□□：普通の濃さで表示
■■■■□：濃く表示
■■■■■：より濃く表示

自分の電話番号の登録（お買い上げのとき：自分の番号未登録）

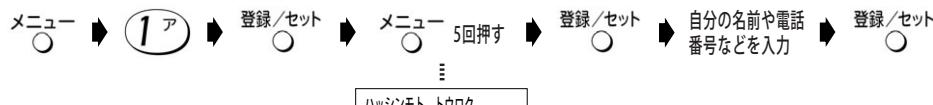
ここで登録した電話番号は、ファクス送信中に相手先のディスプレイに表示されたり、相手の通信管理レポートなどにプリントされます。

自分の電話番号を消したい

- ここで登録した電話番号は、相手の記録紙にはプリントされません。自分の名前や電話番号などを相手の記録紙にプリントする ➡下記
- 相手機種によっては、相手先のディスプレイなどに表示されないことがあります。
- 引越しなどで電話番号が変わったときは、もう一度登録をやり直してください。

自分の名前や電話番号などを相手の記録紙にプリントする

ファクスを送ったとき、相手の記録紙の各ページの最上部に、自分の名前や電話番号など（発信元）を自動的にプリントすることができます。発信元をプリントすると、相手側はどこからファクスがきたのかを簡単に知ることができます。

- 発信元をプリントするには、発信元の登録と発信元を相手の記録紙にプリント「する」の設定が必要です。
- 発信元に登録できる文字は、カナ、数字、アルファベット、記号です。**最大40文字**（空白を含む）まで入力できます。

発信元を登録する<発信元登録>（お買い上げのとき：発信元未登録）

文字入力のしかたがわからないとき 文字入力一覧表 ➡p91

発信元を削除または変更したいとき 発信元を削除するときは、上記操作の「自分の名前や電話番号などを入力」で登録した内容を［消去］ボタンですべて消してから［登録／セット］ボタンを押してください。変更するときは、同手順で変更したい箇所に［<］［>］でカーソルを合わせ［消去］ボタンで消し、修正してから［登録／セット］ボタンを押してください。

自分の電話番号もプリントさせたいとき 数字もすべて文字として入力してください。自分の電話番号の登録（➡上記）を行っても、相手の記録紙にはプリントされません。 文字入力一覧表 ➡p91

登録できたか確認したいとき システムリスト（➡p53）をプリントしてください。

発信元をプリントする／しないを設定する<発信元記録>（お買い上げのとき：する）

- 「しない」を設定すると、日付・時刻やページ番号もプリントされません。

相手先でのプリント例

便利に使う

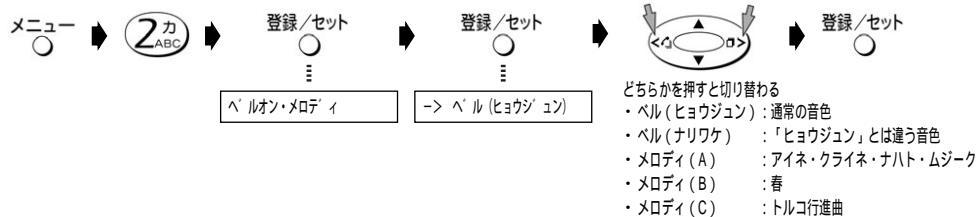
ベルの音色／メロディを変える（お買い上げのとき：ベル（標準））

着信ベルの音色を変えることができます。また、ベルの代わりにメロディを流すことができます。親機のベル音を変えると、子機のベル音も変わります。

メニュー ➡ 2カABC ➡ 登録／セット ➡ 登録／セット ➡ ◁ ▷ ➡ 登録／セット

ﾍﾞﾙｵﾝ･ﾒﾛﾃﾞｨ

－> ﾍﾞﾙ(ﾋｮｳｼﾞｭﾝ)

どちらかを押すと切り替わる
- ベル（ヒョウジュン）：通常の音色
- ベル（ナリワケ）　：「ヒョウジュン」とは違う音色
- メロディ（A）　：アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク
- メロディ（B）　：春
- メロディ（C）　：トルコ行進曲

- ナンバー・ディスプレイを契約し、着信鳴り分けを設定している相手からの電話は、着信鳴り分けで設定した着信ベルが鳴ります。

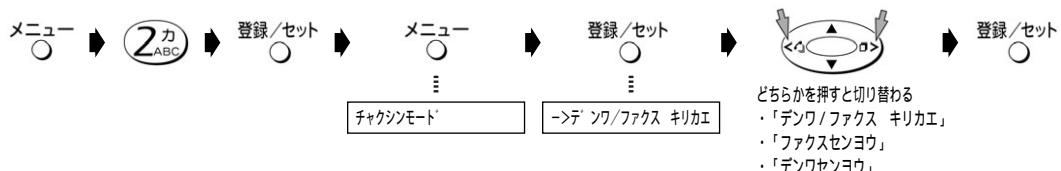
現在の着信ベルを確認したい

［<］または［>］で着信ベルの音色／メロディを選択しているとき、親機の［音量▲］または［音量▼］ボタンを押すと、選んだ音が鳴ります。このとき、音量も調整できます。途中でやめたい場合は［ストップ］ボタンを押してください。子機の［音量］ボタンでは確認できません。 音量を調整する➡p30

いつも電話で受ける、またはファクスで受ける<着信モード>

（お買い上げのとき：**電話／ファクス切替**）

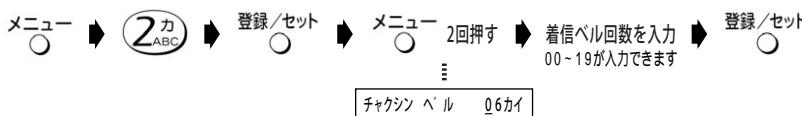
着信モードを設定すると、いつも電話で受けたり、ファクスで受けたりできます。

- 電話／ファクス切替 … 設定回数着信ベルが鳴ると、本機が自動で電話をつなぎ、相手が電話かファクスかを判断します。ファクスのときは自動的に受信し、電話のときは呼出ベルが鳴ります。
- ファクス専用 … 設定回数着信ベルが鳴ったあと自動的にファクスを受信します。かかってくるのがファクスだけとわかっているときにご利用ください。ただし、着信ベルが鳴っている間に電話に出たとき、相手が電話ならば話ができます。
- 電話専用 … ファクスを自動受信したくない場合や、電話に出なかったとき、通話料が相手にかからないようにしたい場合など、普通の電話と同じように使うことができます。ファクスを受信するときは手動またはファクスかんたん受信で行ってください。 手動で受ける➡ p35
電話に出て相手がファクスだったときは簡単に受信する➡ p51

- 電話専用に設定し、トールセイバを「しない」に設定（➡ p45）している場合、留守設定中は、着信ベルが5回鳴ったあと留守番機能が働きます。
- ファクス専用で着信ベルを0回に設定すると、相手がファクスのときは着信ベルが1回も鳴らずにファクスを受信します。**この場合は電話が受けられません。** 着信ベル回数を変える➡p49
- 留守設定中は、ファクス専用の設定をしても留守設定が優先されます。 留守電を使うには➡p40

着信ベル回数を変える（お買い上げのとき：6回）

・電話／ファクス切替、またはファクス専用に設定しているとき、自動的に回線が接続されるまでに鳴るベルのことを着信ベルといいます。回数は0～19回の間で設定できます。
・入力する回数が1桁のときは、頭に0を付けて2桁にしてください。（例：8回→08と入力）

メニュー ➡ 2カABC ➡ 登録／セット ➡ メニュー 2回押す ➡ 着信ベル回数を入力 00～19が入力できます ➡ 登録／セット

チャクシン ベル　06カイ

着信ベル回数の入力を間違えたとき ［消去］ボタンを押し、入力し直してください。

ベルを鳴らさずにファクスを受けたい（無鳴動着信）

着信ベルの回数を0回に設定してください。なお、選択している着信モードにより、次のように動作します。
・**電話／ファクス切替** … **相手が電話だったときは、回線が接続されてから約5秒後に呼出ベルが鳴ります。**相手がファクスを手動送信したときは、呼出ベルが鳴ります。電話に出てから手動受信してください。 手動で受ける➡p35
・**ファクス専用** ………… **着信ベルが1回も鳴らずにファクスを受信します。電話は受けられません。**

・着信ベルが設定された回数鳴ると、回線が接続され、相手側に料金がかかります。
・着信ベルの回数は、なるべく7回以下で設定してください。8回以上に設定すると相手がファクスを自動送信したとき、受信できないことがあります。
・「トールセイバをする」に設定していると、留守設定中は着信ベルの設定にかかわらずトールセイバのベル回数が優先されます。留守設定中もここで設定したベル回数で回線を接続したいときは「トールセイバをしない」に設定してください。 トールセイバ➡p45
・子機の着信ベルは、親機よりも遅れてベルが鳴り始めるため、設定した回数より少なくなります。
・電話専用を設定している場合は、“＊＊カイ”と表示され、変更はできません。

呼出ベル回数を変える（お買い上げのとき：10回）

・電話／ファクス切替に設定しているとき、自動的に回線が接続されたあとに鳴るベルのことを呼出ベルといいます。回数は1～19回の間で設定できます。
・入力する回数が1桁のときは、頭に0を付けて2桁にしてください。（例：8回→08と入力）

メニュー ➡ 2カABC ➡ 登録／セット ➡ メニュー 3回押す ➡ 呼出ベル回数を入力 01～19が入力できます ➡ 登録／セット

ヨビダシ ベル　10カイ

呼出ベル回数の入力を間違えたとき ［消去］ボタンを押し、入力し直してください。

・回線が接続された時点から相手側に料金がかかります。呼出ベルが鳴っているときは、すでに料金がかかっています。
・ファクス専用／電話専用を設定している場合は、“＊＊カイ”と表示され、変更はできません。

保留メロディを変える（お買い上げのとき：保留メロディ1「聖者の行進」）

電話を保留したときに相手に流すメロディ音を「聖者の行進」または「茶色の小瓶」から選べます。

設定した保留メロディを確認したいとき

［<］または［>］で保留メロディを選択しているとき、親機の［音量▲］または［音量▼］ボタンを押すと、選んだメロディが鳴ります。メロディが鳴っている間に親機の［音量▲］または［音量▼］ボタンを押すと、モニタ音量が調整できます。ただし、相手側に聞こえる保留音の音量は変えられません。
また、メロディを途中で止めたいときは、［ストップ］ボタンを押してください。

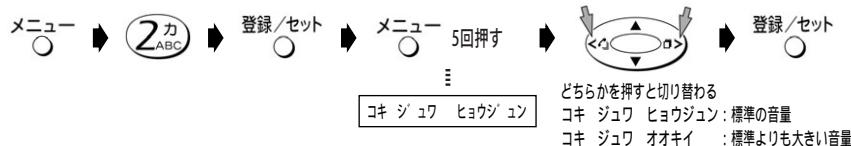
便利に使う

子機の受話音量を全体的に大きくする（お買い上げのとき：標準）

相手の声が聞き取りにくいときは、親機で受話音量を「大きい」に設定してください。

メニュー ➡ 2 ➡ 登録／セット ➡ メニュー 5回押す ➡ ◁ ▷ ➡ 登録／セット

コキ ジュワ ヒョウジュン

どちらかを押すと切り替わる
コキ ジュワ ヒョウジュン：標準の音量
コキ ジュワ オオキイ　：標準よりも大きい音量

- 内線通話時の受話音量は変更されません。
- すべての子機の受話音量が大きくなります。子機ごとに受話音量を変えたいときは、子機側で設定してください。

受話音量 ➡ p31

子機の送話音量を全体的に大きくする（お買い上げのとき：標準）

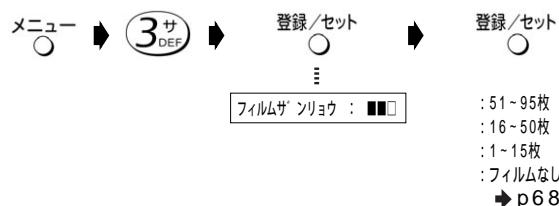
相手側でこちらの子機の声が聞き取りにくいときは、親機で送話音量を「大きい」に設定してください。相手側で声が聞き取りやすくなります。

- 内線通話時の送話音量は変更されません。

ファクス・コピー機能

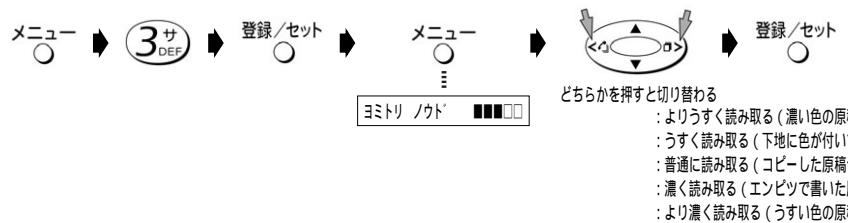
インクフィルム残量を表示する

インクフィルムのおおよその残量を表示します。

➡ p68

- 目安としてご利用ください。
- インクフィルムを交換した場合は、必ずリセットしてください。➡ p68
  リセットを行わなかった場合、正しく表示されません。
- 次のような場合は、インクフィルム残量が表示よりも少なくなっていることがあります。
  - ひんぱんにカバーを開け閉めした
  - インクフィルムを手で巻き取った

ファクスやコピーの読み取り濃度を変える（お買い上げのとき：普通）

原稿に色が付いているときや原稿の文字がうすいときなどは、相手が読みやすいように読み取り濃度を調整してください。必ず、ファクス送信やコピーの前に設定してください。ファクス送信やコピーが終わったら「普通」（■■■□□）に戻してください。

どちらかを押すと切り替わる
■□□□□：よりうすく読み取る（濃い色の原稿）
■■□□□：うすく読み取る（下地に色が付いている原稿や新聞）
■■■□□：普通に読み取る（コピーした原稿や黒ペンで書いた原稿）
■■■■□：濃く読み取る（エンピツで書いた原稿）
■■■■■：より濃く読み取る（うすい色の原稿）

- 次のような原稿は鮮明に読み取れないことがあります。
  - 青色のサインペンやボールペンなどで書かれた原稿（ブルーブラック、紺色に近い青は問題ありません）
  - うすい鉛筆、蛍光マーカーで書かれた原稿
  - 赤い紙に黒で書かれた原稿（赤色は黒色と同様に読み取るため、まっ黒になってしまいます）
- 受信したファクスが不鮮明なときは、相手側で調整し、送信し直してもらってください。

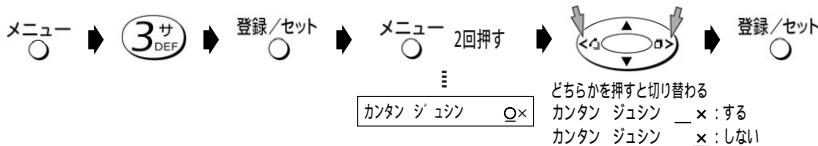
読み取りの具合を確認したい

ファクス送信をする前にコピーを取って確認してください。

コピーを取る ➡ p36

電話に出て相手がファクスだったときは簡単に受信する<ファクスかんたん受信>

（お買い上げのとき：する）

電話に出て相手がファクスのときは「ポーポーポー…」という音が聞こえ「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください」とメッセージが流れます。このときは、受話器を戻すだけでファクスを受信できます。

- 相手が電話の場合でも、声質や音によってファクスの受信状態になることがあります。ひんぱんに起こる場合はファクスかんたん受信を「しない」に設定してください。
- ファクスかんたん受信を「しない」に設定した場合は、相手がファクスだったら親機では［スタート／コピー］ボタン、子機では［内線］ボタンを押したあと［6］を押すと受信できます。

海外にファクスを送るとき（お買い上げのとき：しない）

海外にファクスを送るときは「する」に設定してください。海外に送るときに起こりやすい通信ミスが少なくなります。ファクスを送ったあとは「しない」に戻してください。

- 海外通信の設定は、ファクスを受信するときは関係ありません。

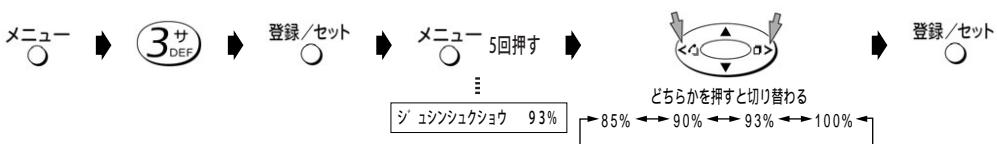
不達レポートを出力する（お買い上げのとき：する）

ファクスが正常に送信できなかったときに、送信できなかったことをお知らせする不達レポートを出力することができます。

送信できなかった（不達レポート）➡ p34

受信したファクスを縮小する<受信縮小率>（お買い上げのとき：93%）

- 受信した文書を、縦方向に93%、90%、85%のいずれかの縮小率で縮小して、プリントすることができます。
- 相手が、発信元記録を付けてファクスを送信してきた場合、A4サイズよりもわずかに大きくなってしまい、複数枚の記録紙に分断してプリントされることがあります。このようなときは、縮小してプリントするように設定してください。
- 縮小することにより、原稿によっては画質が劣化する場合があります。この画質劣化を解消したいときは、受信縮小率を100%に設定してください。
- 受信縮小率を100%に設定すると、受信した原稿を等倍（原寸大）でプリントします。
- 受信縮小率がいずれの場合でも、印字範囲を縦方向にはみ出した部分は次の記録紙にプリントされます。

便利に使う

ファクス受信のとき、いったんメモリに蓄積する<メモリ受信>

（お買い上げのとき：する）

メモリ受信を「する」に設定すると、ファクス受信のとき、いったんメモリに蓄積してからプリントします。受信中にインクフィルムや記録紙がなくなった場合でも、メモリに蓄積し、不足品を補充したあと、プリントすることができます。

- 「する」に設定すると、写真などのデータ量の多い原稿は受信できないことがあります。そのときは、不要な用件を消去する（➡p42）か、メモリ受信を「しない」に設定してください。
- 「しない」に設定したとき、ファクス受信中に以下が起こると通信異常となり、それ以降のファクスはプリントされません（メモリ代行受信も行いません）。そのときは、以下の状態を復旧したあとに、再度ファクスを送信してもらってください。
  - 記録紙がなくなった
  - インクフィルムがなくなった
  - 操作パネルが開いた
  - 記録紙がつまった
  - サーマルヘッドが過熱した

メモリ代行受信 ➡ p35

メモリ受信した文書を消去する

- メモリに受信したファクス受信文書を強制的に消去します。
- ファクス受信文書が2通以上あった場合には、1回の動作で最も古い受信文書が1通だけ消去されます。
- 記録紙がセットされていないなど、印字できない状態で操作してください。

- 消去された文書は、そのあとでプリントすることはできません。
- 2通以上のファクス受信文書を、一度に消去することはできません。

リストプリント

あなたが登録や変更した内容などをプリントできます。

親機の電話帳の登録内容（電話番号リスト）をプリントする

- 電話番号リストは、次の順にプリントされます。
  空白＋文字 → 数字 → カナ（50音順）→ アルファベット → 記号 → 名前を登録していない電話番号
- 電話番号リストは、1ページに50件までプリントされます。

- 子機の電話帳の登録内容はプリントされません。
- 電話帳に電話番号が登録されていない場合はプリントされません。ディスプレイに“デンワバンゴウミトウロク”と表示されます。

途中でプリントをやめたいとき ［ストップ］ボタンを押してください。

プリント例

デ ンワ バ ンゴ ウ リスト（1）

2004. 9.20 11:56

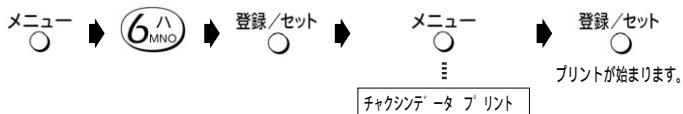
ニッポンデ ンキ

アイテサキ	デ ンワ バ ンゴ ウ	チャクシン ナリワケ	プ ライベ ート コール
イトウ	0312345670	シテイナシ	スベ テ
カトウ	0612345678	ベ ル（ナリワケ）	ナイセン1（オヤキ）
キクオ	0312345679	ベ ル（ヒョウジ ュン）	ナイセン2（コキ）

ナンバー・ディスプレイの着信データをプリントする

メニュー ➡ 6 ハ MNO ➡ 登録／セット ➡ メニュー ➡ 登録／セット

チャクシンデ゛ータ フ゜リント

プリントが始まります。

- 子機に記憶された着信データはプリントできません。
- ナンバー・ディスプレイを利用していないと、着信データは記憶されません。
- 着信データが記憶されていない場合はプリントされません。ディスプレイに " チャクシンデータ　アリマセン " と表示されます。

途中でプリントをやめたいとき [ストップ] ボタンを押してください。

プリント例

ナンバー・ディスプレイの契約をしている場合

チャクシンデ゛ータ　リスト

2004. 9.20 12:50

ニッポ゜ンデ゛ンキ

No.	チャクシンニチジ゛	チャクシンデ゛ータ	アイテサキ
1	9.20 12:47	123456	ニチデ゛ンタロウ
2	9.20 11:47	ヒツウチ	
3	9.20 10:30	コウシュウデ゛ンワ	

本機の設定状態（システムリスト）をプリントする

メニュー ➡ 6 ハ MNO ➡ 登録／セット ➡ メニュー 2回押す ➡ 登録／セット

システム リスト フ゜リント

プリントが始まります。

途中でプリントをやめたいとき [ストップ] ボタンを押してください。

プリント例

システム　リスト

2004. 9.20 16:13

ニッポ゜ンデ゛ンキ

コ ウ モ ク	ナ イ ヨ ウ
カイセンシュベ゛ツ	DP
ヒョウジ゛　ノウド゛	フツウ
ジ゛ブ゛ンノ バ゛ンゴ゛ウ	0312345678
ハッシンモト　キロク	スル
ハッシンモト	ニッポ゜ンデ゛ンキ
ベ゛ルオン・メロデ゛ィ	ベ゛ル（ヒョウジ゛ュン）

通信管理レポートをプリントする

ファクスを送信または受信した履歴を、最新の20件までプリントします。

メニュー ➡ 6 ハ MNO ➡ 登録／セット ➡ メニュー 3回押す ➡ 登録／セット

ツウシンカンリ レポ ート

プリントが始まります。

途中でプリントをやめたいとき ［ストップ］ボタンを押してください。

・通信データがない場合にはプリントされません。ディスプレイに“ ツウシンデータ　アリマセン ”と表示されます。

プリント例

ツウシン　カンリ　レポ　ート

2004. 9.20　13:54

(ツウシン)　　ニッポ ン デ ンキ

ツウシン カイシ ニチジ	ツウシン ジ カン	ア イ テ サ キ	モード	マイスウ	ツウシン ケッカ
9.20　13:07	0’27”	30	ECM	1	O.K.
9.20　13:43	0’26”	イトウ	ECM	1	O.K.
9.21　13:43	0’29”	カトウ	ECM	1	O.K.

通信管理レポートの通信結果の意味

ハナシチュウ

・相手先が通話中である

ヨビダシ

・相手先から通話予約などで呼び出しを受けた

ムオウトウ

・相手先が受信できない状態になっている
・相手先が電話に出ない
・電話回線が正しく接続されていないか、電話回線接続コードが断線している恐れがある

××（2桁の英数字）

エラーコードが表示されたとき ➡p72

O.K.

・通信が正常に行われた

チュウダン

・通信中に（自分が）中断操作をした

ショウキョ

・メモリ受信した文書を消去した ➡p52

ナンバー・ディスプレイ

ここでは、ナンバー・ディスプレイのいろいろな使いかたを説明しています。

利用できる機能について

ナンバー・ディスプレイを利用すると、次のようなことができます。

・かかってきた相手の電話番号を、電話に出る前にディスプレイに表示させる
・電話帳に登録されている相手だけ、特別な受けかたをする
　ー 自作メッセージで応答 ➡p56
　ー 着信鳴り分けとプライベートコール ➡p58
・番号リクエスト ➡p56
・着信拒否 ➡p57
・着信データの活用 ➡p59
・キャッチホン・ディスプレイ ➡p61

・次の場合は電話番号が表示されません。
　ー 国際電話
　ー オペレーター扱いの通話（100番・106番）
　ー 相手が番号非通知のとき
　ー 相手が公衆電話からかけてきたとき
　ー 相手が圏外からかけてきたとき
　ー 電話回線の雑音などで、データを正常に受信できなかったとき

利用申し込みにあたって

ナンバー・ディスプレイを利用するには、NTT東日本またはNTT西日本との契約が必要です（有料）。

・本機でナンバー・ディスプレイを契約すると、次のサービスが利用できなくなります。
　ー 転送でんわ（ボイスワープを除く）
　ー ダイヤルQ2（情報提供側）
　ー テレドーム（情報提供側）
　ー ノーリンギング通信サービス（センター回線）
・ブランチ接続では使えません。

＜お問い合わせ先＞
NTT東日本・NTT西日本
ナンバー・ディスプレイ　カスタマーセンター
フリーダイヤル：0120－848521
受付時間：午前9:00～午後5:00（月曜～土曜）

ダイヤルインサービスを同時に利用するとき

必ずモデムダイヤルインサービスを契約してください。通常のダイヤルインサービスを契約している場合は、モデムダイヤルインサービスに変更する必要があります。ナンバー・ディスプレイ　カスタマーセンターに連絡してください。

ISDN回線を利用しているとき

ターミナルアダプタの機種によっては、ナンバー・ディスプレイを利用できないことがあります。ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタをご使用ください。

ネーム・ディスプレイについて

本機は、ネーム・ディスプレイサービスには対応しておりません。

ディスプレイ表示の見かた

電話がかかってくると、相手の番号が次のように表示され、お知らせします。

・ワンタッチダイヤル、電話帳に登録されていない相手のとき

親機	子機
ｱｲﾃ:0312345678	0312345678

・ワンタッチダイヤル、電話帳に登録されている相手のとき

親機	子機
ｱｲﾃ:ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ	ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ

親機と子機で同じ電話番号に違う名前を登録している

親機と子機、それぞれに登録した名前が表示されます。

・相手が番号非通知のとき	ﾋﾂｳﾁ
・相手が公衆電話のとき	ｺｳｼｭｳﾃﾞﾝﾜ
・相手が海外など、圏外からかけてきたとき	ﾋｮｳｼﾞｹﾝｶﾞｲ
・一時的な電話回線の雑音などにより正常に受信できなかったとき	ｼﾞｭｼﾝｴﾗｰ

自分の電話番号の通知・非通知について

ナンバー・ディスプレイを利用している相手に、自分の電話番号を通知するかどうかを、電話をかけるごとに指定できます。

・電話番号を通知すると、電話勧誘など思わぬ使いかたをされることがあります。

	契約の内容	
	通話ごと非通知	回線ごと非通知
相手に電話番号を通知する	普通にダイヤルする	[1][8][6]のあと相手の番号をダイヤル
相手に電話番号を通知しない	[1][8][4]のあと相手の番号をダイヤル	普通にダイヤルする

自分がどちらで契約しているかわからない

NTT東日本またはNTT西日本の窓口などにお問い合わせください。

必要な設定

ナンバー・ディスプレイの設定（お買い上げのとき：**利用する**）

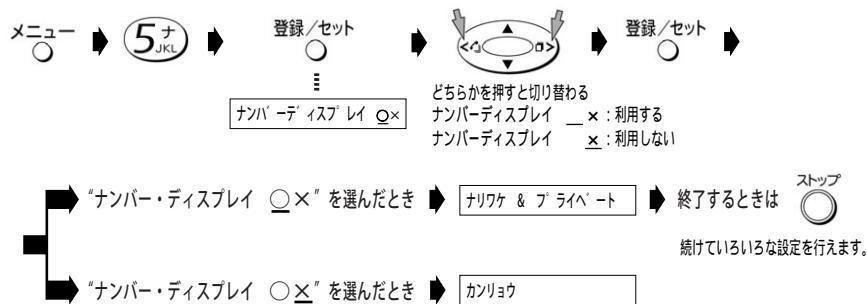
・ナンバー・ディスプレイを契約している場合は「利用する」、契約していない場合は「利用しない」に必ず設定してください。この設定が間違っていると、電話が受けられないことがあります。
・モデムダイヤルインを契約している場合は、ナンバー・ディスプレイの契約にかかわらず、「利用する」に設定してください。

メニュー ➡ 5ナJKL ➡ 登録／セット ➡ （◁ ▷） ➡ 登録／セット ➡

ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ○×

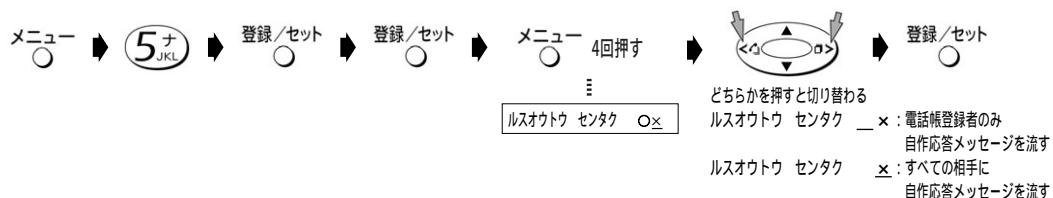
どちらかを押すと切り替わる
ナンバーディスプレイ ○×：利用する
ナンバーディスプレイ ○×：利用しない

"ナンバー・ディスプレイ ○×"を選んだとき ➡ ﾅﾘﾜｹ ＆ ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄ ➡ 終了するときは ストップ
続けていろいろな設定を行えます。

"ナンバー・ディスプレイ ○×"を選んだとき ➡ ｶﾝﾘｮｳ

いろいろな設定

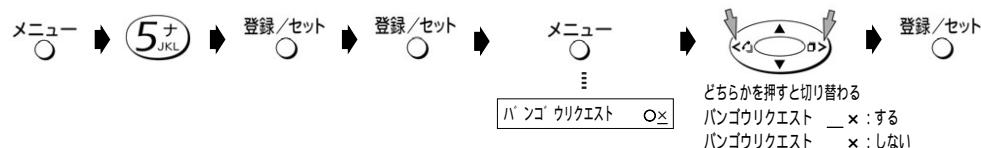
電話帳に登録している相手にだけ自作メッセージで応答する

（お買い上げのとき：**すべての相手に自作応答メッセージを流す**）

留守設定中に電話がかかってきたとき、電話帳に登録してある相手にだけ自作応答メッセージで、登録していない相手には固定応答メッセージを流すことができます。

・相手に流す自作応答メッセージは、留守設定のときと同じメッセージです。
・自作応答メッセージを録音していない場合は、すべて固定応答メッセージになります。
応答メッセージを録音／消去する ➡ p42

電話番号を通知してこない相手にメッセージを流す＜番号リクエスト＞

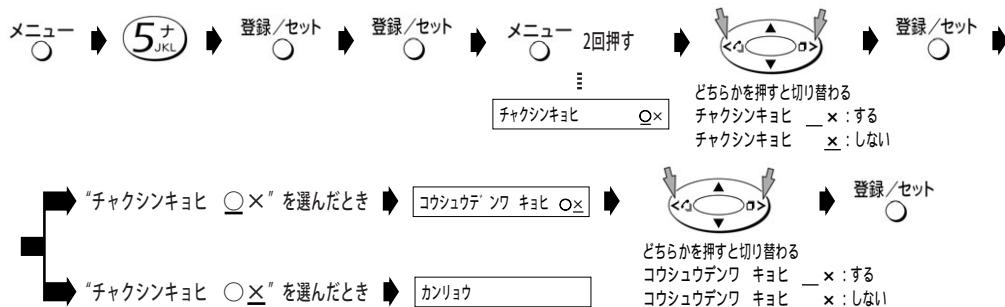
（お買い上げのとき：**しない**）

非通知の相手からかかってきたとき、ベルを鳴らさずメッセージを流してから自動的に電話を切ることができます。
・非通知の相手に流すメッセージ …「番号を通知しておかけ直しください。また、回線ごと非通知の方は番号の前に186をダイヤルしておかけ直しください」（固定）

・番号リクエストを「する」に設定すると、留守設定中も、非通知の相手からの電話は留守録音やファクス受信ができません。
・公衆電話や表示圏外からの電話は、通常通り着信します。

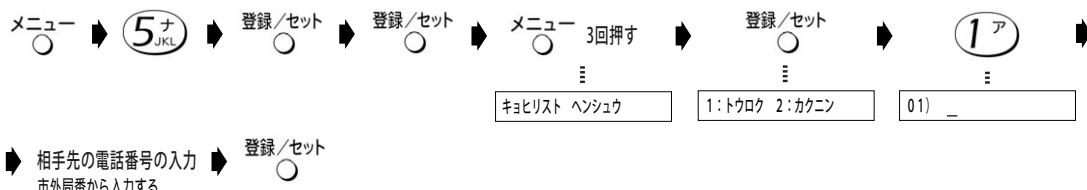
電話を受けたくない相手を設定する

（お買い上げのとき：着信拒否「する」、公衆電話拒否「しない」）

着信拒否に登録してある相手からかかってきたときに、ベルを鳴らさずにメッセージを流して電話を切ることができます。また、公衆電話からの着信を拒否することもできます。
・着信拒否の相手に流すメッセージ … 「申し訳ありませんがお取り次ぎできません」（固定）

着信拒否機能を利用する／しないを設定する

・着信拒否を「する」に設定すると、留守設定中も、着信拒否に登録されている相手からの電話は留守録音やファクス受信ができません。

着信拒否する相手を登録する

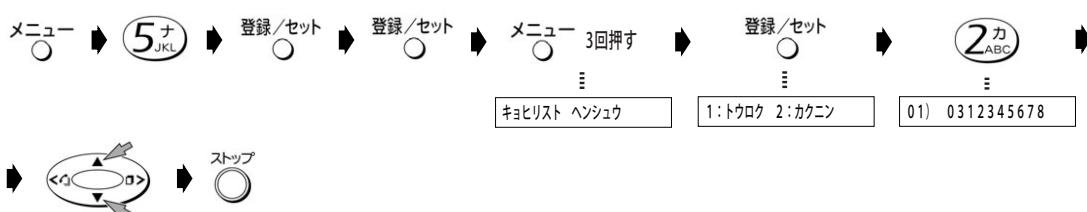
受けたくない相手の電話番号（10件まで）を、あらかじめ着信拒否に登録しておきます。着信拒否に登録する場合、すでに登録されているリストの番号の次の番号に登録されます。

相手先の電話番号の入力
市外局番から入力する
登録／セット

着信データの番号を着信拒否に登録したい

・子機の着信データは着信拒否に登録できません。

“キョヒリスト　フル”と表示された

着信拒否を登録できるのは10件までです。リストから不要な電話番号を消去してください。

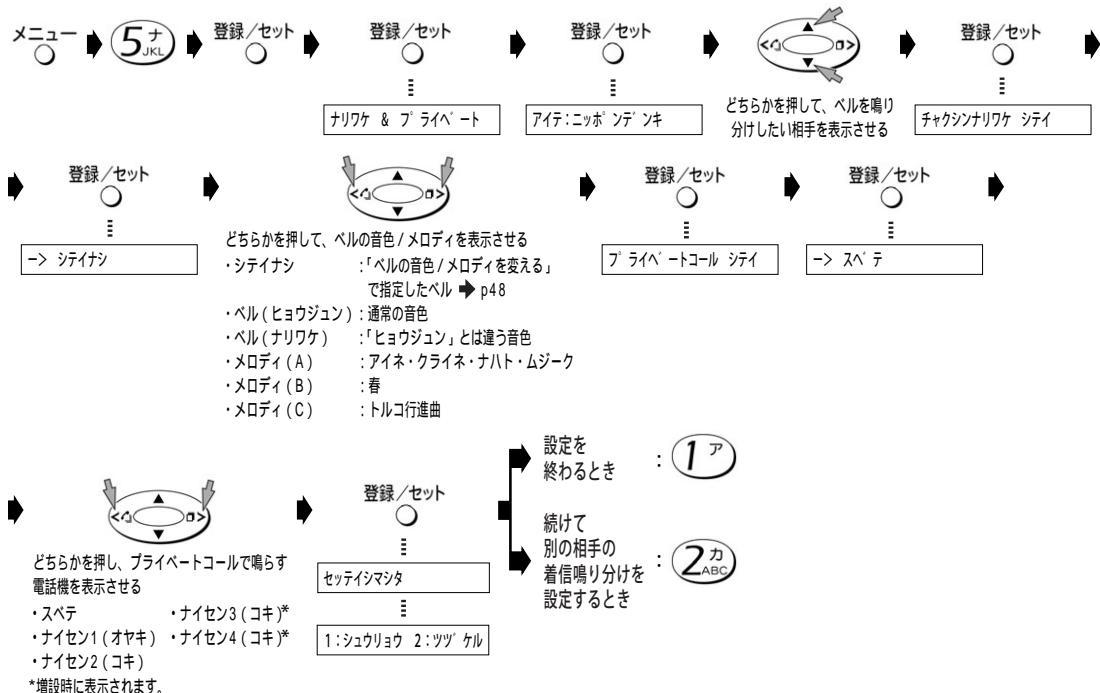
登録内容を確認する

“キョヒリスト　ミトウロク”と表示された 着信拒否する相手が1件も登録されていません。

着信拒否リストから消去する

上記の操作で消去したい相手の電話番号を表示させる ➡ 消去

かけてくる相手によって着信ベルを変える<着信鳴り分けとプライベートコール>

（お買い上げのとき：着信鳴り分け「シテイナシ」、プライベートコール「スベテ」）

電話帳に登録してある相手からかかってきたときは、ベルの音色やメロディを変えることや（着信鳴り分け）、親機だけのベルまたは子機だけのベルを鳴らすことができます（プライベートコール）。ベルの鳴っていない親機や子機でも電話に出ることができます。

・電話帳に登録されている番号に［＊］［＃］［ー］（ポーズ）が含まれていたり、市外局番が登録されていないと、ナンバー・ディスプレイの機能が正常に働きません。電話帳に登録するときはご注意ください。

“デンワバンゴウミトウロク”と表示された 電話帳に何も登録されていません。

着信データの活用

電話がかかってきた日時と相手の名前または電話番号が、親機と子機それぞれに着信データとして自動的に記憶されます。着信データは親機に20件、子機に10件まで記憶され、これらの件数を超えると古いものから順に消去されます。

・親機では、電話やファクスを使用しているときは、着信データを見ることはできません。

着信データをプリントしたい

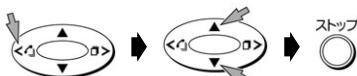
ナンバー・ディスプレイの着信データをプリントする➡p53

過去にかかってきた相手を確認する<着信データの表示>

親機で

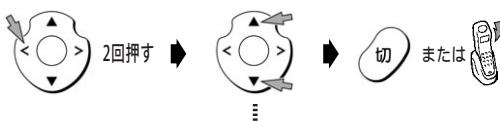
他の着信データを見る

ディスプレイには、最新の着信データから順に表示されます

電話帳に登録している相手	電話帳に登録していない相手
相手の名前が表示されます	相手の電話番号が表示されます
01) ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ	01) 0312345678
[▼] [▲] を押して画面を切り替える	[▼] [▲] を押して画面を切り替える
01) 9月20日 21:44	01) 9月20日 21:44
着信した順番（新しい順） 着信した日時	着信した順番（新しい順） 着信した日時
02) ｶﾄｳ	02) 0612345678
02) 9月20日 20:00	02) 9月20日 20:00

“チャクシンデータ　アリマセン”と表示された

着信データが記憶されていません。
ナンバー・ディスプレイサービスに加入していない場合、着信データは残りません。➡p55

子機で

2回押す　または

他の着信データを見る

0312345678 ⇄ 9月20日 21:44

電話帳に登録してある相手の場合、相手の名前が表示されます。

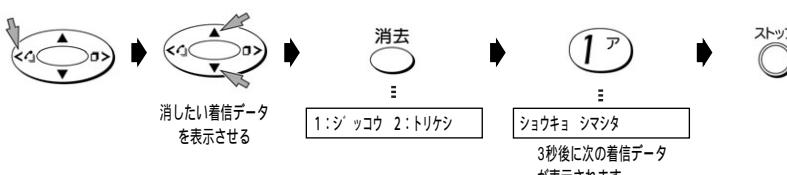
・子機にかかってきた場合は、相手の電話番号などがディスプレイに表示されたときに着信データとして記憶されます。電波の届かないところに置くと記憶されません。

着信データの表示を切り替えたいとき　[>] を押すと、相手の名前（電話帳に登録してある場合）→電話番号→着信日時の順に、表示が切り替わります。[<] を押すと、相手の名前（または電話番号）の表示に戻ります。

着信データを消す

親機で

消したい着信データを表示させる

消去

1:ｼﾞｯｺｳ 2:ﾄﾘｹｼ

ｼｮｳｷｮ ｼﾏｼﾀ

3秒後に次の着信データが表示されます。

子機で

待機中 ➡p11

2回押す

消したい着信データを表示させる

ｼｮｳｷｮ ｼﾏｽｶ?

または

ｼｮｳｷｮ ｼﾏｼﾀ

または

ピーッ

途中で消去をやめたいとき“ショウキョ　シマスカ？”と表示されたところで [▲] または [▼] を押し“チュウシ　シマスカ？”と表示されたら [メニュー] ボタンを押してください。

着信データを使って電話をかける<コールバック>

着信データの電話番号へ簡単に電話をかけることができます。

親機で

かけたい相手を表示させる
通話

子機で

待機中 ➡p11
2回押す
かけたい相手を表示させる
通話

"チャクシンデータ　アリマセン"と表示された 着信データが記憶されていないので、コールバックできません。

ファクスを送信したい
原稿をセットしてから、親機で送信したい相手を表示させ［スタート／コピー］ボタンを押してください。

着信データを電話帳に登録する<かんたん登録>

着信データの電話番号を電話帳に登録できます。子機の着信データは、子機の電話帳に登録できます。

親機で

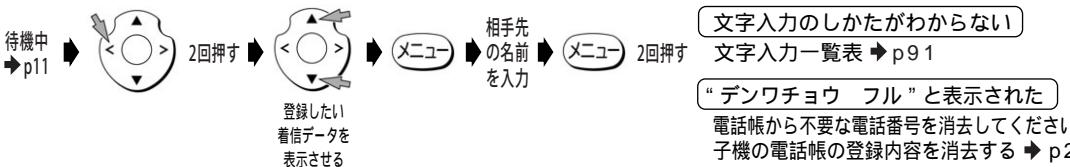
登録したい着信データを表示させる
登録／セット
登録／セット
相手先の名前を入力
登録／セット
ストップ

"チャクシンデータ　アリマセン"と表示された 着信データが記憶されていないので、登録できません。

"デンワチョウ　フル"と表示された 電話帳から不要な電話番号を消去してください。
親機の電話帳の登録内容を消去する➡p27

文字入力のしかたがわからない 文字入力一覧表➡p91

子機で

待機中 ➡p11
2回押す
登録したい着信データを表示させる
メニュー ➡ 相手先の名前を入力 ➡ メニュー 2回押す

文字入力のしかたがわからない
文字入力一覧表➡p91

"デンワチョウ　フル"と表示された
電話帳から不要な電話番号を消去してください。
子機の電話帳の登録内容を消去する➡p27

留守中にかけてきた相手を確認する<留守録着信データ>

留守設定中に電話がかかってくると、着信データと同時に留守録着信データが記憶されます。これにより、親機や子機で用件を再生しながら相手番号を確認することができます。外線リモートや子機のリモコン操作で用件を聞いたときは、電話番号が音声で聞こえます。留守録着信データは、いったん回線がつながった相手であれば、応答メッセージが流れている間に相手が電話を切っても記憶されます。

録音された用件を聞く➡p41
外出先から用件を聞く➡p44

- 留守録着信データには次のような制限があります。
  - 用件が消去されると留守録着信データも同時に消去されます。
  - 留守録着信データを使って電話をかけたりファクスを送ることはできません。
  - 電話帳や着信拒否に登録することはできません。

親機で

留守録の用件を再生すると、ディスプレイに留守録着信データが表示されます。

電話帳に登録している相手	電話帳に登録していない相手
ｱｲﾃ:ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ	ｱｲﾃ:0312345678
相手の名前が表示されます。	相手の電話番号が表示されます。

子機で

ディスプレイに留守録着信データは表示されません。留守録の用件を再生すると、用件のあと時間と相手の電話番号が音声で聞こえます。

- 相手が用件を録音していないと、用件のかわりにビジートーン（話中音）が聞こえ、そのあと時間と相手の電話番号が聞こえます。
- 相手の電話番号が通知されないときは、その理由が音声で聞こえます。

キャッチホン・ディスプレイについて

通話中にキャッチホンが入ったとき、かけてきた相手の電話番号を約30秒間表示します。表示の見かたはナンバー・ディスプレイの表示と同じです。キャッチホン・ディスプレイを利用するためには、キャッチホンとナンバー・ディスプレイを契約（有料）した上で、キャッチホン・ディスプレイの契約（有料）をしてください。

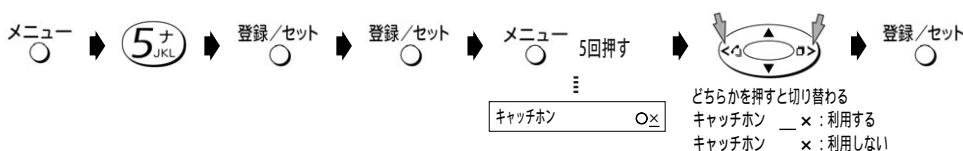
ダイヤルインサービスも同時に利用したい

必ずモデムダイヤルインサービスでご利用ください。「ナンバー・ディスプレイ　カスタマーセンター」（➔p55）または最寄りのNTT東日本またはNTT西日本の窓口にご相談ください。

ISDN回線を利用している

キャッチホン・ディスプレイはアナログ回線用のサービスです。ISDN回線の方は、最寄りのNTT東日本またはNTT西日本の窓口にご相談ください。

キャッチホン・ディスプレイを設定する（お買い上げのとき：利用しない）

NTT東日本またはNTT西日本のキャッチホン・ディスプレイを契約したときに設定します。

キャッチホン・ディスプレイのご利用にあたって

- キャッチホンが着信すると、キャッチホン着信音「プルルー・プップッ」のあとに「ピポ」という音が聞こえ、相手の電話番号を受信する間（約1秒間）通話が途切れます。
- 子機で通話中の場合、親機から電話番号情報を転送する間「ザッ」というノイズが聞こえます。
- 次の場合、キャッチホンが着信しても、相手の電話番号が表示されないことがあります。
  - 保留中、留守番電話動作中、コピー中、ファクス送受信中、登録操作中、通話録音中、通話再生中、外線転送中
  - 大声で通話したとき
  - 周囲の雑音が大きいとき
  - NTT東日本またはNTT西日本の交換機とお客様宅との距離が遠いとき

- キャッチホン・ディスプレイをご契約になる場合には、次の点にご注意ください。
  - ファクスの送信中や受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、送信や受信が中断されることがあります。またこの場合、電話がかかってきたことはこちらではわかりません。キャッチホン・ディスプレイの異常ではありませんので、ご了承願います。
  - 通話中にキャッチホン・ディスプレイにより割り込まれた相手がファクスの場合は、「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえてもファクスかんたん受信（➔p51）は動作しません。手動受信の操作（➔p35）によりファクスを受信することもできますが、受信中は前の方とのお話に戻ることができません。親機の［キャッチ］ボタンまたは子機の［キャッチ］ボタンをもう一度押して、先に通話していた方とお話しください。
    なお、手動受信の操作をしなかった場合は、ファクスを送られてきた相手の方は通信エラーになってしまいます。また続けてファクスが送られてくることが考えられますので、早めにお話を終えられることをおすすめします。

キャッチホン・ディスプレイの表示について

- 着信拒否を設定している相手（着信拒否リスト、公衆電話拒否）の場合でも、キャッチホン着信してその番号が表示されます。
- 番号リクエストの設定が「する」になっていても、非通知の相手もキャッチホン着信して“ヒツウチ”と表示されます。
- プライベートコールに指定されている番号も表示されます。
- キャッチホンに応答する前に相手が電話を切っても、約30秒間表示されます。
- キャッチホンに応答したときは、その時点で通話時間表示に戻ります。応答しなくても約30秒経過したときは通話時間表示に戻ります。

キャッチホン／モデムダイヤルイン

ここでは、NTTのいろいろなサービスの利用のしかたを説明しています。

キャッチホンを利用する

キャッチホンを利用すると、相手と話し中、別の方からかかってきた電話に出ることができます。

ご利用にあたって

キャッチホンを利用するには、NTT東日本またはNTT西日本との契約（有料）が必要です。

・ファクスの送信中や受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、送信や受信が中断されることがあります。

ナンバー・ディスプレイも利用している

キャッチホン・ディスプレイを契約（有料）すると、通話中にかけてきた相手の番号を表示できます。

キャッチホン・ディスプレイについて➡p61

キャッチホンを受ける

通話中にキャッチホンが入ると「プルルー・プップッ」という音（キャッチホンの着信音）が聞こえます。

・キャッチホンが入っていないときに、親機の［キャッチ］ボタンや子機の［キャッチ］ボタンを押さないでください。電話が切れてしまいます。

通話中 ➡ 「プルルー・プップッ」 ➡ 親機は［キャッチ］／子機は［キャッチ］ ➡ あとからかけてきた相手と通話 ➡

➡ ［キャッチ］ボタンを押すごとに通話の相手を切り替えられます。

一方と通話中、もう一方の相手は 自動的に保留されます。

キャッチホンで入った相手がファクスだったとき

いったん最初の相手に切り替え、電話を切ってもらってください。その後、あとから入ったファクスに切り替え、手動受信の操作をしてください。

手動で受ける➡p35

ただし、手動受信するタイミングによっては、ファクスを受信できないことがあります。

モデムダイヤルインを利用する

モデムダイヤルインを利用すると、1本の電話回線で、2つ以上の電話番号を使えます。

利用申し込みにあたって

モデムダイヤルインを利用するには、NTT東日本またはNTT西日本との契約（有料）が必要です。

・本機はPB信号方式のダイヤルインには対応しておりません。お申し込み時には、モデム信号方式のダイヤルイン（モデムダイヤルイン）を指定してください。
・モデムダイヤルインは、NTTの他のサービスと同時に使えない場合があります。また、一部の地域では、ダイヤルインサービスが利用できないことがあります。詳しくは、NTT東日本またはNTT西日本の窓口などにお問い合わせください。
・**ブランチ（並列）接続では使えません。➡ p14**
・電話番号が複数になっても電話回線は1本のままです。同時に電話をかけたり受けたりすることはできません。
・停電中は、電話もファクスも使えません。
・ダイヤルインサービスが始まっていないときにダイヤルインの登録操作をすると電話が使えなくなることがあります。

ISDN回線を利用している

ターミナルアダプタの機種または設定によっては、本機のダイヤルイン登録が使えない場合があります。このときは、ダイヤルインを「利用しない」（お買い上げ時）のままにしてください。

ダイヤルインの登録 ➡p64
INSネット64を利用するには ➡p65

契約のしかた

契約の際、次の内容をNTT東日本またはNTT西日本に連絡してください。

・ダイヤルインの種類
　モデムダイヤルイン
・電話番号（送出番号）は「下4桁」
　「下4桁」を指定しないと、現在使用している電話番号が変わることがあります。
・ダイヤルインサービスの利用開始日時を確認

窓口：116（無料）
　受付時間　午前9:00～午後5:00

ダイヤルインの動作

電話番号（契約者回線番号）とダイヤルイン追加番号を使い分け、電話用とファクス用の番号として利用できます。

- 電話用の番号に電話がかかってくると、ベルが鳴り、電話／ファクス切替が働きます。切替をしたくないときは、着信モードを電話専用に設定してください。➡ p48
- ファクス用の番号にファクスが送られてくると、ベルは鳴らず、自動でファクスを受信します。

電話用の番号にファクスが送られたとき

電話用の番号にファクスが送られてくると、ベルが鳴ります。電話に出ると「ポー、ポー、ポー…」という音が聞こえたり、または無音になっていますので、ファクスかんたん受信、またはファクスの手動受信の操作をしてください。

ファクスかんたん受信 ➡ p51
手動で受ける ➡ p35

ファクス用の番号に電話がかかってきたとき

ファクス用の番号に電話がかかってくると、ベルは鳴らず、電話に出ることもできません。

留守設定をしているとき

- 電話用の番号にかかってくると、留守電の動作をします。用件の録音もファクスの自動受信も行えます。
- ファクス用の番号にかかってきたときは、ファクスの受信だけできます。用件の録音はできません。
- 子機用の番号にかかってきたときは、子機のベルが鳴ります。用件の録音もファクスの自動受信も行えます。

ダイヤルインの利用例

AさんとBさんの場合を例として、契約および登録例を説明します。

- Aさんの場合
  - 電話用とファクス用の番号を分けたい
  - 電話がかかってきたら、親機も子機も鳴らしたい
- Bさんの場合
  - 子機を1台増設したい ➡ p71
  - 親機と子機2台とで3つの電話番号を使い分けたい
  - ファクス専用の番号は必要ない

1 NTT東日本またはNTT西日本と契約する

契約内容	Aさんの場合	Bさんの場合
契約者回線番号	××× ― aaaa（電話用）	××× ― cccc（親機用）
ダイヤルイン追加番号	××× ― bbbb（ファクス用）	1．××× ― dddd（付属子機用） 2．××× ― eeee（増設子機1用）

2 ダイヤルインサービス開始後に、本機の登録を行う

必要な登録設定（次ページ参照）	Aさんの場合	Bさんの場合
ダイヤルイン	○	○
ファクスセンヨウ	○	×
ファクス	bbbb	―
ナイセン1	aaaa	cccc
キョウツウメイドウ	○＊	×
ナイセン2	aaaa	dddd
ナイセン3	―	eeee

＊ 親機に電話がかかってきたときに、子機のベルも鳴ります。

3 以上で、次のように利用できるようになりました

- Aさんに電話するときは、必ず電話用の番号をダイヤルしてもらってください。ファクス用の番号ではベルが鳴らず、電話に出られません。

動　作	ダイヤルする番号	親機の状態	子機の状態
Aさんに電話	×××―aaaa	ベルが鳴る	ベルが鳴る
Aさんにファクス	×××―bbbb	ベルが鳴らずに、自動受信	ベルが鳴らない
Bさんの親機に電話	×××―cccc	ベルが鳴る	ベルが鳴らない
Bさんの付属子機に電話	×××―dddd	ベルが鳴らない	付属子機のベルだけが鳴る
Bさんの増設子機に電話	×××―eeee	ベルが鳴らない	増設子機のベルだけが鳴る
Bさんにファクス	×××―cccc	ベルが鳴り、自動受信	ベルが鳴らない

ベルが鳴っていない親機や子機で電話に出た

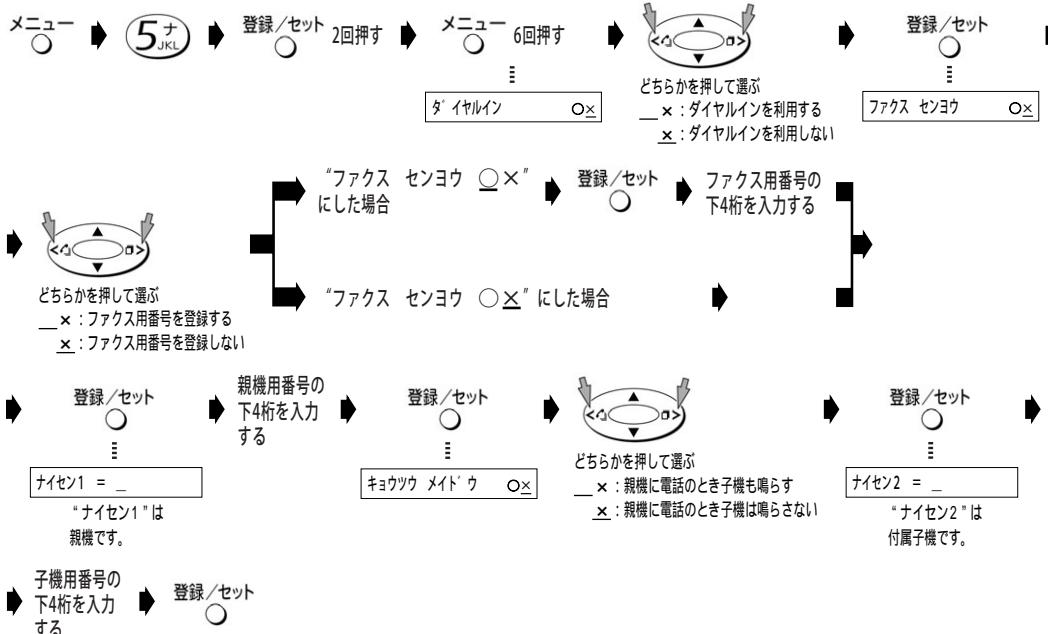
ベルが鳴っているときと同じように電話に出られます。

- ナンバー・ディスプレイをご利用の場合、ダイヤルインの登録よりもナンバー・ディスプレイのプライベートコールが優先されます。このため、電話帳に登録してある相手からかかってきたときは、ベルが鳴る電話機が変わることがあります。

必要な設定

ダイヤルインの登録（お買い上げのとき：利用しない）

・ダイヤルインサービスが開始されたことを確認してから行ってください。サービス開始前に行うと、電話がつながらなくなることがあります。
・ダイヤルインサービスを利用するときは、ナンバー・ディスプレイの契約にかかわらず、ナンバー・ディスプレイの設定を「利用する」にしてください。 ナンバー・ディスプレイの設定➡p56
ナンバー・ディスプレイの設定を「利用しない」にした場合には、ダイヤルインが「利用しない」に設定されます。

➡ 子機用番号の下4桁を入力する ➡ 登録／セット

“ファクスニ　トウロクズミデス”と表示された

親機（ナイセン1）や子機（ナイセン2〜4）に、ファクス用番号とは違う番号を登録してください。

増設子機があるとき

“ナイセン2”（付属子機）用の番号を入力し、［登録／セット］ボタンを押すと、“ナイセン３　＝＿”、“ナイセン4　＝＿”が表示されます。

電話番号を変更したいとき

同じ手順で最初から登録し直してください。

ダイヤルインを利用しない、または利用を解除したいとき

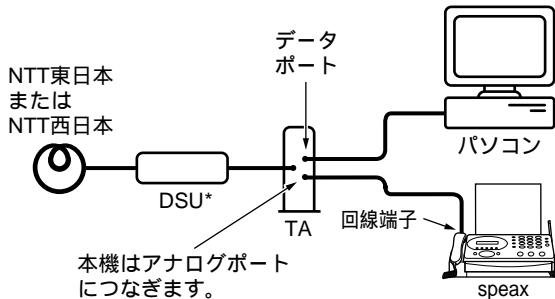
上記操作でダイヤルインを「利用しない」“×”を選び［登録／セット］ボタンを押します。

こんなときは

INSネット64を利用するには

INSネット64を利用すると、インターネットやパソコン通信しながら電話が使えます。

ご利用にあたって

INSネット64を利用するには、NTT東日本またはNTT西日本との契約が必要です（有料）。また、本機のほかに、次の機器が必要となります。
・ISDNターミナルアダプタ（TA）
・デジタルサービスユニット（DSU）

＊：TAの機種によっては、DSUが内蔵されています。
　詳しくは、TAの取扱説明書をご覧ください。

ナンバー・ディスプレイを利用したい

INSナンバー・ディスプレイ対応のTAを使用してください。

ダイヤルインサービスを利用したい

TAの取扱説明書に従い、設定してください。TAの機種または設定によって、本機のダイヤルイン機能が使えないことがあります。この場合は「ダイヤルインを利用しない」に設定してください。

ダイヤルインの登録 ➔p64

相手の番号の前に「0077」などの番号を付けるとき

TAの設定（ダイヤル桁間タイマなど）によっては、かけられないことがあります。

電話帳登録で「ポーズ」を入力する際のご注意

TAの設定（ダイヤル桁間タイマなど）によっては、電話をかけられないことがあります。

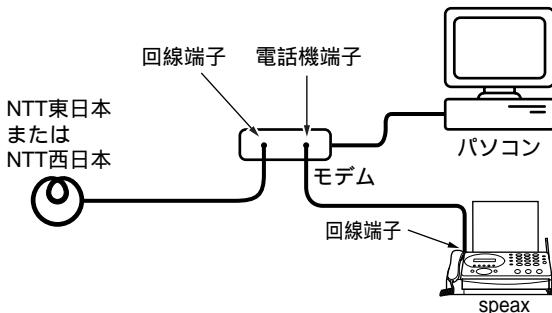
必要な設定

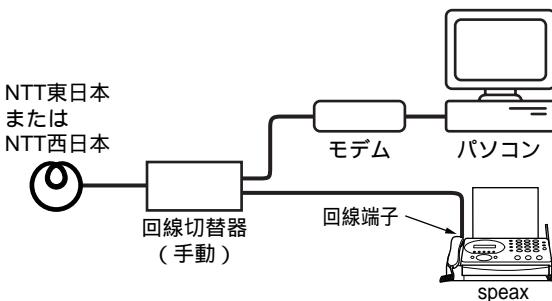
回線種別はTAの取扱説明書をご覧の上、設定してください。

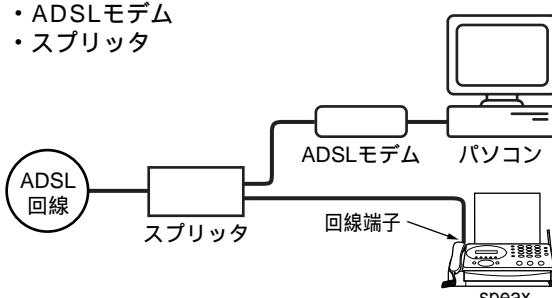
回線種別の自動／手動設定 ➔ p46

パソコンやモデムにつなぐには

INSネット64を利用しないでインターネットやパソコン通信する場合、モデム内蔵パソコンやモデムに本機をつなぎます。

・モデムやモデム内蔵パソコンで電話を受けるようにするときは、本機の「電話／ファクス切替」が働く前に着信するようにしてください。詳しくは、モデムやパソコンの取扱説明書をご覧ください。
・モデムやモデム内蔵パソコンで通信中は、本機を操作しないでください。
・本機で通話中やファクス中には、モデムやモデム内蔵パソコンの通信操作はしないでください。本機での通話や通信が切れます。

回線切替器を使いたい

下図のようにつなぎます。

ADSL回線を利用するには

ADSL回線を利用するには、ADSL接続事業者と、電話共用型（タイプ1）の契約が必要です（有料）。また、本機のほかに、次の機器が必要となります。
・ADSLモデム
・スプリッタ

本機は、スプリッタのTEL（またはPHONE）端子につなぎます。詳しくはスプリッタまたはADSLモデムの取扱説明書をご覧ください。

・誤った接続をすると、通話中の雑音や、本機誤動作の原因となります。ご加入のADSL接続事業者に正しい接続方法をお問い合わせください。

ご利用にあたって

ADSL回線に切り替わったときに、電話やファクスが使えなくなることがあります。そのようなときは、次のことを確認してください。

・ブランチ接続をしていませんか？ブランチ接続をしている場合は、本機以外に接続されている機器を外してください。 ブランチ接続 ➔ p14
・スプリッタを交換することで、電話やファクスが使えるようになる場合があります。詳しくは、ご加入のADSL接続事業者にお問い合わせください。

・ADSL関連機器によっては、正常に動作しないことがあります。お気づきの点がありましたら、ご加入のADSL接続事業者にお問い合わせください。

IP電話機能付きADSLモデムにつないだとき

電話として使うとき

次のようなことが起こるときがあります。
・ナンバー・ディスプレイが正常に動作しない
・携帯電話に電話がかけられない
・特殊な相手先（フリーダイヤルなど）に電話がかけられない

このような場合、本機が正常に動作するかどうか、次の確認作業を行ってください。

1. 本機をADSLモデムから取り外す
2. ADSLモデムを電話コンセントから取り外す
3. 本機を直接、電話コンセントに接続する

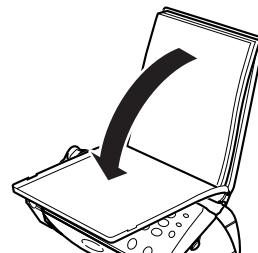
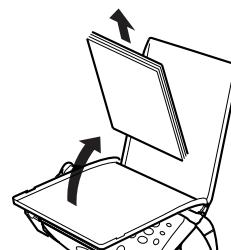
この状態で正常に動作する場合は、本機に異常はありません。ご契約内容の条件やADSLモデムの設定などが原因として考えられますので、ご加入のIP電話事業者にお問い合わせください。

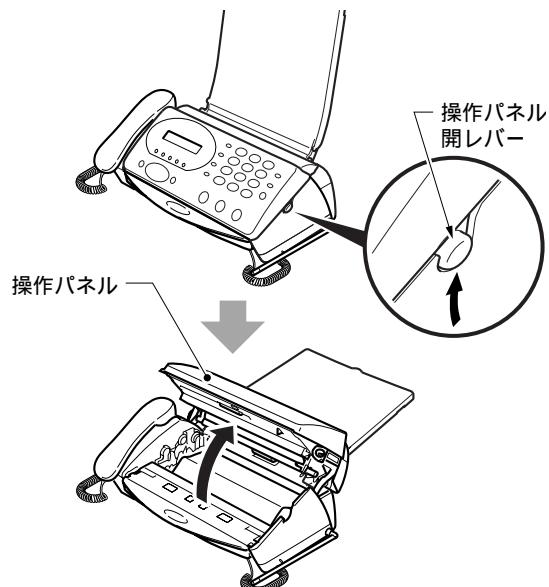
ファクスとして使うとき

ADSL回線との接続状態やインターネットの状態などによっては、ファクスが正常に送受信できないことがあります。ひんぱんに送受信の異常が発生する場合は、一般電話（加入電話）の回線を経由して電話する方法でご使用ください。一般電話（加入電話）の回線を経由して電話する方法はADSLモデムごとに異なります。詳しくは、お使いのADSLモデムの取扱説明書をご覧になるか、ご加入のIP電話事業者にお問い合わせください。

"キロクシガ　ツマリマシタ"と表示されたとき

"キロクシガ　ツマリマシタ"と"ソウサパネル　アケテクダサイ"が交互に表示される場合は、記録紙がつまったか、または記録紙の給紙不良が考えられます。操作パネルを開け、記録紙がつまっているかどうかを確認してください。

1 記録紙カバーを前に倒す

2 記録紙を取り除き、記録紙カバーをおこす

3 操作パネルを開ける

親機右側面にある操作パネル開レバーを矢印の方向に引き上げながら、操作パネルを開けてください。

・作業するときは、操作パネルを一番上まで持ち上げて開いてください。中途半端に開いた状態では、操作パネルの重さで、作業中に閉まることがあります。
・作業中は、指をはさまないように注意してください。

記録紙がつまっていなかった場合

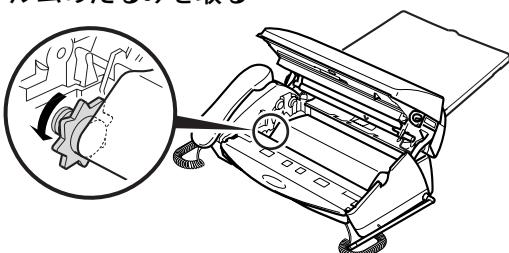
給紙不良です。記録紙給紙用ローラを清掃してください。 記録紙給紙用ローラの清掃 ➡ p70

記録紙がつまっていた場合

1 記録紙を取り除く

つまった記録紙を矢印の方向に引き抜きます。

・記録紙は破れないように静かに取り除いてください。取り除く途中で記録紙が破れてしまったときは、紙片を親機の中に残さないようにすべて取り除いてください。

2 青色ギヤを矢印の方向に回し、インクフィルムのたるみを取る

3 操作パネルを閉じる

操作パネルの両端を、矢印の方向に「カチッ」という音がするまで押し込みます。

操作パネルを閉じると、“インクフィルムヲ　コウカンシタ？”が表示されます。

4 登録／セット を押す

または何もしないで3秒経過する

コウカン　1:ハイ　2:イイエ

5 2カABC を押す

フィルムザンリョウ　：　■■□

6 記録紙をセットする 記録紙をセットする ➡ p18

“キロクシガ　ツマリマシタ”とくり返し表示された

記録紙給紙用ローラを清掃してください。
記録紙給紙用ローラの清掃 ➡ p70

“ソウサパネルガ　アイテイマス”と“インクフィルム　コウカン”が交互に表示されたとき

次のような原因が考えられます。

- ハンドスキャナでコピー中にインクフィルムがなくなったり、インクフィルムがなくなっている状態でハンドスキャナを外すと、この表示が出ます。インクフィルムを交換してください。
  インクフィルムを交換する ➡ p68
  ハンドスキャナを親機から取り外していると、表示が消えませんので親機に戻してください。
- 操作パネルが浮いています。確実に閉めてください。操作パネルがきちんと閉じていないと、原稿づまりや記録紙づまりの原因となります。
- ハンドスキャナを親機から取り外している状態で操作パネルを閉めたり、電源を入れると、表示される場合があります。ハンドスキャナを親機に戻してください。

“ゲンコウガ　ツマリマシタ”と表示されたとき

コピーやファクス送信中に原稿がつまりました。

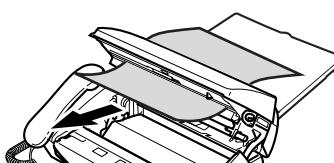
1 記録紙を取り除く

記録紙カセット内にある記録紙を取り除きます。
➡ p66　手順1, 2

2 操作パネルを開ける ➡ p66　手順3

・作業するときは、操作パネルを一番上まで持ち上げて開いてください。中途半端に開いた状態では、操作パネルの重さで、作業中に閉まることがあります。
・作業中は、指をはさまないように注意してください。

3 原稿を取り除く

つまった原稿を矢印の方向に引き抜きます。

4 青色ギヤを矢印の方向に回し、インクフィルムのたるみを取る ➡ 本ページ左側　手順2

5 操作パネルを閉じる ➡ 本ページ左側　手順3

6 登録／セット を押す ➡ 本ページ左側　手順4

または何もしないで3秒経過する

7 2カABC を押す ➡ 本ページ左側　手順5

8 記録紙をセットする

記録紙をセットする ➡ p18

“ゲンコウガ　ツマリマシタ”と“ローラヲ　セイソウシテクダサイ”が交互に表示された

原稿送り用ローラを清掃してください。
原稿送り用ローラの清掃 ➡ p69

インクフィルムを交換する

・交換用インクフィルムは、指定（型名：SP−FA430　）のインクフィルムをお使いください。当社製以外のインクフィルムは使用できません。また、当社製のものであっても、型名：SIF-A4040、SIF-A4030Tのインクフィルムは使用できません。
・指定以外のインクフィルムを使用すると、故障や印字かすれなどの原因となります。
・廃棄時以外は、インクフィルムカートリッジを分解しないでください。破損する場合があります。

インクフィルムカートリッジを取り外す

次の手順でインクフィルムカートリッジ（以降カートリッジと略す）を取り外してください。

1 記録紙を取り除く

記録紙カセット内にある記録紙を取り除きます。

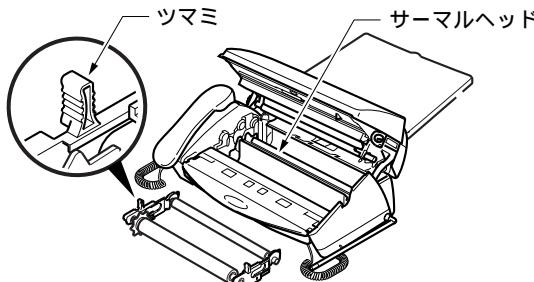
➡p66　手順1, 2

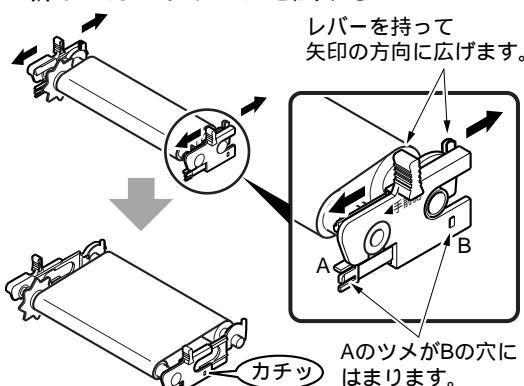
2 操作パネルを開ける　➡p66　手順3

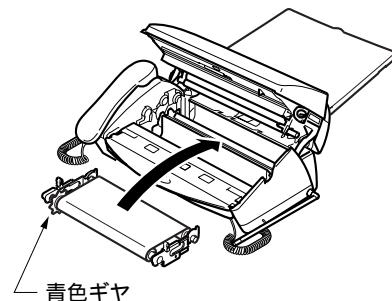
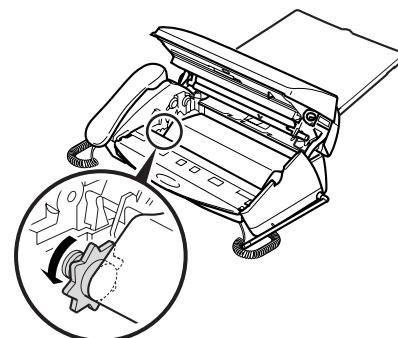
・作業するときは、操作パネルを一番上まで持ち上げて開いてください。中途半端に開いた状態では、操作パネルの重さで、作業中に閉まることがあります。
・作業中は、指をはさまないように注意してください。

3 使用済みのカートリッジを取り外す

カートリッジの左右のツマミをつまんで、取り外してください。

・サーマルヘッドの周辺は高温になっている場合があります。高温時は、手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。
・サーマルヘッド両端の金属部分に手を触れないよう、ご注意ください。

カートリッジを取り付ける

1 新しいカートリッジを広げる

2 カートリッジを取り付ける

青色ギヤが、手前側になるように取り付けてください。

3 青色ギヤを矢印の方向に回し、インクフィルムのたるみを取る

4 操作パネルを閉じる

操作パネルの両端を、矢印の方向に「カチッ」という音がするまで押し込みます。

インクフィルムヲ　コウカンシタ?
コウカン　1:ハイ　2:イイエ

5 登録／セット ○ を押す

または何もしないで3秒経過する

・“２：イイエ”を選ぶと、フィルムの残量が正しく表示されません。

インクフィルム残量を表示する➡p50

6 1ア を押す

フィルムザンリョウ　リセット?
1:リセット　2:トリケシ

7 登録／セット ○ を押す

または何もしないで3秒経過する

・“２：トリケシ”を選ぶと、フィルムの残量が正しく表示されません。

8 1ア を押す

リセット　シマシタ
フィルムザンリョウ　：■■■

9 記録紙をセットする

記録紙をセットする➡p18

インクフィルムカートリッジの処分方法について

- 使用済のインクフィルムには、コピーや受信したときの内容が白く残っています。内容を他の人に見られたくないときは、ハサミなどで切ってから捨ててください。
- 使用済のインクフィルムカートリッジは、お住まいの地域で定められた分別により捨ててください。インクフィルムの芯は紙、フィルム部分はポリエステル、カートリッジはポリスチレン、金属などでできています。

インクフィルム1本でプリントできる枚数は

- テスト用インクフィルム　　　：A4記録紙　約20枚
- 別売インクフィルム（30m）：A4記録紙　約95枚

電源を入れたときやカバーを閉めたとき、品質保証のためインクフィルムの巻き取り（約3cm）を行います。このため、ご使用の状況によっては、プリントできる枚数が少なくなる場合があります。

お手入れのしかた

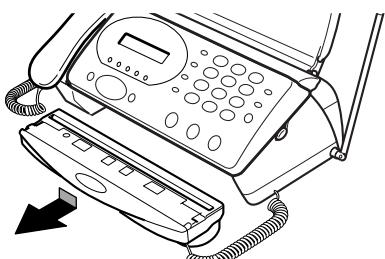
- お手入れ前に親機の電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを抜くと、時計のデータなど、消えてしまう情報がありますので、ご注意ください。　停電したとき➜p72
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となります。

親機・子機の外装の清掃

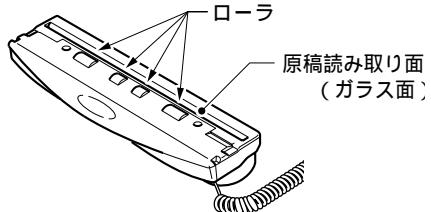
装置表面の汚れは、薄めた台所用中性洗剤に浸した布を固く絞って拭き取り、最後に乾いた柔らかい布で拭いてください。水拭きをするときは、布を固く絞ってから拭いてください。

ハンドスキャナの清掃

原稿を読み取る部分のガラス面が汚れると、コピーや相手の記録画に汚れが出てしまいます。原稿読み取り面は、月に1回くらいの周期で清掃し、いつもきれいにしておいてください。

1 ハンドスキャナを下に押しながら手前に引き抜く

2 ガラス面を柔らかい布で拭く

3 ローラを拭く

水に浸した布を固く絞って、拭いてください。

4 ハンドスキャナを元通りに取り付ける

原稿読み取り面を上に向けて、親機に押し込みます。

原稿送り用ローラの清掃

原稿送り用ローラが汚れると、原稿づまりの原因になります。月に1回くらいの周期で清掃してください。

1 記録紙を取り除く

記録紙カセット内にある記録紙を取り除きます。

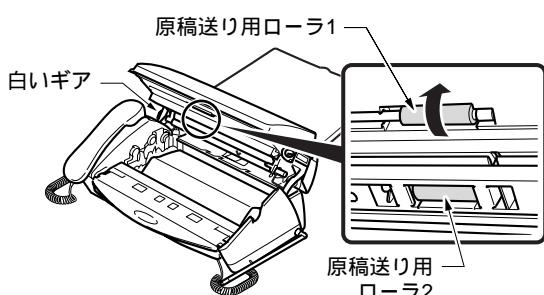
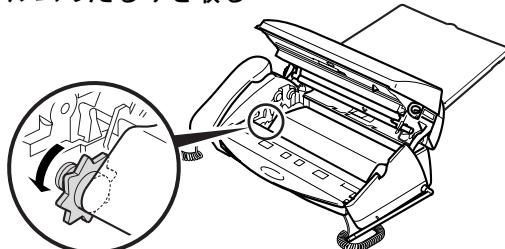
➜p66　手順1, 2

2 操作パネルを開ける　➜p66　手順3

- 作業するときは、操作パネルを一番上まで持ち上げて開いてください。中途半端に開いた状態では、操作パネルの重さで、作業中に閉まることがあります。
- 作業中は、指をはさまないように注意してください。

3 原稿送り用ローラを拭く

水に浸した布を固く絞り、原稿送り用ローラ1を手で矢印の方向に回しながら、原稿送り用ローラ1および2の表面全体を拭きます（ローラ1を回すと、ローラ2も回ります）。

- ローラの軸に取り付けられている白いギヤには潤滑剤が塗布されていますので、触らないようにしてください。

4 青色ギヤを矢印の方向に回し、インクフィルムのたるみを取る

5 操作パネルを閉じる

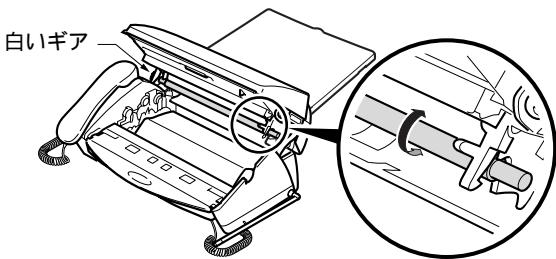
➡ p67左側　手順3

6 記録紙をセットする

記録紙をセットする ➡ p18

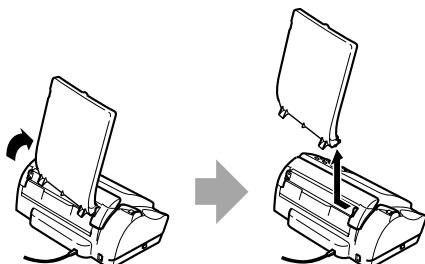
記録ローラの清掃

記録紙がうまく送れないときや、プリントした記録紙が汚れるときは、記録ローラを清掃してください。
水に浸した布を固く絞り、記録ローラを手で回しながら、ローラの表面全体を拭きます。

・ローラの軸に取り付けられている白いギヤには潤滑剤が塗布されていますので、触らないようにしてください。

記録紙給紙用ローラの清掃

長い間使用していると記録紙給紙用ローラに紙の粉などが付いて、うまく送れなくなる場合があります。月に1回くらいの周期で清掃してください。

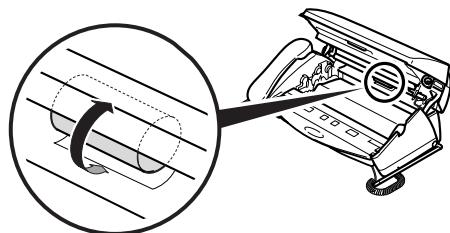
1 記録紙カセットを取り外す

記録紙給紙用ローラを清掃するときは、操作パネルを開ける前に記録紙カセットから記録紙を取り除き、記録紙カセットを取り外してください。記録紙カセットを取り外さないと、記録紙給紙用ローラが隠れてしまい、拭くことができません。

2 操作パネルを開ける

➡ p66　手順3

・作業するときは、操作パネルを一番上まで持ち上げて開いてください。中途半端に開いた状態では、操作パネルの重さで、作業中に閉まることがあります。
・作業中は、指をはさまないように注意してください。

3 記録紙給紙用ローラを拭く

水に浸した布を固く絞り、記録紙給紙用ローラを手で回しながら、ローラの表面全体を拭きます。

子機について

電池パックを交換する

⚠危険

- 子機の充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの液漏れによる周囲の汚染や発熱による火災、破裂によるけがの原因となることがあります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを水や火の中に投入したり、加熱しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックに直接はんだ付けしないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックのコネクタの赤（プラス）・黒（マイナス）を針金などの金属類で接触しない（ショートさせない）でください。火災・感電の原因となります。
- 電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因となることがあります。
- 電池パックのビニールカバー（チューブ）は、はがさないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 万一、電池パックが液漏れして、液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。また、漏れた液が皮膚や衣服に付いたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になります。
- 電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り外し、使用を中止してください。

・電池パックは必ず本機専用のものを使用してください。

電池仕様：SP–N1，2.4V，600mAh

型　名	標準価格
SP-N1（ニカド電池）	1,680円（税抜1,600円）

・新しい電池パックは充電されていません。電池パックを交換したときは、子機を充電器に置いて10時間以上充電してください。
・電池パックにはニカド電池を使用しています。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。交換した電池パックはもちろん、本機を廃棄する際には、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、電池パックを取り出し、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて、お買い上げいただいた販売店、またはお近くの「ニカド電池リサイクル協力店」へお持ちください。

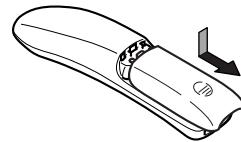
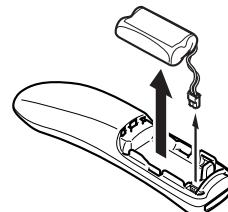
Ni-Cd

・「ニカド電池リサイクル協力店」へのお問い合わせは下記へお願いします。
  - 本機または電池パックをお買い求めいただいた販売店
  - 「（社）電池工業会小形二次電池再資源化推進センターおよび充電式電池リサイクル協力店くらぶ」事務局　（（社）電池工業会ホームページ　http://www.baj.or.jp/　(平成16年6月現在)をご参照ください。）
・電池パックの寿命は、使用の有無にかかわらず、約2年です。

・電池パックの購入については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
・電池パックを交換しても、電話帳に登録した電話番号は消去されません。

・電池パックを入れていない状態で、子機を充電器に置かないでください。
・電池パックは必ず本機専用のもの（SP-N1）を使ってください。
・電池パックのコードを、強くひっぱらないでください。また、電池カバーではさまないように注意してください。故障の原因になります。

1 電池カバーを外す

電池カバーを下に押しながら手前に引くと外れます。

2 古い電池パックを取り出す

3 新しい電池パックを取り付ける

電池パックを取り付ける ➔ p16

4 充電器に置いて充電する

新しい電池パックは充電されていません。10時間以上、充電してください。

子機を増設するとき

増設する子機は別途、本機をお買い上げいただいた販売店で、お買い求めください。

増設できる子機

必ず下記の型名をご指定ください。指定以外の子機はご使用になれません。

型　名	標準価格
SP-ZK30（カナ表示）	13,650円（税抜13,000円）

増設できる子機の台数

最大2台まで増設できます。付属の子機と合わせて、合計3台となります。

子機を使える状態にするには

増設子機を使うためには、識別番号（IDコード）の登録が必要です。増設子機に同梱の説明書に従って増設を行ってください。

エラーコードが表示されたとき

ファクス送信中や受信中に異常があると、ディスプレイに“ツウシン　イジョウ”などのアラームが表示されます。

・送信時の異常の場合 … 不達レポートが自動でプリントされます。 ➡ p34
・受信時の異常の場合 … 通信管理レポートをプリントする操作を行ってください。 ➡ p54

各レポートの“ツウシン　ケッカ”欄に記録される2桁の英数字（エラーコード）で、下表より異常内容と対処方法を確認してください。

■エラーコード表

エラーコード	内容と対処方法	参照ページ
40	記録紙がなくなりました。記録紙を入れてください。	p18
41	記録紙がつまりました。取り除いてください。	p66
45	メモリがいっぱいになりました。不要な留守電の用件を消去するか、メモリ受信を「しない」に設定してください。	p42、p52
46	原稿がつまりました。セットし直してください。	p67
47	操作パネルが開いています。閉めてください。	p67
71	相手先から応答がないため、送信できませんでした。相手先に確認してください。	―
74,75	電話回線に雑音が多くて送信できませんでした。もう一度送り直してください。	―
76,77	送信の途中で相手先が受信を終了してしまいました。相手機の記録紙がなくなった、もしくは、記録紙がつまった可能性があります。相手先に確認してください。	―
92,96,97,98	受信の途中で相手先が送信を終了してしまいました。相手先で原稿がつまった可能性があります。相手先に確認してください。	―
BA	インクフィルムがなくなりました。新しいインクフィルムに交換してください。	p68

なお、上記以外にも、電話回線や相手先での異常が考えられます。再度送受信してみてください。

停電したとき

停電したときや親機の電源プラグをコンセントから抜いたときは、親機・子機ともに使用できません。
停電したとき、消えてしまう情報と消えない情報があります。

消えてしまう情報	消えない情報
・ハンドスキャナ送信時のメモリに記憶されている文書 ……➡ p38 ・親機に記憶されているリダイヤルの電話番号 ……➡ p21 ・時計のデータ ……➡ p46 ・ナンバー・ディスプレイ利用時、親機に記憶されている着信データ ……➡ p59 ・画質モード（“フツウ”に戻ります）……➡ p33	・メモリ代行受信文書 ……➡ p35 ・留守番電話に録音した自作応答メッセージ ……➡ p42 ・留守番電話に録音された用件 ……➡ p41 ・通話録音した内容 ……➡ p30 ・通信管理レポート ……➡ p54 ・子機に記憶されている電話帳・リダイヤル・着信データ ……➡ p22、p27、p59 ・インクフィルム残量 ……➡ p50、p67、p68 ・登録した電話番号や各種の設定値

停電が復旧したとき

・停電が復旧すると、本機は自動的に使用できる状態に戻ります。
・停電したときは、時計が初期化され、2004年1月1日0時0分になります。
この場合は、時刻をセットしてください。時刻をセットする➡ p19

困ったときは（Q&A）

	こんなときは	内　容	参照ページ
待機中	ディスプレイに何も表示されない	• 電源プラグは電源コンセントに差し込んでありますか？	p16,19
	“キロクシガ　ツマリマシタ”“ソウサパネル　アケテクダサイ”と交互に表示が出た	• 記録紙がつまっていませんか？ • 記録紙がつまっていない場合は、記録紙の給紙不良です。記録紙給紙用ローラを清掃してください。 • 記録紙がつまっている場合は、操作パネルを開けて記録紙を取り除いてください。	p66 p70 p67
	“フツウシヲ　イレテクダサイ”と表示が出た	• 受信した文書や、自動で出力されるレポートのプリント待ちです。記録紙をセットしてください。	p18
	ハンドスキャナが外れていないのに“ハンドスキャナ　A4　チイサイ”が表示される	• 操作パネルがしっかり閉まっていないと、表示される場合があります。操作パネルを閉め直してください。	p67
電話（親機／子機）	受話器から何も聞こえない	• 電源プラグは電源コンセントに差し込んでありますか？ • 電話回線が接続されていますか？ • 受話器のコードは接続されていますか？ • 子機を使用中ではありませんか？	p16,19 p18 p18 p21
	電話を受けることはできるが、かけることができない	• 回線種別の設定が合っていますか？ • ターミナルアダプタを使用していませんか？	p46 p65
	電話をかけることはできるが、受けることができない	• ナンバー・ディスプレイやダイヤルインの契約をしている場合は、必ず「利用する」に設定してください。 • ターミナルアダプタを使用していて、ターミナルアダプタ側でダイヤルインの設定をしている場合は、本機側のダイヤルインの設定を「利用しない」にしてください。	p56,64 p64
	ベルが鳴らない	• ベルの音量調整が「切」になっていませんか？	p30
	ベルの音が小さい（大きい）	• ベルの音量を調整してください。	p30
	ベルが鳴り、電話をとったが何も聞こえない	• 相手がファクスかもしれません。親機の［スタート／コピー］ボタン（子機では［内線］ボタンを押したあと［6］）を押してください。	p35
	相手の声が聞き取りにくい	• 受話音量を調整してください。	p30
	トーン（プッシュ）信号の送出のしかたは？	• p31 をご覧ください。	−
	着信ベル／呼出ベルの意味がわからない	• p34、49 をご覧ください。	−
	公衆電話で電話をかけた相手から、応答もしないのに通話料金がかかると言われた また、呼出音が少しおかしいと言われた	• p34、49 をご覧ください。	−
	電話をかけたとき、相手に自分の電話番号が表示されるのか？	• 相手が NTT 東日本または NTT 西日本のナンバー・ディスプレイを契約している場合、自分の電話番号を通知したときに表示されます。 • ファクス送信のとき、お客様が自分の電話番号を登録していたら、その番号が相手機に表示されます。	p55 p47
	親機から子機を呼び出せない 親機に次の表示が出た “デンパ　シヨウチュウ” “コキ　オウトウ　アリマセン” 子機から、親機や他の子機が呼び出せない	• 子機を親機に近づけてみてください。 • 親機のアンテナの向きを変えてみてください。 • 親機あるいは子機の近くに電気製品や電子機器がありませんか？約 2m 以上離してご使用ください。 • 近くで他のコードレス電話機を使用していませんか？ • 子機は充電されていますか？	p15 p19 p14,15 p15 p17
	電話をかけてから呼出音が聞こえ始めるまでに時間がかかる	• 相手の方がナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、接続までに時間がかかることがあります。	p55
	“カイセン　カクニン”と表示が出た	• 電話回線接続コードが抜けていませんか？ • 話し中に相手が電話を切り、一定の時間が経つと表示されます。	p18
	受話器が温かい	• コピーやファクスを送受信したあとは、受話器が温かくなることがありますが、問題なくご使用いただけます。	−

	こんなときは	内　容	参照ページ
電話（子機）	電話がかけられない（「ツー」という音が聞こえない）	・親機の電源プラグは、電源コンセントに差し込んでありますか？ ・子機は充電されていますか？ ・親機に電話回線が接続されていますか？ ・親機から離れすぎています。親機に近づいてください。 ・親機が通話中、またはファクスの送信／受信、コピーをしていませんか？ ・[通話] ボタンを押しましたか？	p19 p17 p18 p15 p21 p21
	ベル（呼出音）が鳴らない	・ベルの音量調整が「OFF」になっていませんか？ ・親機に近づいてみてください。 ・親機のアンテナの向きを変えてみてください。 ・子機は充電されていますか？	p31 p15 p19 p17
	相手の声が聞き取りにくい	・受話音量を調整してください。 ・いつも聞き取りにくいときは、受話音量を全体的に大きく設定してください。	p31 p50
	相手からこちらの声が聞き取りにくいと言われる	・送話音量を全体的に大きく設定してください。	p50
	通話中に声がとぎれたり雑音が入る	・子機は電波を使っているため、通話中に雑音が入ることがありますが、故障ではありません。 ・親機に近づいてみてください。 ・親機のアンテナの向きを変えてみてください。 ・テレビやラジオなどの電気機器から離れてみてください。 ・蛍光灯が近くにあったら離してみてください。 ・子機の近くに携帯電話などの充電器があったら離してみてください。	p15 p15 p19 p14, 15 p14, 15 p14, 15
	通話中に「ピッピッピッ…」という音が鳴り、[電池マーク] が点滅した	・電池の充電残量が少なくなっています。充電をしてください。	p17
	通話中にすぐに電池がなくなる	・電池パックを交換してください。	p71
	充電器に置いたとき、[切] ボタンが点灯しない	・充電器のプラグを電源コンセントに差し込んでありますか？ ・充電器に正しく置いてください。	p16 p17
	他のファクシミリの子機を本機の子機として使えるのか？	・使えません。子機を増設する場合は指定の増設コードレス電話機セットをお買い求めください。	p71
	増設子機が使えない	・増設子機に対する識別番号（ID コード）の登録が必要です。増設子機に同梱の説明書に従って増設を行ってください。	p71
	子機で通話中、突然通話が切れて、親機が保留状態になる	・親機に近づいて使用してください。 ・電池パックを交換してください。	p15 p17, 71
ファクス（コピー）	コピーが白紙になる	・コピーする面を**裏向き**にして原稿をセットしましたか？	p20
	コピー中に「ピーピーピーピーピー」という音が鳴った	・[ストップ] ボタンを押すと、音が止まります。 ・原稿がつまっています。 ・記録紙の給紙不良です。記録紙給紙用ローラを清掃してください。 ・記録紙がつまったか、なくなっています。	 p67 p70 p18, 66
	コピーがかすれた コピーがうすい	・原稿読み取り濃度を濃くして、もう一度コピーを取ってください。	p50
	コピーが鮮明でない	・原稿読み取り面を清掃してください。 ・当社指定の記録紙を使用してください。	p69 p13, 79
	コピー画の左端または右端が欠ける（シングルモードコピー ➔ p36）	・A4 の原稿のとき、原稿セットガイドを B4 の位置のままで、左右どちらかに合わせてコピーすると、プリント結果が約 2 ～ 3cm 欠けます。原稿セットガイドは必ず合わせてください。	p32
	コピー画面の両端または片側に、数本黒い線が印刷される（マルチモードコピー ➔ p36）	・A4 の原稿のとき、原稿セットガイドを B4 の位置のままで、左右どちらかに合わせてコピーすると、プリント結果が縮小され、両端または片側に黒い線がプリントされる場合があります。	p32
	記録紙の裏面が汚れる	・記録ローラ、記録紙給紙用ローラを清掃してください。	p70
	B4 サイズの原稿をコピーすると、両端が欠ける	・シングルモードコピーでは、A4 サイズ幅でのプリントとなり、両端が印刷されません。 B4 → A4 に縮小してプリントしたい場合は、マルチモードコピーまたはハンドスキャナコピーで行ってください。	p36

	こんなときは	内　容	参照ページ
ファクス（送信）	原稿をセットすると“ゲンコウガ　ツマリマシタ”の表示が出る 原稿をセットしたのに“ゲンコウガ アリマセン”の表示が出た 原稿が送り込まれていかない	• いったん操作パネルを開け、操作パネルを閉じてください。 • 原稿送り用ローラを清掃してください。 • 原稿が自動的に引き込まれるまで軽く差し込んでください。 • 原稿が厚すぎます（ハンドスキャナを使って送信してください）。 • 原稿が薄すぎます（ハンドスキャナを使って送信してください）。 • 原稿が小さすぎます（ハンドスキャナを使って送信してください）。	p66 p69 p32 p32,37 p32,37 p32,37
	原稿が斜めに入った	• 原稿を取り除き、もう一度やり直してください。 • 原稿セットガイドを原稿の幅に合わせてください。 • 原稿送り用ローラを清掃してください。	p67 p32 p69
	原稿の読み取り中に「ピーピーピーピーピー」という音がして止まってしまい、“ゲンコウガ　ツマリマシタ”と“ローラヲ　セイソウシテクダサイ”という表示が交互に出た	• 原稿を取り除き、もう一度やり直してください。 • 原稿送り用ローラを清掃してください。	p67 p69
	原稿が送られず、“アイテサキ　ムオウトウ”と表示が出た	• 相手先の電話番号を確認してください。 • 相手先が電話に出ません。しばらくしてから、もう一度かけ直してください。 • 相手先のファクスが受信できない状態になっています。相手先に確認して、もう一度送り直してください。	ー
	原稿が送られず、“アイテサキ　ハナシチュウ”と表示が出た	• 相手先が話中です。しばらくしてから、かけ直してください。 • 回線が混み合っています。しばらくしてから、かけ直してください。	ー
	何回送信しても“サイハッコ　マチ”になる	• 相手が話中です。 • 電話がかけられるかを確認してください。 • 手動で送信してみてください（手動とは、電話をかけて話をして、そのあとに双方がファクスを送る／受ける操作をする方法です）。	p33 p21 p34
	送信中に「ピーピーピーピーピー」という音が鳴り出した	• 相手のファクスに記録紙切れなどが起きたため、送信が中断されました。相手先に確認して、もう一度送り直してください。	ー
	送信に時間がかかる	• 画質モードの設定が「コマカイ」、「シャシン」のときは、「フツウ」や「チイサイ」のときに比べ、送信に時間がかかります。 • 原稿に黒い部分が多いときや原稿の裏に印刷があるときは、送信に時間がかかります。 • 回線の状態が悪い場合は、送信に時間がかかることがあります。	p33
	モーター音が大きくなることがある	• 送信に時間がかかるようなときには、モーター音が若干大きくなることがありますが、故障ではありません。	p33
	海外への送信ができない	• 海外へ送信するときは、国内と違い接続に時間がかかります。手動で送信するのが確実です（手動とは、電話をかけて話をして、そのあとに双方がファクスを送る／受ける操作をする方法です）。 • 海外通信の設定をすると、エコーキャンセルや、ファクス信号を長く送出するため、海外との通信がしやすくなります。	p34 p51
	送ったファクスが縮小された	• 相手機（受信側）がA4サイズの記録紙を使用している場合、B4サイズの原稿を送ると自動的にA4に縮小して送信されます。 • A4の原稿のとき、原稿セットガイドをB4の位置のままで、原稿をガイドの左右どちらかに合わせて送信すると縮小して送信され、記録面の両端または片側に黒い線がプリントされます。原稿セットガイドを原稿の幅に合わせてください。	p33 p32
	送受信でサイズが違う	• ファクスの場合は、送受信で若干の差が出ます。原稿／記録紙の送り誤差（原稿読み取りおよび受信画の伸び縮み）があります。 • 1つ上の項目も参照してください。	ー
	送信した原稿が相手先で白紙になる	• 原稿を表裏逆にセットしませんでしたか？送る面を「裏向き」にセットし、もう一度送り直してください。 • 相手先の記録紙の向き（表裏）が正しくないかもしれません。相手先に確認してもう一度送り直してください。	p32

	こんなときは	内　容	参照ページ
ファクス（送信）	相手先で受信した記録がかすれた 相手先で受信した記録がうすい	・原稿読み取り濃度を濃くして、もう一度送り直してください。	p50
	相手先で受信した記録の状態が鮮明でない	・本機でコピーを取ってください。コピーが鮮明でないときは、原稿読み取り面を清掃してください。コピーが鮮明なときは回線または相手側に原因があると思われます。もう一度送り直してください。 ・通信中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送り直してください。 ・画質モードを変えて送ってみてください。	p36,69 p62 p33
	相手先で受信した記録に黒いすじが入る	・本機でコピーを取ってください。コピーにも黒いすじが入るときは、原稿読み取り面を清掃してください。コピーが正常なときは、相手側に原因があると思われます。もう一度送り直してください。	p36,69
ファクス（受信）	“シバラク　オマチクダサイ”と表示が出たままになった	・電源プラグを入れたまま、しばらく使用を控えてください。	ー
	“キロクシガ　ツマリマシタ”と表示が出た	・記録紙の給紙不良です。記録ローラ、記録紙給紙用ローラを清掃してください。 ・記録紙がつまっています。	p70 p66
	“フツウシヲ　イレテクダサイ”と表示が出た	・記録紙がなくなっています。	p18
	ハンドスキャナが外れていないのに“ハンドスキャナ　A4　チイサイ”が表示される	・操作パネルがしっかり閉まっていないと、表示される場合があります。操作パネルを閉め直してください。	p67
	ベルが鳴り続けて、自動的に受信できない	・受信したファクスをプリント中は受信できません。 ・コピー中や登録中のときは、[ストップ] ボタンを押して、コピーや登録をやめてください。 ・相手先がファクス信号を出さないタイプのときは自動受信できません。手動受信を行ってください。 ・着信ベル回数が 8 回以上に設定されている場合、相手が自動送信のファクスのときは受信できないことがあります。 ・着信モードを電話専用に設定しているときは自動受信できません。 ・留守番電話などで、録音された用件によってメモリがいっぱいのときは、ベルが鳴り続けて受信できません。不要な用件を消去してください。	 p35 p49 p48 p42
	受信中に「ピーピーピーピーピー」という音が鳴り出した	・[ストップ] ボタンを押すと、「ピー」という音が止まります。 ・記録紙の給紙不良です。記録ローラ、記録紙給紙用ローラを清掃してください。 ・記録紙がつまったか、なくなっています。 ・インクフィルムがなくなっています。 ・相手のファクスに原稿づまりなどが起きたため、受信が中断されました。相手先に確認して、もう一度送り直してもらってください。	 p70 p18,66 p68
	受信した記録紙が白紙になる	・相手先が原稿を表裏逆にセットしたかもしれません。相手先に確認してください。	ー
	受信した記録紙のほかに白紙が出た	・送信側で原稿を読み取る際、本来の長さより伸びたり縮んだりすることがあります。読み取りが伸びた場合に、受信側で余白部分を 2 枚目と認識して白紙の記録紙を出力することがあります。 ・受信縮小率を 100% に設定している場合は、記録紙が 2 枚に分かれ、2 枚目が白紙になることがあります。	 p51
	受信した画像が鮮明でない	・通信中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送り直してもらってください。 ・本機でコピーを取ってください。コピーが鮮明なときは、回線または送信側の異常です。相手先に連絡して、もう一度送り直してもらってください。	p62 p36
	受信した記録紙に黒いすじが入る	・本機でコピーを取ってください。コピーに黒いすじが入らないときは、回線または相手側に原因があると思われます。相手先に連絡してもう一度送り直してもらってください。 ・コピーに黒いすじが入るときは、speax（スピークス）インフォメーションセンターにご連絡ください。	p36 p80

	こんなときは	内　容	参照ページ
ファクス（受信）	記録紙を入れるたびに、同じ内容が印刷される	• A4長を超える原稿を受信した場合、記録紙が2枚以上に分割されます。 このとき、記録紙が1枚しかセットされていないと、プリント中に記録異常となり、記録紙を追加しても、はじめからプリントし直します。 常に多めに記録紙をセットしておいてください。	−
	記録紙がつまる 記録紙が送られない	• 当社指定の記録紙を使用してください。 • セットできる枚数は 20 枚までです。 • 記録紙を補充するときは、記録紙カセットに残っている記録紙を全て取り出し、追加する記録紙と合わせてよくさばいたあと、先端をそろえてセットしてください。 • しわ、折れのある記録紙、湿っている記録紙などは使用しないでください。 • 記録ローラ、記録紙給紙用ローラを清掃してください。	p13, 79 p18 p18 p13 p70
	記録紙が一度に複数枚送られる	• 当社指定の記録紙を使用してください。 • 記録紙はよくさばいてください。 • 記録紙を記録紙カセットに入れるときは、先端をそろえて、そっと置いてください（奥まで差し込まないでください）。 • 記録紙を補充するときは、記録紙カセットに残っている記録紙を全て取りだし、追加する記録紙と合わせてよくさばいたあと、先端をそろえてセットしてください。 • しわ、折れのある記録紙、湿っている記録紙などは使用しないでください。	p13, 79 p18 p18 p18 p13
	プリントした記録紙が汚れるとき	• 記録ローラ、記録紙給紙用ローラを清掃してください。	p70
	ファクスの送信はできるが、受信ができない	• 同じ回線にモデムが接続されていませんか？モデムの電源を OFF にしてテストしてください。 • 応答メッセージや通話録音、留守電の用件でメモリがいっぱいになっていると、メモリ受信ができません。不要な用件などを消去してください。	p65 p42
	メモリオーバーによる通信異常が多発する	• 本機は、ファクス受信中にインクフィルムや記録紙がなくなってもメモリ代行受信が働くように、いったんメモリに蓄積しながらプリントしています。ただし、受信できるメモリ容量を超えるデータ量の原稿が送られてくると、メモリオーバーとなり受信できません。このようなことがひんぱんに起こるときは、以下の操作を行ってください。 - 不要な用件を消す - メモリ受信「しない」に設定する	p42 p52
	海外からの受信ができない	• 国によってはかなり回線状態が悪い場合があり、受信できないことがあります。 • ファクス信号を出さない装置からの場合、留守設定にしてください。無音検出機能で受信できます。 • コールバックサービスをご利用のときは、送受信の手順などが違う場合があります。サービス提供会社などにお問い合わせください。	p41
	海外からファクスを受けるときは、常に「海外通信する」に設定しておく方がよいのか？	• 海外通信の設定は、ファクスを送るときの機能です。ファクスを受けるときは関係ありません。	−
	ファクスかんたん受信ができない	•「ファクスかんたん受信をする」に設定されていますか？ • 受話器から「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください」というメッセージを聞いてから、受話器を戻してください。メッセージが流れる前に受話器を戻すと回線が切断されます。 • 周囲に騒音などがありませんか？ • 相手がファクス信号を出さない機種の場合は、ファクスかんたん受信はできません。親機の [スタート／コピー] ボタンを押してください。子機では［内線］ボタンを押したあとに［6］を押してください。 • 受信したファクスをプリント中は受信できません。	p51 p35 p35
	A4 の原稿を受信しているが、縮小されてしまう	• 相手先（送信側）で原稿の大きさにきちんと原稿セットガイドを合わせて送ったか確認してみてください。 • 受信縮小率を 93%、90%、85%に設定していませんか？	p51
	記録紙、インクフィルムがなくなったときはどうなるのか？	• 記録紙、インクフィルムがなくなったページからメモリ代行受信します。	p35
	ファクス情報サービスの取り出しかたは？	• p36 をご覧ください。	−
	子機で出たときのファクスの受信方法は？	• p35 をご覧ください。	−

	こんなときは	内 容	参照ページ
留守番電話	留守設定ができない	・用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。	p42
	留守設定にしているが、ベル回数を常に一定にしたい	・「トールセイバしない」に設定すると、設定した回数だけ着信ベルが鳴ります。	p40,45
	留守番電話の内容が聞こえなくなってしまった（用件件数は表示されている）	・モニタスピーカ音量が「切」になっています。	p30
	留守設定時に自動送信で送られたファクスを受信できない	・着信ベル回数を７回以下に設定してください。	p49
	外出先から操作（リモート操作）できない	・留守設定にしてありますか？ ・パスワードは登録しましたか？ ・プッシュ信号の出せる電話機で操作していますか？ ・「リモート操作する」に設定してありますか？	p41 p43 p43 p43
	用件転送は６秒以上メッセージが録音されないと転送されないのか？	・転送されません。内容のない用件が転送されるのを防止しています。	p44
	応答メッセージが流れない	・着信中に［留守］ボタンを押したとき、留守設定はされますが、スピーカからメッセージは流れません。	p41
ハンドスキャナ	“ハンドスキャナ　サイセット”と表示が出た	・ハンドスキャナを取り外し、もう一度セットしてください。	p37
	ハンドスキャナでコピーできない	・普通に原稿をセットしてコピーできますか？ ・凹凸のある原稿を読み取っていませんか？	p36 p37
	読み取り中に「ピッピッ…」という音がした	・読み取りが速すぎます。ゆっくり動かしてください。	p38
	記録位置がズレる	・原稿を基準線と読取位置マークに合わせてください。	p37
	ハンドスキャナで読みとると、拡大または縮小コピーになる	・拡大／縮小の設定を確認してください。	p39
いろいろなサービス	キャッチホンの操作は？ キャッチホンサービスを受けた場合のファクスの使用上の問題点は？	・p62 をご覧ください。	ー
	停電時にダイヤルイン機能は使用できるか？	・使えません。	p62
	ダイヤルインサービスを利用しているが、用件転送はできるか？	・用件転送はできます。	ー
	NTT 東日本または NTT 西日本のボイスワープ（転送サービス）に加入したが、電話への転送ができるか？	・着信ベル回数を、ボイスワープ（転送）するまでに鳴らすベル回数より多い回数に設定してください。つまり、本機が自動的に回線を接続する前にボイスワープ（転送）するようにしなければなりません。 ・ボイスワープに加入すると、相手が電話の場合もファクスの場合も転送されるので、ファクスの自動受信はできません。	p49
	ナンバー・ディスプレイに加入し、使用しているが、着信データが親機には残るが、子機に残らないときがある	・子機が親機の電波の届かない場所に置かれていませんか？子機を親機に近づけてみてください。 ・子機の呼び出しが行われる前に親機で電話に出た。 ・着信拒否やプライベートコール設定により、子機の呼び出しが行われなかった。	p15 p22 p57,58
接続方法	ホームテレホンまたはビジネスホンにファクスを接続できるか？	・接続できません。	ー
	パソコンと接続しているが、ファクスの受信ができない	・p65 をご覧ください。	ー
	パソコンと接続しているが、時々ファクスが動作し、パソコン通信ができない	・パソコン、モデムの雑音電波で、ファクスが誤動作しています。装置を離して置いてみてください。 ・パソコン通信の信号の影響でファクスが誤動作しています。切替器により装置を分離してください。	p14 p65
その他	“ゲンコウガ　ツマリマシタ”と表示されるが、原稿が取れない	・操作パネルを開け、原稿をゆっくりと引き抜いてください。	p67
	発信元登録で電話番号を入れたが、登録されない	・数字は文字入力一覧表に従って入力してください。ダイヤルボタンの数字ではありません。	p91
	スピークスのどのボタンを押しても何も反応しない	・親機の場合は、電源プラグを電源コンセントからいったん抜いて、再度差し込んでください。 ・子機の場合は、電池パックのコネクタをいったん抜いて、再度取り付けてください。	p19 p71
	操作を間違えた	・p20 をご覧ください。	ー

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

仕様

ファクシミリ

原稿サイズ	最大：257（幅）× 1000（長さ）mm 最小：128（幅）× 128（長さ）mm
記録紙サイズ	普通紙 ・A4 サイズ（210 × 297 mm） ・厚さ 0.08 〜 0.1mm
記憶容量 ＊1	A4（700 文字程度）の原稿で約 25 枚（最大 10 文書）
有効読取幅	B4 のとき：250 mm A4 のとき：206 mm
有効記録幅	205 mm
走査方法	CCD による原稿移動型平面走査、または、ハンドスキャナ移動による平面走査
走査線密度	主走査 8 ドット /mm 副走査 コマカイ：15.4 line/mm チイサイ：7.7 line/mm フツウ：3.85 line/mm
通信モード	G3/ECM ＊2
通信速度	9600/7200/4800/2400 bps
電送時間 ＊3	G3：約 27 秒　ECM：約 12 秒
記録方式	・熱転写記録方式
適用回線	・一般電話回線 ・モデムダイヤルイン回線 ・NCC 回線
自動受信	有（電話 / ファクス自動切替機能内蔵）
電　源	AC 100 V　50/60 Hz
消費電力	待機時　：約　0.5 W 送信時　：約 15　W（標準的原稿） 受信時　：約 16　W（標準的原稿） コピー時：約 21　W（標準的原稿） 最大時　：約 90　W
直流抵抗	107 Ω（20 mA）
外形寸法	約 336（横幅）× 223（奥行き）× 133（高さ）mm（突起部を除く）
質　量	約 3.3 kg（記録紙、インクフィルムを除く）
使用環境	温度：5 〜 35 ℃ 湿度：35 〜 85 %
推奨環境	温度：15 〜 30 ℃ 湿度：35 〜 70 %

・本機の外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。
・本機を設置する場所が、NTT東日本またはNTT西日本の交換機施設から離れていると、使用できないことがあります。NECフィールディング（株）パーソナルコールセンターにご相談ください。

➔p80

コードレス電話

使用可能距離	見通し距離：約 100 m
使用周波数帯	250 MHz / 380 MHz 帯
送信出力	10 mW（FM）
〈子　機〉	
電　源	DC 2.4 V（専用ニカド電池使用）
電池充電時間	約 10 時間
電池持続時間	連続待受時：約 200 時間 ＊4 連続通話時：約　6 時間
外形寸法	約 46（横幅）× 43（奥行き）× 185（高さ）mm （突起部を除く）
質　量	約 150 g（電池パックを含む）
〈子機充電器〉	
外形寸法	約 76（横幅）× 100（奥行き）× 60（高さ）mm
質　量	約 155 g（電源コード含む）
消費電力	約 1.0 W（充電時）
電　源	AC 100 V　50/60 Hz

・充電端子のない無接点充電方式です。

留守番電話

録音方式	DSP 方式
最大録音時間	1 件につき 3 分
合計録音時間	約 15 分（標準音声）
最大録音件数	30 件
応答メッセージ	自作：2　固定：1

＊1：記憶容量は、留守電の応答メッセージや用件、通話録音、メモリ代行受信などを含むすべての記憶容量となります。
＊2：メモリ受信「しない」に設定（➔ p52）している時の受信は、G3モードになります。
＊3：電送時間は、A4判700字程度の原稿を画質モード「フツウ」（8×3.85line/mm）、通信速度9600 bpsで送ったときの時間です。これは、画像情報の電送時間のみを示しており、通信の制御時間は含まれません。
実際の通信時間は、原稿の内容、相手機種、回線の状態により変化します。
＊4：待受時とは、充電が完了したあと子機を充電器から外し、一度も通話しない状態のことです。通話したり、着信ベルが鳴ったりした場合には、待受時の電池持続時間が短くなります。

操作早わかりガイド

親機で

：受話器を取る　：受話器を戻す　：ボタンを押す

電話

電話をかける	受話器を取る ▶ 相手先番号 ▶ 通話 ▶ 受話器を戻す
オンフックでかける	オンフック ▶ 相手先番号 ▶ 受話器を取る ▶ 通話 ▶ 受話器を戻す
リダイヤルする	▶ 相手先を選ぶ ▶ 受話器を取る ▶ 通話 ▶ 受話器を戻す
電話を受ける	着信音（ベル）▶ 受話器を取る ▶ 通話 ▶ 受話器を戻す
保留する	通話中 ▶ 保留/内線 ▶ 受話器を戻す
通話に戻る	保留中 ▶ 受話器を取る ▶ 通話
子機で話す	保留中 ▶ ▶ 通話 ▶ 子機で通話 ▶ または 切
転送 子機へ	外線と通話中 ▶ 保留/内線 ▶ 内線番号* ▶ 子機と通話 ▶ 受話器を戻す ※子機が出ないときは［保留／内線］ボタンを押します。
〈子機〉	親機からの呼出 ▶ ▶ 通話 ▶ 親機と通話 ▶ 外線と通話
内線通話	保留/内線 ▶ 内線番号* ▶ 受話器を取る ▶ 子機と通話 ▶ 受話器を戻す
〈子機〉	親機からの呼出 ▶ ▶ 通話 ▶ 親機と通話 ▶ または 切
ワンタッチボタンでかける	1 … 3 ▶ 受話器を取る ▶ 通話 ▶ 受話器を戻す
電話帳でかける	相手を選ぶ ▶ 受話器を取る ▶ 通話 ▶ 受話器を戻す
通話録音	外線と通話中 ▶ 留守 ▶ 録音 ▶ ストップ
録音内容を聞く	再生 ▶ 再生 ▶ ストップ ※ 外線と通話中に［再生］ボタンを押すと、録音内容や留守電の用件を相手と一緒に聞けます。
音量調整 ベル音量	待機中 ▶ ▼音量▲ 切↔1↔2↔3↔4↔5↔6
音量調整 スピーカ音量	オンフック ▶ ▼音量▲ 切↔小↔中↔大
音量調整 受話音量	通話中 ▶ ▼音量▲ 小↔中↔大
トーン信号を送る	電話をかける ▶ ＊トーン 以後のダイヤルはトーン（プッシュ）信号で送出される

電話

キャッチホンの利用	外線と通話中 ▶「プルルー・プップッ」▶ キャッチ ▶ つぎの人と通話 ▶ キャッチ ▶ 最初の人と通話

ファクス／コピー

画質モード	画質 → フツウ→チイサイ→コマカイ→シャシン
自動送信	原稿セット ▶ 相手先番号 ▶ スタート/コピー
ワンタッチボタンで送信	原稿セット ▶ 1 … 3
電話帳で送信	原稿セット ▶ ▶ 相手先を選ぶ ▶ スタート/コピー
手動送信	原稿セット ▶ 受話器を取る ▶ 相手先番号 ▶ 通話 ▶ 相手が受信操作 ▶ スタート/コピー ▶ 受話器を戻す
手動受信 かんたん受信「する」	着信音（ベル）▶ 受話器を取る ▶「ポー・ポー…」▶「ファクシミリを受信します…」▶ 受話器を戻す
手動受信 かんたん受信「しない」	着信音（ベル）▶ 受話器を取る ▶「ポー・ポー…」▶ スタート/コピー ▶ 受話器を戻す
手動受信 通話してから受信する	通話中 ▶ 相手が送信操作 ▶「ポー・ポー…」▶ スタート/コピー ▶ 受話器を戻す
コピー	原稿セット ▶ スタート/コピー ▶（複数部コピーするときは部数を指定）▶ スタート/コピー

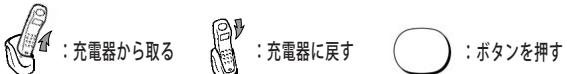
ハンドスキャナ

準備	ハンドスキャナを外し、原稿の上に置く ▶ 画質選択 ▶ コピーまたはファクス（下記へ）
コピー	準備（上記から）▶ スタート/コピー ▶ 読み取り ▶ ストップ ▶ ハンドスキャナを戻す
ファクス送信	準備（上記から）▶ 相手先番号 ▶ スタート/コピー ▶ 読み取り ▶ ストップ ▶ 1ア ▶ ハンドスキャナを戻す

留守電

留守の設定／解除	留守	
用件の再生	再生 ▶ 再生	※ 聞き終えた用件を一度に消去したいときは「用件は以上です」のあと［消去］ボタンを押します。
用件の消去	消去したい用件を再生中 ▶ 消去	

*内線番号
- 親機 ………… 内線1
- 付属の子機 … 内線2
- 増設子機 …… 1台目：内線3、2台目：内線4
- すべての子機を一斉に呼ぶとき …［＊］
  （子機を2台以上使用している場合）

子機で

：充電器から取る ：充電器に戻す ：ボタンを押す

クイック通話がONのとき
電話がかかってきたとき、充電器に置いてある子機を取ると［通話］ボタンを押さずに相手と話ができます。
クイック通話がOFFのとき
電話がかかってきたとき、［通話］ボタンを押すと、相手と話すことができます。
（本ガイドは、クイック通話OFFのときの説明です。）

電話	
電話をかける	▶ 通話 ▶ 相手先番号 ▶ 通話 ▶ または 切
リダイヤルする	▶ ▶ 相手先を選ぶ ▶ 通話 ▶ 通話
電話を受ける	着信音 ▶ ▶ 通話 ▶ 通話
保留する	通話中 ▶ 保留消去 ▶ または 切
通話に戻る	保留中 ▶ ▶ 通話 ▶ 通話
親機で話す	保留中 ▶ ▶ 親機で通話
転送 親機へ	外線と通話中 ▶ 内線 ▶ 1ア ▶ 親機と通話 ▶ または 切
	※親機が出ないときは［内線］ボタンを押します。
〈親機〉	子機からの呼出 ▶ ▶ 子機と通話 ▶ 外線と通話
他の子機へ	外線と通話中 ▶ 内線 ▶ 内線番号* ▶ 転送を伝える ▶ または 切
	※子機が出ないときは［内線］ボタンを押します。
〈子機〉	子機からの呼出 ▶ ▶ 通話 ▶ 相手の声を聞く ▶ 外線と通話
内線通話	▶ 内線 ▶ 1ア ▶ 親機と通話 ▶ または 切
〈親機〉	子機からの呼出 ▶ ▶ 子機と通話 ▶

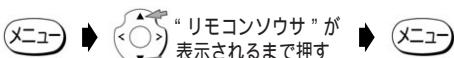
*内線番号
・親機 ………… 内線1
・付属の子機 … 内線2
・増設子機 …… 1台目：内線3、2台目：内線4
・すべての子機を一斉に呼ぶとき …［⁎］
（子機を2台以上使用している場合）

電話	
簡易子機間通話 トランシーバー方式	▶ 内線 ▶ 内線番号* ▶ 話す ▶ キャッチ ▶ （聞く）（送受話の切り替え） ▶ 聞く 送受話の切り替え ▶ 話す ▶ または 切 （話す ▶ キャッチ）（聞く） ※送受話の切り替えおよび終話は、送話側のみ行えます。
ワンタッチボタンでかける	▶ ワンタッチ ▶ 通話 ▶ または 切
電話帳でかける	▶ 相手先を選ぶ ▶ 通話 ▶ 通話
素早く探してかける	▶ ▶ 該当する行のダイヤルボタンを何度か押し、相手を表示させる ▶ 通話 ▶ 通話
音量調整 受話音量	▶ 通話 ▶ ▶ または 切 「標準」→「大」→「特大」
音量調整 ベルの鳴／切	▶ 2秒以上押す 「切」→「大」→「小」
トーン信号を送る	電話をかける ▶ ⁎トーン 以後のダイヤルはトーン（プッシュ）信号で送出される
キャッチホンの利用	外線と通話中 ▶ 「プルルー・プップッ」 ▶ キャッチ ▶ つぎの人と通話 ▶ キャッチ ▶ 最初の人と通話

ファクス	
手動受信 かんたん受信「する」	▶ 通話 ▶ 「ポー・ポー…」 ▶ 「ファクシミリを受信します…」 ▶ ▶ または 切
かんたん受信「しない」	▶ 通話 ▶ 「ポー・ポー…」 ▶ 内線 ▶ ▶ 6ハ MNO ▶ または 切
通話してから受信する	通話中 ▶ 相手が送信操作 ▶ 「ポー・ポー…」 ▶ 内線 ▶ ▶ 6ハ MNO ▶ または 切

留守電	
設定	➡ “リモコンソウサ”を選ぶ（下記） ➡ 20秒以内に 7マPQRS ➡ または 切
解除	➡ “リモコンソウサ”を選ぶ（下記） ➡ 20秒以内に 9ラWXYZ ➡ または 切
用件の再生	➡ “リモコンソウサ”を選ぶ（下記） ➡ 20秒以内に 2カABC ➡ 再生 ➡ または 切
早送り	用件を再生中 ➡ 3サDEF
巻き戻し	用件を再生中 ➡ 1ア
再生中の用件を消去	用件を再生中 ➡ 8ヤTUV
聞き終えた用件を一度に消去	用件を再生 ➡「用件は以上です」➡「ピッピッピッ…」➡ 6秒以内に 8ヤTUV ➡ または 切

外出先からの操作（外線リモート）	
本機に電話をかける ➡ # パスワード # ➡ 操作コード（下記）	
（# パスワード # 操作コード：プッシュ信号）	
操作コード	
・巻き戻し……… # 1 #	・留守設定……… # 7 #
・用件再生……… # 2 #	・留守設定解除… # 9 #
・早送り………… # 3 #	・用件消去……… # 8 #
・用件転送設定… # 6 1 #	・用件転送解除… # 6 2 #

“リモコンソウサ”の選びかた

機能設定／登録早見表

〈手順〉 メインメニュー選択 → 機能メニュー選択 → 設定／登録

メニュー ○ → ダイヤルボタンまたは［メニュー］ボタン → 登録／セット ○ → メニュー ○ → 操作

メインメニュー		機能メニュー	設定／登録内容（□はお買い上げ時の状態です）	参照ページ
1 ア	ショキセッテイ	ヒヅケ・ジコク	年月日と時刻の登録	p46
		カイセンシュベツ	PB、DP、ジドウカイセンセンタク	p46
		ヒョウジノウド	■□□□□、■■□□□、■■■□□、■■■■□、■■■■■	p46
		ジブンノバンゴウ	自分の電話番号（最大20桁）を登録する	p47
		ハッシンモトキロク	○（する）、×（しない）	p47
		ハッシンモトトウロク	自分の名前（最大40文字）を登録する	p47
2 カ ABC	デンワキノウ	ベルオン・メロディ	ベル（ヒョウジュン）、ベル（ナリワケ）、メロディ（A～C）	p48
		チャクシンモード	デンワ／ファクスキリカエ、ファクスセンヨウ、デンワセンヨウ	p48
		チャクシンベル	0～19回、6回	p49
		ヨビダシベル	1～19回、10回	p49
		ホリュウメロディ	ホリュウメロディ1、ホリュウメロディ2	p49
		コキジュワ	ヒョウジュン、オオキイ	p50
		コキソウワ	ヒョウジュン、オオキイ	p50
		デンワチョウテンソウ	親機の電話帳を子機に転送する（一斉転送、個別転送）	p28
3 サ DEF	ファクス・コピーキノウ	フィルムザンリョウ	フィルム残量を4段階で表示する ■■■ ： 51～95枚、■■□ ： 16～50枚、 ■□□ ： 1～15枚、□□□ ： フィルムなし	p50
		ヨミトリノウド	■□□□□、■■□□□、■■■□□、■■■■□、■■■■■	p50
		カンタンジュシン	○（する）、×（しない）	p51
		カイガイツウシン	○（する）、×（しない）	p51
		フタツレポート	○（する）、×（しない）	p51
		ジュシンシュクショウ	85%、90%、93%、100%	p51
		メモリジュシン	○（する）、×（しない）	p52
		メモリブンショショウキョ	メモリ受信文書を消去する	p52
4 タ GHI	ルスバンデンワキノウ	ゼンヨウケンショウキョ	全ての用件を消去する	p42
		オウトウメッセージロクオン	応答メッセージの録音（応答メッセージ1・応答メッセージ2）	p43
		オウトウメッセージショウキョ	応答メッセージの消去（応答メッセージ1・応答メッセージ2）	p43
		トールセイバ	○（する）、×（しない）	p45
		リモートソウサ	○（する）、×（しない）、リモートパスワード（4桁）の登録	p43
		ヨウケンテンソウ	○（する）、×（しない）、用件転送先電話番号（最大40桁）の登録、転送回数の設定（1～10回）	p44

メインメニュー	機能メニュー	設定／登録内容（　　　はお買い上げ時の状態です）	参照ページ
5 ナ JKL ナンバーディスプレイキノウ	ナンバーディスプレイ	○（する）、×（しない）	p56
	以下はナンバーディスプレイを「する」に設定した場合のみ		
	ナリワケ ＆ プライベート	着信鳴り分け指定（シテイナシ、ベル（ヒョウジュン）、ベル（ナリワケ）、メロディ（A〜C））、プライベートコール指定（全て、内線番号*）	p58
	バンゴウリクエスト	○（する）、×（しない）	p56
	チャクシンキョヒ	○（する）、×（しない）	p57
	コウシュウデンワ　キョヒ	○（する）、×（しない）	p57
	キョヒリスト　ヘンシュウ	着信拒否リストの登録／確認／削除	p57
	ルスオウトウ　センタク	○（する）、×（しない）	p56
	キャッチホン	○（する）、×（しない）	p61
	ダイヤルイン	○（する）、×（しない）	p64
		以下はダイヤルインを「する」に設定した場合のみ	
		FAX専用（○（する）、×（しない））、ファクスと親機の番号（4桁）の登録、共通鳴動（○（する）、×（しない））、子機用番号（4桁）の登録	p64
6 ハ MNO リストプリント	デンワリストプリント	親機の電話帳リストをプリントする	p52
	チャクシンデータプリント	親機に記憶された着信データをプリントする	p53
	システムリストプリント	各種設定内容をプリントする	p53
	ツウシンカンリレポート	通信管理レポートをプリントする	p54
0 ワ 記号 ファクスジョウホウサービス		ファクス情報サービスの利用（ポーリング受信）	p36
ハンドスキャナを外したとき	ヨミトリキロクハバ	B4→A4、A4→A4、B5→A4、A5→A4	p39
	メロディハンドスキャナ	○（流す）、×（流さない）	p39

*内線番号
- 親機 ………… 内線1
- 付属の子機 … 内線2
- 増設子機 …… 1台目：内線3、2台目：内線4

索　引

ア　行

カ　行

サ　行

タ　行

ナ　行

ハ　行

マ　行

ヤ　行

ラ　行

ワ　行

文字入力一覧表（親機・子機共通）

下表を参考にして、親機または子機のダイヤルボタンを使って文字を入力します。

押す回数		ダイヤルボタン									
	親機の場合	1 ア	2 カ ABC	3 サ DEF	4 タ GHI	5 ナ JKL	6 ハ MNO	7 マ PQRS	8 ヤ TUV	9 ラ WXYZ	0 ワ 記号
	子機の場合	1 ア	2 カ ABC	3 サ DEF	4 タ GHI	5 ナ JKL	6 ハ MNO	7 マ PQRS	8 ヤ TUV	9 ラ WXYZ	0 ワ 記号
1回		ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワ
2回		イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ユ	リ	ヲ
3回		ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ヨ	ル	ン
4回		エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	8	レ	0
5回		オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	T	ロ	゛
6回		1	2	3	4	5	6	7	U	9	゜
7回		ァ	A	D	G	J	M	P	V	W	ー
8回		ィ	B	E	H	K	N	Q	ャ	X	．
9回		ゥ	C	F	I	L	O	R	ュ	Y	（空白）
10回		ェ			ッ			S	ョ	Z	(
11回		ォ									)
12回											・
13回											'
14回											＊
15回											#
16回											&

入力のしかた

- 「カ」「キ」のように同じ列の文字を続けて入力するときは、「カ」を入力したあとに［>］ボタンを押し、カーソルを1つ右に移動してから次の文字を入力してください。

入力例：「テツヤ8」と入力する場合

親機で

1. 4 タ GHI を4回押す　テ
2. を押す　テ_
3. 4 タ GHI を3回押す　テツ
4. 8 ヤ TUV を押す　テツヤ
5. を押す　テツヤ_
6. 8 ヤ TUV を4回押す　テツヤ8

子機で

1. 4 タ GHI を4回押す　テ
2. を押す　テ_
3. 4 タ GHI を3回押す　テツ
4. 8 ヤ TUV を押す　テツヤ
5. を押す　テツヤ_
6. 8 ヤ TUV を4回押す　テツヤ8

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

This equipment (including the software) has the specifications to be used only in Japan.
Also our maintenance service and technical support are not available overseas.

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品がエネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

このマークはNECの定める環境基準を満たした製品に表示されるものです。お買い上げいただいた本製品はこの基準に適合した環境配慮型の製品です。この基準の詳細はNECのホームページをご覧ください。
http://www.nec.co.jp/eco/ja/
（平成16年6月現在）

ニカド電池のリサイクルにご協力ください。

一般消費者様　製品廃棄方法について	
この製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。 詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。	この製品を廃棄するときは法律や地方自治体の条例に従って産業廃棄物として適正処理してください。なおNECは法律にもとづき、使用済み製品（情報通信機器）の回収／再資源化等を有償にて行っています。 **詳細はこちらのページhttp://www.nec.co.jp/eco/ja/products/3r/shigen_menu.html**（平成16年6月現在）をご覧ください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

型　名		お買い上げ日	年　月　日
お買い上げ店	TEL　（　）		

NG-088223-0L01
2004年 9月 第1版

NECアクセステクニカ株式会社
〒436-8501 静岡県掛川市下俣800番地

この取扱説明書は、70%再生紙を使用しています。